

学会発表

Titles of Speeches at Scientific Meetings etc.

川西徹：医薬品品質管理に係る最近の話題（医薬品の国際化に関連して）。

ISPE日本本部2015年次大会（2015.4）

Kawanishi T: Purpose of the 17th Edition of the Japanese Pharmacopoeia and Impact on Generic Drugs Assessment.

DIA CMC フォーラム（2015.6）

川西徹：革新的医薬品の開発環境整備のためのレギュラトリーサイエンスとは－ナノDDS製剤を例にして－。

第52回薬剤学懇談会（2015.6）

川西徹：健康医療戦略におけるレギュラトリーサイエンスの役割。

第34回日本糖質学会年会（2015.8）

川西徹：レギュラトリーサイエンスと衛生薬学。

フォーラム2015:衛生薬学・環境トキシコロジー（2015.9）

川西徹：第17改正日本薬局方の改正のねらい。

日本PDA製薬学会第22回年会（2015.12）

川西徹：医薬品・医療機器・再生医療等製品の開発に向けたレギュラトリーサイエンス研究とは。

第1回AMED-RSシンポ（2016.2）

川西徹：医薬品品質のこれから－革新的医薬品からジェネリック医薬品まで－。

ファームテックジャパンセミナー（2016.3）

川西徹：レギュラトリーサイエンスRSの実践（医薬品開発）。

日本薬学会第136年会シンポジウム（2016.3）

合田幸広：健康食品の新しい機能性表示と品質に関する課題。

第109回日本食品衛生学会学術講演会（2015.5）

Goda Y: Introduction of qNMR to the Japanese Pharmacopoeia (JP) for specification of marker compounds used for standardization of herbal medicines.

2015 International Symposium on Traditional Medicine (2015.6)

Miura T^{*1}, Sugimoto N, Suematsu T^{*2}, Hosoe J, Nishimura H^{*3}, Kikuchi Y^{*3}, Katsuhara T^{*3}, Yamashita T^{*4}, Yamada, Y^{*1}, Goda Y: Application of "AQARI: Accurate Quantitative NMR with Internal reference substance" to the specification of analytical marker compounds used for standardization of natural medicines in the Japanese Pharmacopoeia.

EUROMAR 2015 (2015.7)

*1 和光純薬

*2 ジオルレゾナンス

*3 ツムラ

*4 常磐植物化学

合田幸広：医薬品の品質保証と生薬および生薬製剤。

第32回和漢医薬学会学術大会（2015.8）

山路誠一^{*1}, 菊池真衣^{*1}, 寺林進^{*2}, 酒井英二^{*3}, 合田幸広, 川原信夫^{*4}, 飯田修^{*4}: 薬用植物総合情報データベースの構築のための基盤咳部に関する研究～誌上流通生薬の組織形態(7)・ボクソク～。

日本生薬学会第62回年会（2015.9）

*1 日本薬科大学

*2 横浜薬科大学

*3 岐阜薬科大学

*4 (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

Suematsu T^{*1}, Hosoe J, Sugimoto N, Yamada Y^{*2}, Miura T^{*2}, Hayakawa M^{*2}, Suzuki H^{*2}, Katsuhara T^{*3}, Nishimura H^{*3}, Kikuchi Y^{*3}, Yamashita T^{*4}, Goda Y: Application of AQARI (Accurate Quantitative NMR with Internal Reference Substance) to the reagents in the crude drug section of the Japanese Pharmacopoeia. Small Molecule NMR Conference 2015 (2015.9)

*1 ジオルレゾナンス

*2 和光純薬

*3 ツムラ

*4 常磐植物化学

中嶋祐輝*, 金田利夫*, 中田麻美*, 西野仁美*, 出口潤*, 平澤祐介*, 森田博史*, 川崎洋子, 合田幸広: Mollugin 誘導体の抗炎症作用。

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

* 星薬科大学

Miura T^{*1}, Sugimoto N, Suematsu T^{*2}, Nakao S^{*1}, Takaoka, S^{*1}, Hosoe J, Nishimura H^{*3}, Kikuchi Y^{*3}, Katsuhara T^{*3}, Yamashita T^{*4}, Yamada Y^{*1}, Goda Y: Development of Analytical Standards guaranteed by qNMR.

Pacificchem 2015 (2015.12)

*¹ 和光純薬

*² ジオルレゾナンス

*³ ツムラ

*⁴ 常磐植物化学

好村守生^{*1}, 杉脇秀美^{*1}, 内倉崇^{*1}, 測野裕之^{*2}, 合田幸広, 川原信夫^{*2}, 天倉吉章^{*1}: HPTLCによる国内流通生薬の成分比較 (第6報).

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 松山大学薬学部

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

山中沙綾^{*1}, 菊池真衣^{*1}, 横田直之^{*1}, 山路誠一^{*1}, 寺林進^{*2}, 酒井英二^{*3}, 合田幸広, 川原信夫^{*4}, 飯田修^{*4}: 薬用植物総合情報データベース構築のための基盤整備に関する研究～市場流通生薬の組織形態(8).

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 日本薬科大学

*² 横浜薬科大学

*³ 岐阜薬科大学

*⁴ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

合田幸広: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキスの創薬に向けた取り組み, ～天然物医薬品の開発におけるブレイクスルーを目指して～.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

吉田寛幸, 桑名明美, 柴田寛子, 伊豆津健一, 合田幸広: 粒子速度測定法を用いたフロースルーセル内の水流の評価.

日本薬剤学会第30年会 (2015.5)

柴田寛子, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: 腸溶錠の溶出性評価における炭酸水素緩衝液の利用.

日本薬剤学会第30年会 (2015.5)

伊豆津健一, 柴田寛子, 吉田寛幸, 合田幸広: 凍結溶液中のタンパク質と添加剤の混合性: ゼラチンを用いた検討.

日本薬剤学会第30年会 (2015.5)

柴田寛子, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: テイコプラニン注射剤の先発医薬品と後発医薬品における成分含量比の評価.

第25回日本医療薬学会年会 (2015.11)

吉田寛幸, 桑名明美, 伊豆津健一, 柴田寛子, 合田幸広: ジェネリック医薬品品質情報検討会における取り組み - ジアゼパム錠等の溶出試験について -.

第48回日本薬剤師会学術大会 (2015.11)

柴田寛子, 吉田寛幸, 伊豆津健一, 合田幸広: ジェネリック医薬品品質情報検討会において品質確認を実施したテイコプラニン注射剤の成分含量比試験について.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

浅原初木, 伊豆津健一, 小山靖人: 早期承認に向けた先駆け審査指定制度等における CMCやGMP の課題と提言.

日本PDA製薬学会第22回年会 (2015.12)

伊豆津健一, 柴田寛子, 吉田寛幸, 合田幸広: 凍結水溶液の濃縮相ガラス転移と医薬品の品質確保への活用.

第5回ソフトマター研究会 (2015.12)

伊豆津健一, 吉田寛幸, 柴田寛子, 合田幸広: 凍結乾燥による共結晶の作製に向けた熱測定への活用.

化学工学会第81年会 (2016.3)

吉田寛幸, 桑名明美, 柴田寛子, 伊豆津健一, 合田幸広: 複数の多段インパクターを用いた各種流量における吸入剤の粒度分布の比較.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 合田幸広: ヨウ素デンブンプン反応の呈色の数値化によるデンブンプンの基原確認法.

第109回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.5)

阿曾幸男, 宮崎玉樹, 合田幸広: ニフェジピンとアセト

アミノフェン類似体とのコアモルファスの結晶化速度.
日本薬剤学会第30年会 (2015.5)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 合田幸広: テープ剤基剤中の結晶性薬物の多形判別.
日本薬剤学会第30年会 (2015.5)

Aso Y, Miyazaki T, Goda Y: Relationship between crystallization rate of co-amorphous nifedipine with acetaminophen analogues and ¹³C-NMR relaxation time of drug carbons.
AAPS Annual Meeting (2015.10)

Miyazaki T, Aso Y, Goda Y: Feasibility of DSC to determine polymorphic transformation ratio of sulfathiazole form I.
AAPS Annual Meeting (2015.10)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 合田幸広: 医薬品添加剤として使用されるデンプン類のヨウ素反応の呈色による基原の判別.
第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

宮崎玉樹, 阿曾幸男, 合田幸広: X線回折測定による市販経皮吸収型製剤中の薬物の結晶状態の解析.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

瀬古友里恵^{*1}, 服部祐介^{*1}, Jomjai Peerapattana^{*2}, 大塚邦子^{*3}, 坂本知昭, 大塚誠^{*1}: NIR法とSEM/EDSマッピング法による偽造医薬品の簡易・精密判別法の確立.
日本薬剤学会第30年会 (2015.5)

^{*1} 武蔵野大学

^{*2} コンケン大学

^{*3} 横浜薬科大学

Sakamoto T, Sasaki T*, Katori N, Goda Y: Observation of effect on cellulose derivative against a pseudo-polymorphism conversion and dehydration in pharmaceutical granules by using a terahertz spectroscopy and near-infrared chemical imaging.
8th International Conference on Advanced Vibrational Spectroscopy (2015.7)

* Shizuoka University

大塚誠^{*1}, 瀬古友里恵^{*1}, 服部祐介^{*1}, Jomjai

Peerapattana^{*2}, 大塚邦子^{*3}, 坂本知昭: 近赤外分光法を用いたアトルバスタチン偽造医薬品の簡易迅速同定法の確立.

日本社会薬学会第34年会 (2015.7)

^{*1} 武蔵野大学

^{*2} コンケン大学

^{*3} 横浜薬科大学

Sakamoto T, Sasaki T*, Katori N, Goda Y: Analysis of Diffusion Process of Pseudo-polymorphism Conversion from Theophylline Monohydrate to the Anhydride in a Tablet by using a Terahertz Chemical Imaging System.

The Second International Symposium on Frontiers in THz Technology (2015.8)

* Shizuoka University

坂本知昭, 佐々木哲朗*, 香取典子, 合田幸広: 高感度テラヘルツCWケミカルイメージングシステムによる錠剤中薬物の分布計測.

日本分析化学会第64年会 (2015.9)

* 静岡大学

峯木紘子*, 大田孝義*, 前窪哲也*, 閑林直人*, 坂本知昭, 福田晋一郎*: 曲率を有するサンプルの断面出し新手法-食品・医薬品を斬る.

日本分析化学会第64年会 (2015.9)

* ジャスコエンジニアリング

坂本知昭, 佐々木哲朗*, 香取典子, 合田幸広: 紫外線照射による酸化チタン (IV) のフォノン振動の変化.
第76回応用物理学会秋季学術講演会 (2015.9)

* 静岡大学

佐々木哲朗^{*1}, 大塚誠^{*2}, 坂本知昭: イソニアジドの単結晶成長とテラヘルツ振動解析.
第45回結晶成長国内会議 (2015.10)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 武蔵野大学

坂本知昭, 藤巻康人^{*1}, 峯木紘子^{*2}, 小金井誠司^{*1}, 閑

林直人^{*2}, 福田晋一郎^{*2}, 香取典子, 合田幸広: NIR分光法を用いた市場流通医薬品検査のための錠剤精密切削面の成分分布解析.

第31回近赤外フォーラム (2015.11)

^{*1} 東京都立産業技術研究センター

^{*2} ジャスコエンジニアリング

坂本知昭, 佐々木哲朗^{*}, 香取典子, 合田幸広: テラヘルツ及びラマン分光を用いたフォノン及び分子振動解析による酸化チタン (IV) のUV活性とキノロン系合成抗菌剤のUV劣化の評価.

第63回応用物理学会春季学術講演会 (2016.3)

^{*} 静岡大学

佐々木哲朗^{*1}, 大塚誠^{*2}, 坂本知昭: テオフィリン及びイソニアジドの単結晶成長とテラヘルツ振動解析.

第63回応用物理学会春季学術講演会 (2016.3)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 武蔵野大学

坂本知昭, 佐々木哲朗^{*}, 香取典子, 合田幸広: フォノン及び分子振動解析による酸化チタン (IV) のUV活性と医薬用成分のUV劣化の評価.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 静岡大学

佐々木哲朗^{*1}, 大塚誠^{*2}, 坂本知昭: テオフィリン及びイソニアジドの単結晶成長とテラヘルツ振動解析.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 静岡大学

^{*2} 武蔵野大学

副島武夫^{*}, 湯本政昭^{*}, 赤尾賢一^{*}, 永森浩司^{*}, 坂本知昭: ラマン分光法を用いたシプロフロキサシンのUV劣化の評価.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 日本分光

小出達夫, 深水啓朗^{*}, 久田浩史^{*}, 香取典子, 奥田晴宏, 合田幸広: ラマン分光法を用いた医薬品製剤品質評価に関する研究.

日本薬学会第30年会 (2015.5)

^{*} 明治薬科大学

深水啓朗^{*1}, 久田浩史^{*1}, 小出達夫, 鈴木豊史^{*2}, 伴野和夫^{*2}: 錠剤中コクリスタルの低波数ラマン分光イメージング.

日本薬学会第30年会 (2015.5)

^{*1} 明治薬科大学

^{*2} 日本大学

東初樹^{*1}, 瀧波磨理江^{*2}, 大橋由紀^{*2}, 久田浩史^{*1}, 井上元基^{*1}, 小出達夫, 鈴木豊史^{*2}, 伴野和夫^{*2}, 深水啓朗^{*1}: ケトプロフェン含有テープ製剤の顕微ラマンイメージング.

日本薬学会第30年会 (2015.5)

^{*1} 明治薬科大学

^{*2} 日本大学

飯田康人^{*}, 久田浩史^{*}, 井上元基^{*}, 小出達夫, 深水啓朗^{*}: フェルビナク含有テープ製剤の結晶状態に関する研究.

第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

^{*} 明治薬科大学

岡留悠祐^{*}, 島村りえ^{*}, 鈴木郁也^{*}, 小出達夫, 久田浩史^{*}, 井上元基^{*}, 深水啓朗^{*}: ラマン分光法による錠剤中主薬の定量に関する研究.

第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

^{*} 明治薬科大学

島村りえ^{*}, 久田浩史^{*}, 井上元基^{*}, 小出達夫, 深水啓朗^{*}: 錠剤中インドメタシン結晶多形のラマン分光イメージング.

第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

^{*} 明治薬科大学

小山内諒治^{*}, 久田浩史^{*}, 井上元基^{*}, 小出達夫, 深水啓朗^{*}: 顕微ラマン測定による錠剤中主薬の多形転移モニタリング.

第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

^{*} 明治薬科大学

Fukami T*, Inoue M*, Hisada H*, Koide T: Chemical Imaging of Crystalline Components in Pharmaceutical Dosage Forms by Using Low Frequency Raman Spectroscopy.
SCIX 2015 (2015.9)

* Meiji Pharmaceutical University

井上元基*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: 低波数ラマン分光法を用いた錠剤中原薬の結晶多形のイメージング.
第32回製剤と粒子設計シンポジウム (2015.10)

* 明治薬科大学

山本佳久*¹, 久米谷萌水*¹, 深水啓朗*², 小出達夫: 近赤外分光法を利用した皮膚外用製剤混合物の安定性評価.
第54回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会 (2015.10)

*¹ 明治薬科大学

*² 帝京平成大学

山本佳久*¹, 久米谷萌水*¹, 大貫義則*², 深水啓朗*³, 小出達夫, 鈴木豊史*⁴, 伴野和夫*⁴: W/O型保湿クリーム製剤と副腎皮質ステロイド外用製剤からなる混合物の保存安定性に関する研究.
第25回日本医療薬学会年会 (2015.11)

*¹ 帝京平成大学

*² 富山大学

*³ 明治薬科大学

*⁴ 日本大学

飯田康人*, 井上元基*, 久田浩史*, 小出達夫, 深水啓朗*: OTCテープ剤に含まれるフェルピナクのラマンイメージング.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 明治薬科大学

岡留悠祐*, 島村りえ*, 鈴木郁也*, 小出達夫, 久田浩史*, 井上元基*, 深水啓朗*: ラマン分光法による錠剤中主薬の定量に関する研究-製剤均一性試験への応用を見据えて-.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 明治薬科大学

島村りえ*, 久田浩史*, 井上元基*, 小出達夫, 深水啓朗*: 錠剤中インドメタシン結晶多形のラマン分光イメージング.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 明治薬科大学

小山内諒治*, 久田浩史*, 井上元基*, 小出達夫, 深水啓朗*: 低波数ラマン分光法による製剤中原薬の結晶化挙動モニタリング.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 明治薬科大学

山本佳久*¹, 久米谷萌水*¹, 大貫義則*², 深水啓朗*³, 小出達夫, 鈴木豊史*⁴: 近赤外分光法を用いたヘパリン類似物質含有保湿剤とステロイド軟膏からなる混合物の安定性.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 帝京平成大学

*² 富山大学

*³ 明治薬科大学

*⁴ 日本大学

鮎谷千明*¹, 大貫義則*², 山本佳久*³, 深水啓朗*⁴, 小出達夫, 内海俊一*¹, 小幡誉子*¹, 高山幸三*¹: MRIを利用したステロイド軟膏と保湿クリームの混合製剤の定量的製剤安定性評価.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 星薬科大学

*² 富山大学

*³ 帝京平成大学

*⁴ 明治薬科大学

Katori N: Appropriate BMV Methods for each Stage of Drug Development.
2015 AAPS Workshop Crystal City VI: BMV on Biomarkers (2015.9)

香取典子: バイオマーカー測定における分析法バリデーション-規制下バイオアナリシスとの関連-.
第30回日本薬物動態学会年会 (2015.11)

香取典子：ICH S3A Q&A の状況報告。
第7回JBFシンポジウム (2016.3)

鎌田春彦^{*1,2}, 井上雅己^{*1}, 阿部康弘, 角田慎一^{*1,2}：ヒトTNFR2 指向性アゴニストを用いた新規TNFR2 シグナル関連分子の同定。
日本プロテオーム学会2015年会 (JHUPO第13回大会) (2015.7)

^{*1} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所
^{*2} 大阪大学

阿部康弘, 加藤くみ子, 合田幸広：siRNA封入リポソームの物性評価と自然免疫応答に関する研究。
第1回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2015.9)

加藤くみ子, 原矢佑樹*, 阿部康弘, 合田幸広：ナノ医薬品の特性解析における走査型プローブ顕微鏡の利用。
第24回日本バイオイメージング学会学術集会 (2015.9)

* 日本医療研究開発機構

Kamada H^{*1,2}, Inoue M^{*1}, Abe Y, Higashisaka K^{*2}, Yoshioka Y^{*2}, Mukai Y^{*1}, Nagano K^{*1}, Tsutsumi Y^{*1,2}, Tsunoda S^{*1,2}: Identification of adaptor proteins included in the TNFR2 signaling complex.
14th Human Proteome Organization World Congress (2015.9)

^{*1} National Institute of Biomedical Innovation and Nutrition
^{*2} Osaka University

阿部康弘, 加藤くみ子, 合田幸広：siRNA封入リポソームの自然免疫応答に関する研究。
日本薬学会第136年会 (2016.3)

原矢佑樹*, 加藤くみ子, 合田幸広：原子間力顕微鏡による液中リポソームのイメージングと膜弾性解析。
日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 日本医療研究開発機構

加藤くみ子, 桜井真理, 合田幸広：リポタンパク質受容体を介したリポソームの細胞内取り込みに関する研究。
日本薬学会第136年会 (2016.3)

三浦ゆり^{*1}, 太田悠葵, 高倉大輔, 橋井則貴, 新井康通^{*2}, 津元裕樹^{*1}, 川崎ナナ, 広瀬信義^{*2}, 遠藤玉夫^{*1}：超百寿者血漿タンパク質のN-結合型糖鎖解析。
第63回質量分析総合討論会 (2015.6)

^{*1} 東京都健康長寿医療センター
^{*2} 慶応大学百寿総合センター

橋井則貴：液体クロマトグラフィー/質量分析による抗体医薬品の糖鎖不均一性解析：プロセス解析工学への応用。
第15回蛋白質科学学会年会 (2015.6)

橋井則貴：LC/MSを用いた抗体医薬品の迅速糖鎖不均一性解析。
第34回日本糖質学会年会 (2015.7)

橋井則貴, 菊池慶実^{*1}, 山田尚之^{*1}, 板屋寛^{*1}, 秦信子^{*2}, 橋本勉^{*3}, 星野雅輝^{*3}, 蛭田葉子, 鈴木琢雄, 南出善幸^{*4}, 井上則子^{*5}, 後藤理恵子^{*5}, 山口建^{*6}, 神野文宏^{*7}, 藤田央^{*7}, 清水久夫^{*7}, 石井明子：LC/MSによる抗体医薬品のバイオアナリシスに関する研究。
日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 味の素 (株)
^{*2} (株) Ig-M
^{*3} (株) LSIメディエンス
^{*4} (株) 島津テクノロジーサーチ
^{*5} シミックファーマサイエンス (株)
^{*6} (株) 住化分析センター
^{*7} 武田薬品工業 (株)

鈴木琢雄, 宮崎ちひろ, 多田稔, 橋井則貴, 石井明子：FcRn親和性の違いが抗体医薬品の体内分布などに及ぼす影響。
日本薬学会第136年会 (2016.3)

伊藤孝司^{*1}, 西岡宗一郎^{*1}, 辻大輔^{*1}, 東哲也^{*1}, 真板宣夫^{*2}, 小林功^{*3}, 瀬筒秀樹^{*3}, 湯本史明^{*4}, 原園景, 石井明子, 川崎ナナ：新規組換えリソソーム酵素の創製とリソソーム病治療への応用。
第15回蛋白質科学学会年会シンポジウム (2015.6)

^{*1} 徳島大学大学院
^{*2} 徳島大学疾患酵素研
^{*3} 農業生物資源研究所
^{*4} 高エネルギー加速器研究機構

西村和子, 石井明子: バイオ医薬品に対する抗薬物抗体分析におけるdrug tolerance改善に関する研究.
第22回免疫毒性学会学術年会 (2015.9)

Kajihara D^{*1}, Hirose A, Katori N, Hashii N, Arai S^{*2}, Awatsu H^{*3}, Eiza A^{*4}, Hara Y^{*5}, Hattori H^{*6}, Inoue T^{*7}, Isono T^{*8}, Iwakura M^{*9}, Kasahara N^{*10}, Matsuda H^{*11}, Murakami S^{*12}, Nakagawa T^{*13}, Okumura T^{*14}, Omasa T^{*15}, Takuma S^{*8}, Terashima I^{*16}, Tsukahara M^{*13}, Tsutsui M^{*17}, Yano T^{*18}, Kawasaki N^{*19}, Ishii-Watabe A: Approaches to Quality Risk Management When Using Single-Use Systems in the Manufacture of Biologics. Japan Single-Use Systems Risk Management Committee (JSRC) BioProcess International (2015.10)

- *1 GEヘルスケア・ジャパン (株)
- *2 住友ベークライト (株)
- *3 日本ボール (株)
- *4 積水成型工業 (株)
- *5 ザルトリウス・ステディム・ジャパン (株)
- *6 大日本印刷 (株)
- *7 MSD (株)
- *8 中外製薬 (株)
- *9 次世代バイオ医薬品製造技術研究組合
- *10 アステラス製薬 (株)
- *11 藤森工業 (株)
- *12 (株) 日立製作所
- *13 協和発酵キリン (株)
- *14 武田薬品工業 (株)
- *15 大阪大学
- *16 メルク (株) ミリポア事業本部
- *17 大日本住友製薬 (株)
- *18 第一三共 (株)
- *19 横浜市立大学

西村和子, 秦信子^{*1}, 橋本勉^{*2}, 森民樹^{*2}, 井上則子^{*3}, 笹原里美^{*3}, 繁水裕子^{*3}, 中村隆広^{*4}, 野村達希^{*4}, 横田喜信^{*4}, 石井明子: バイオ医薬品に対する抗薬物抗体分析におけるdrug tolerance 改善法に関する多機関共同研究.
第30回日本薬物動態学会学術年会 (2015.11)

- *1 (株) Ig-M
- *2 (株) LSIメディエンス
- *3 シミックファーマサイエンス (株)
- *4 (株) 新日本科学

西村和子, 宮間ちづる, 石井明子: 抗薬物抗体評価に用いられる各種Ligand Binding Assayの分析能比較.
136回日本薬学会学術年会 (2016.3)

Harazono A: New Japanese Pharmacopoeia General Test and General Information for Glycosylation Analysis of Glycoprotein. USP Workshop on Glycosylation Analysis for Biopharmaceuticals (2015.8)

原園景, 鳥巢哲生^{*1}, 寺島勇^{*2}, 齋藤智^{*2}, 水野保子^{*3}, 岡野清^{*3}, 大庭澄明^{*4}, 柳原繁弘^{*5}, 福田潤^{*5}, 山口秀人^{*6}, 古木健一郎^{*6}, 中家修一^{*7}, 十時慎一郎^{*7}, 古賀淳一^{*8}, 小林直樹^{*8}, 横山毅^{*9}, 内山進^{*10}, 横山雅美^{*10}, クラユヒナ・エレナ^{*10}, 中野祥晃^{*11}, 辰巳正史^{*12}, 中子真由美^{*13}, 田中二郎^{*14}, 木吉真人, 石井明子: バイオ医薬品の不溶性微粒子試験のための予備的検討: 試験の低容量化及び測定粒子径範囲について.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

- *1 武田薬品工業 (株)
- *2 中外製薬 (株)
- *3 東レリサーチ (株)
- *4 持田製薬 (株)
- *5 協和発酵キリン (株)
- *6 アステラス製薬 (株)
- *7 (株) 島津製作所
- *8 第一三共 (株)
- *9 (一社) 日本血液製剤機構
- *10 (株) ユー・メディコ
- *11 (一財) 化血研
- *12 JCRファーマ (株)
- *13 大日本住友製薬 (株)
- *14 Meiji Seikaファルマ (株)

Kiyoshi M, Jose M.M. Caaveiro^{*1}, Kawai T^{*1}, Tashiro T^{*1}, Ide T^{*2}, Asaoka Y^{*2}, Hatayama K^{*2}, Tsumoto K^{*1}: Structural basis for binding of human IgG1 to its human receptor FcγRI. GEライフサイエンス発表会 (2015.7)

- *1 東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻
- *2 東ソー (株)

木吉真人, マルチネスカアヴェイロホセマヌエル^{*1}, 井出輝彦^{*2}, 朝岡義春^{*2}, 畑山耕太^{*2}, 石井明子, 津本浩

平^{*1}: Fc γ Receptor IとRituximab IgG Fcとの複合体X線結晶構造解析による親和性, 特異性創出機構の解明. 若手のためのファーマ・バイオフォーラム (2015.9)

^{*1} 東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻

^{*2} 東ソー (株)

Kiyoshi M, Jose M.M. Caaveiro^{*1}, Kawai T^{*1}, Tashiro T^{*1}, Ide T^{*2}, Asaoka Y^{*2}, Hatayama K^{*2}, Tsumoto K^{*1}: Structural basis for binding of human IgG1 to its human receptor Fc γ RI.

Gordon Research Conference Antibody Biology & Engineering (2016.3)

^{*1} 東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻

^{*2} 東ソー (株)

小林哲, 村山一茂^{*1}, 豊島聰^{*1}, 川崎ナナ^{*2}, 石井明子: 各種抗TNF薬における有害事象プロファイルの比較. 日本薬剤疫学会第21回学術総会 (2015.11)

^{*1} 武蔵野大学薬学部

^{*2} 横浜市立大学生命医科学研究科

小林哲, 鎌田泉^{*1}, 小村純子^{*2}, 豊島聰^{*1}, 石井明子: フィルグラスチムの後続品と先行品における有害事象の報告割合と発症時期の比較.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 武蔵野大学薬学部

^{*2} 医薬品医療機器総合機構安全第一部

西村行生^{*1}, 日向須美子^{*2}, 日向昌司, 伊藤和幸^{*3}, 花輪壽彦^{*2}: 麻黄は肺癌細胞においてHGF刺激後のMET endocytosisおよびその分解を促進する.

第24回日本がん転移学会学術集会 (2015.7)

^{*1} 九州大学

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} 大阪府立成人病センター

日向須美子^{*1}, 日向昌司, 大嶋直浩^{*2}, 鎌倉浩之, 丸山卓郎, 袴塚高志, 天倉吉章^{*3}, 合田幸広, 花輪壽彦^{*1}: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFM) の薬理作用と安全性.

第32回和漢医薬学会学術大会 (2015.8)

^{*1} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*2} 国際医療福祉大学薬学部

^{*3} 松山大学薬学部

中森俊輔^{*1}, 高橋純^{*1}, 日向須美子^{*2}, 天倉吉章^{*3}, 日向昌司, 袴塚高志, 合田幸広, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: Capsaicin誘発疼痛及びFormalin誘発疼痛に対する麻黄の鎮痛効果.

第32回和漢医薬学会学術大会 (2015.8)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} 松山大学薬学部

多田稔, 石井明子: Fc γ 受容体発現レポーター細胞を用いた抗体医薬品の品質評価.

日本薬学会第136年会シンポジウム (2016.3)

高倉美智子, 多田稔, 石井明子: Fc γ 受容体発現レポーター細胞株を用いた抗体医薬品の免疫作用予測・評価系の開発.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

日向昌司, 多田稔, 石井明子: EGFR陽性ヒト癌細胞株におけるEGFR発現量とセツキシマブ結合能の相関.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

志賀有貴^{*1}, 村田大輔^{*1}, 大島祐太^{*1}, 多田稔, 石井明子, 竹内崇^{*2}, 加賀谷伸治^{*3}, 佐藤淳^{*1}: エフェクター機能を示さないHinge欠失IgG Fc融合技術の開発.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 東京工科大学

^{*2} 鳥取大学

^{*3} (株) NRLファーマ

松田基^{*1}, 橋本洋佑^{*1}, 川東祐美^{*1}, 畑智幸^{*1}, 渡利彰浩^{*1}, 近藤昌夫^{*1}, 岡田欣晃^{*1}, 多田稔, 石井明子, 深澤征義^{*2}, 土井健史^{*1}, 八木清仁^{*1}: Claudinを標的とした創薬基盤技術の開発～ claudin-4を標的としたがん治療戦略の有効性及び安全性の評価～.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 大阪大学

^{*2} 国立感染症研究所

高橋純^{*1}, 中森俊輔^{*1}, 日向須美子^{*2}, 山下忠俊^{*3}, 大嶋直浩^{*4}, 丸山卓郎, 日向昌司, 天倉吉章^{*5}, 袴塚高志, 小田口浩^{*2}, 合田幸広, 花輪壽彦^{*2}, 小林義典^{*1}: Formalin誘発疼痛に対する麻黄エキス, エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFE) 及びエフェドリンの鎮痛効果.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 北里大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学総合研究所

^{*3} (株) 常磐植物化学研究所

^{*4} 国際医療福祉大学薬学部

^{*5} 松山大学薬学部

橋井則貴: LC/MSによるバイオ医薬品の品質評価及びバイオアナリシス.

第22回クロマトグラフィーシンポジウム (2015.5)

橋井則貴: 液体クロマトグラフィー/質量分析によるバイオ医薬品のバイオアナリシス.

第63回質量分析総合討論会 (2015.6)

石井明子: 抗体医薬品開発の進展とがん治療における期待.

第25回医療薬学会年会シンポジウム (2015.11)

石井明子: バイオ医薬品の免疫原性.

第35回動物細胞工学会シンポジウム バイオ医薬品の物性と免疫原性 (2016.1)

河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 佐藤太^{*}, 袴塚高志: LC-Q-TOF-MSを用いた生体試料中危険ドラッグ成分のスクリーニング法の検討.

日本法中毒学会第34年会 (2015.6)

^{*} 日本ウォーターズ (株)

工藤恵子^{*}, 白元洋介^{*}, 花尻 (木倉) 瑠理, 辻彰子^{*}, 池田典昭^{*}: 危険ドラッグによる中毒死事例における, 血液および尿中4-methoxy PV8, PV9, 4-methoxy PV9, diphenidineの同時分析.

日本法中毒学会第34年会 (2015.6)

^{*} 九州大学医学部

内山奈穂子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 簡易薬物スクリーニングキットを用いた危険ドラッグ成分の識別法

の検討.

日本法中毒学会第34年会 (2015.6)

Uchiyama N, Aritake K^{*}, Kikura-Hanajiri R, Hakamatsuka T, Urade Y^{*}: Effects of recently-emerged synthetic cannabinoids on locomotor activity in mice.

TIAFT 2015 (2015.8)

^{*} 筑波大学国際統合睡眠医学科学研究機構

Kikura-Hanajiri R, Uchiyama N, Hakamatsuka T: Evaluation of the binding affinities of 54 newly-emerged Synthetic cannabinoids at the cannabinoid CB1 and CB2 Receptors.

TIAFT 2015 (2015.8)

堀井周文^{*}, 小此木明^{*}, 高橋隆二^{*}, 鎌倉浩之, 袴塚高志, 合田幸広: 八味地黄丸エキス製剤及び湯剤の同等性に関する研究.

第32回和漢医薬学会学術大会 (2015.8)

^{*} クラシエ製薬 (株) 漢方研究所

大嶋直浩^{*1}, 日向須美子^{*2}, 日向昌司, 鎌倉浩之, 丸山卓郎, 袴塚高志, 天倉吉章^{*3}, 合田幸広, 花輪壽彦^{*2}: エフェドリンアルカロイド除去麻黄エキス (EFM) の製造法と活性成分 herbacetin の含量.

第32回和漢医薬学会学術大会 (2015.8)

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} 北里大学東洋医学研究所

^{*3} 松山大学薬学部

大嶋直浩^{*1}, 政田さやか, 鈴木隆太, 八木奏, 松藤寛^{*2}, 末永恵美, 高橋豊^{*3}, 矢作忠弘^{*1,2}, 渡邊将人^{*4}, 矢原正治^{*4}, 飯田修^{*5}, 川原信夫^{*5}, 丸山卓郎, 合田幸広, 袴塚高志: チェストツリーのマンケイシに対する特徴的な新規成分の同定.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} 日本大学薬学部

^{*3} エムエス・ソリューションズ (株)

^{*4} 熊本大学薬学部

^{*5} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

矢作忠弘^{*1,2}, 政田さやか, 大嶋直浩^{*1}, 鈴木隆太, 八木奏, 松藤寛^{*2}, 末永恵美, 高橋豊^{*3}, 渡邊将人^{*4}, 矢原正治^{*4}, 飯田修^{*5}, 川原信夫^{*5}, 丸山卓郎, 合田幸広, 袴塚高志: マンケイシのチェストツリーに対する特徴的な成分の同定.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

^{*1} 国際医療福祉大学薬学部

^{*2} 日本大学薬学部

^{*3} エムエス・ソリューションズ (株)

^{*4} 熊本大学薬学部

^{*5} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

河野徳昭*, 内山奈穂子, 花尻(木倉)瑠理, 鈴木秀幸*, 吉松嘉代*, 川原信夫*: ケシ属植物の網羅的な発現遺伝子情報を利用した鑑別法の開発.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

成暁^{*1}, 楊永平^{*1}, 孫航^{*1}, 山路弘樹^{*2}, 司馬真央^{*2}, 中村理恵^{*2}, 橋本和則^{*2}, 武田修己^{*2}, 楊振興^{*3}, 趙鵬^{*3}, 劉涛^{*3}, 李世玉^{*3}, 丸山卓郎, 袴塚高志, 合田幸広: チクジヨ日本流通品の基原植物調査及び含有成分における中国・日本産竹類の多様性.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

^{*1} 中国科学院昆明植物研究所

^{*2} ツムラ (株)

^{*3} 深圳津村薬業有限公司

大塚璃里*, 関口尚香*, 平澤祐介*, 内山奈穂子, 合田幸広, 森田博史*: 2種のヒカゲノカズラ科植物に含まれるアルカロイドの成分研究.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

* 星薬科大学

張雯佳*, Nugroho AE*, 平澤祐介*, 内山奈穂子, 袴塚高志, 金田利夫*, 森田博史*: キョウチクトウ科 *Leuconotis griffithii* より単離した新規アルカロイドの構造.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

* 星薬科大学

裕本紗里*, 高須翔志郎*, 河村麻衣子, 花尻(木倉)瑠理, 前橋恭子*, 岩楯公晴*: 血液中から危険ドラッグ成分が検出され, 高度冠動脈狭窄を認めた若年男性2症例. 日本法医学会第84回学術関東地方集会 (2015.10)

* 東京慈恵会医科大学

北岡千佳^{*1}, 品川明^{*2}, 細江潤子, 袴塚高志, 濱田(佐藤)奈保子^{*3}, 良永裕子^{*4}: 産地の異なる養殖マガキの味認識装置による呈味分析.

日本食生活学会第51回大会 (2015.11)

^{*1} 戸板女子短期大学食物栄養科

^{*2} 学習院女子大学国際文化交流学部

^{*3} 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科

^{*4} 麻布大学生命・環境科学部

糸田幸恵, 丸山卓郎, 袴塚高志, 合田幸広, 浅間宏志^{*1}, 山本豊^{*2}: PCR法による生薬アキョウの基原動物種鑑別. 第44回生薬分析シンポジウム (2015.11)

^{*1} (株) ウチダ和漢薬

^{*2} (株) 栃本天海堂

政田さやか, 高橋豊*, 合田幸広, 袴塚高志: 赤ブドウ葉抽出エキス由来製品の成分分析.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

* エムエス・ソリューションズ (株)

内山奈穂子, 花尻(木倉)瑠理, 浅川和宏*, 堤泰造*, 袴塚高志: 平成26年~27年度新規流通危険ドラッグ成分の同定.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

* 徳島県立保健製薬環境センター

河村麻衣子, 内山奈穂子, 花尻(木倉)瑠理, 袴塚高志: 平成26年度危険ドラッグ製品の全国買い上げ調査について.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

最所和宏, 花尻(木倉)瑠理, 合田幸広: 平成26年度無承認無許可医薬品の買い上げ調査について—強壮用健康食品等—.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

緒方潤, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: DNA情報を用いた幻覚性植物の鑑定事例.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

内山奈穂子, 有竹浩介*, マリシェフサカヤ オリガ*, 裏出良博*: リボカリン型プロスタグランジンD合成酵素遺伝子欠損マウスの自発行動及び脳波に及ぼすカンナビノイドの作用.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会 BMB 2015 (2015.12)

* 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

Masada S, Oshima N, Yahagi T^{*1}, Suzuki R, Takahashi Y^{*2}, Matsufuji Y^{*3}, Watanabe M^{*4}, Yahara S^{*4}, Iida O^{*5}, Kawahara N^{*5}, Maruyama T, Goda Y, Hakamatsuka T: Identification of marker compounds to distinguish herbal medicines originating from different Vitex species.

PacificChem 2015 (2015.12)

*¹ 国際医療福祉大学薬学部

*² エムエス・ソリューションズ (株)

*³ 日本大学生物資源学部

*⁴ 熊本大学薬学部

*⁵ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

内山奈穂子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 簡易薬物スクリーニングキットを用いた危険ドラッグ成分の識別法の検討 (3)

第30回日本中毒学会・東日本地方会 (2016.1)

多田百花^{*1}, 小島梨花^{*1}, 永田久美子^{*1}, 日坂真輔^{*1}, 政田さやか, 袴塚高志, 本間真人^{*2}, 能勢充彦^{*1}: 漢方処方 of 科学的解析 (第14報) 各種甘草配合処方におけるグリチルリチン酸含有量ならびにその抽出効率について.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 名城大学薬学部

*² 筑波大学附属病院

吉富太一, 後藤佑斗, 袴塚高志, 丸山卓郎, 大嶋直浩^{*1}, 中森俊輔^{*2}, 小林義典^{*2}, 安食菜穂子^{*3}, 杉村康司^{*3}, 瀧野裕之^{*3}, 飯田修^{*3}, 川原信夫^{*3}, 神野透人^{*4}, 香川聡子^{*5}, 若菜大悟^{*6}: LC-HRMS データによるショウキョ

ウ及びカンキョウのTRPV1賦活活性予測モデル式について.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 国際医療福祉大学薬学部

*² 北里大学薬学部

*³ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*⁴ 名城大学薬学部

*⁵ 横浜薬科大学

*⁶ 星薬科大学

政田さやか, 袴塚高志, 丸山卓郎, 河野徳昭^{*1}, 瀧野裕之^{*1}, 川原信夫^{*1}, 朱姝^{*2}, 小松かつ子^{*2}, 山本豊^{*3}, 横倉胤夫^{*4}, 山路弘樹^{*5}, 中井洋一郎^{*5}, 新井玲子^{*6}, 川崎武志^{*6}, 近藤誠三^{*7}: 遺伝子情報を利用したポウフウの純度試験法の検討.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*² 富山大学和漢医薬学総合研究所

*³ (株) 栃本天海堂

*⁴ 日本粉末薬品 (株)

*⁵ ツムラ (株)

*⁶ (株) ウチダ和漢薬

*⁷ 小太郎漢方製薬 (株)

吉富太一, 丸山卓郎, 江崎正美^{*1}, 河野徳昭^{*1}, 瀧野裕之^{*1}, 川原信夫^{*1}, 朱姝^{*2}, 小松かつ子^{*2}, 山本豊^{*3}, 横倉胤夫^{*4}: 陝西省周辺産ポウフウ及び類似生薬の基原と成分について.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*² 富山大学和漢医薬学総合研究所

*³ (株) 栃本天海堂

*⁴ 日本粉末薬品 (株)

吉富太一, 在間一将, 内山奈穂子, 丸山卓郎, 合田幸広, 袴塚高志, 川原信夫^{*1}, 吉田雅昭^{*2}, 近藤誠三^{*2}, 秋葉秀一郎^{*2}, 浅間宏志^{*2}, 横倉胤夫^{*2}, 五島隆志^{*2}, 山浦高夫^{*2}, 高橋喜久美^{*2}, 富塚弘之^{*2}, 佐々木博^{*2}, 神本敏弘^{*3}, 山路弘樹^{*3}, 菊地祐一^{*3}, 山本豊^{*4}, 嶋田康男^{*4}: TLCを用いたチクヨウの確認及び純度試験の設定とその指標成分の同定.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*² 日本漢方生薬製剤協会

*³ (公社) 東京生薬協会

*⁴ 日本生薬連合会

矢加部亮*¹, 平倉一弘*¹, 神本敏弘*¹, 五十嵐靖*¹, 菊地祐一*¹, 高尾正樹*¹, 濱口隆*¹, 諸田隆*¹, 川原信夫*², 袴塚高志, 合田幸広, 木内文之*³: 「葛根湯加川キユウ辛夷エキス」のシンイ確認試験成分の構造.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ (株) ツムラ

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

*³ 慶応義塾大学薬学部

佐藤 (増本) 直子, 坂上祐香*, 合田幸広, 袴塚高志: 新規漢方処方品の品質規格に関する基礎的検討 (17) 半夏に含有される抗炎症性サイトカインIL-10の発現誘導活性成分について.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 東京理科大学薬学部

内山奈穂子, 有竹浩介*, 花尻 (木倉) 瑠理, 裏出良博*, 袴塚高志: 危険ドラッグ製品よりマイナー成分として検出された新規化合物の同定及びマウス自発運動量に及ぼす作用について.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

鎌倉浩之, 細江潤子, 袴塚高志, 合田幸広: 漢方エキス中の水銀, ヒ素, 鉛及びカドミウムについて (第2報).

日本薬学会第136年会 (2016.3)

田中理恵, 河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: 危険ドラッグのDART-Orbitrap MSを用いた迅速スクリーニング法の検討.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

河村麻衣子, 花尻 (木倉) 瑠理, 袴塚高志: イオンモビリティ質量分析による生体試料中の危険ドラッグ成分スクリーニング分析法の検討.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

Sawada R, Kono K, Hiruma H, Sato Y, Niimi S: Effects of synthetic high polymers used as materials of blood-contacting medical devices on the gene expression profiles of human mesenchymal stem cells and human monocytic leukemia cells.

International Society for Stem Cell Research 2015 (2015.6)

Kono K, Sawada R, Sato Y: Association of LINE-1s expression with differentiation potential of human mesenchymal stem cells.

International Society for Stem Cell Research 2015 (2015.6)

遊佐敬介, 前田洋助*, 佐藤陽治, 苑宇哲: RNA-Seqによるカリシウイルス感染ヒト細胞内でのウイルス複製阻害メカニズムの解析.

第4回NGS現場の会 (2015.7)

* 熊本大学

苑宇哲, 前田洋助*, 佐藤陽治, 遊佐敬介: バイオ医薬品製造用細胞が産生する内在性レトロウイルスの解析.

第4回NGS現場の会 (2015.7)

* 熊本大学

Yusa K, Maeda Y*, Sato Y, Yuan Y: Human cells are protected from feline calicivirus replication by host factor(s).

第63回日本ウイルス学会学術集会 (2015.11)

* 熊本大学

Yuan Y, Maeda Y*, Sato Y, Yusa K: Novel endogenous retroviruses responsible for virus-like particles generated from CHO cells.

第63回日本ウイルス学会学術集会 (2015.11)

* 熊本大学

澤田留美, 河野健, 比留間瞳, 田中賢*, 新見伸吾, 佐藤陽治: 医用材料の内皮化に関するin vitro 評価における新規不死化ヒト血管内皮細胞株の有用性.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

* 九州大学先導物質化学研究所

Kusakawa S, Yasuda S, Kuroda T, Kawamata S*, Sato Y: Digital analysis of soft agar colony formation for highly sensitive detection of tumorigenic cellular impurities in human cell-processed therapeutic products.

World Stem Cell Summit 15 (2015.12)

* 先端医療振興財団

Kuroda T, Yasuda S, Matsuyama S, Takada N, Nakashima H, Kusakawa S, Umezawa A*¹, Matsuyama A*², Kawamata S*³, Sato Y: Simple in vitro method for detection of immortalized cells in human retinal pigment epithelial cells.

World Stem Cell Summit 15 (2015.12)

*¹ 国立成育医療研究センター

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

*³ 先端医療振興財団

佐藤陽治：再生医療等製品（細胞加工製品）の実用化のためのレギュラトリーサイエンス。

第89回日本薬理学会年会（2016.3）

佐藤陽治：ヒト細胞加工製品実用化における科学的課題とそれらに関するコンセンサスづくり。

第15回日本再生医療学会総会（2016.3）

佐藤陽治：ヒト細胞加工製品の造腫瘍性のリスクとハザードと不足情報。

第15回日本再生医療学会総会（2016.3）

黒田拓也, 安田智, 松山さと子, 高田のぞみ, 中島啓行, 草川森士, 梅澤明弘*¹, 松山晃史*², 川真田伸*³, 佐藤陽治：ヒトiPS細胞由来網膜色素上皮細胞中に混入する不死化細胞検出法の開発とその性能評価。

第15回日本再生医療学会総会（2016.3）

*¹ 国立成育医療研究センター

*² (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

*³ 先端医療振興財団

伊東絵望子*, 宮川繁*, 福寫五月*, 齋藤充弘*, 河村愛*, 武田真季*, 寒川延子*, 塩崎元子*, 伊勢岡弘子*,

小田紀子*, 佐藤陽治, 澤芳樹*：ヒトiPS細胞由来心筋細胞移植における安全性評価システムの確立。

第15回日本再生医療学会総会（2016.3）

* 大阪大学

草川森士, 安田智, 黒田拓也, 川真田伸*, 佐藤陽治：デジタル軟寒天コロニー形成試験を利用した再生医療製品の品質評価。

第15回日本再生医療学会総会（2016.3）

* 先端医療振興財団

河野健, 澤田留美, 佐藤陽治：ヒト間葉系幹細胞における細胞分化とレトロトランスポゾンLINE-1発現量の関係について。

第15回日本再生医療学会総会（2016.3）

内田恵理子, 水澤左衛子*¹, 岡田義昭*^{1,2}, 皆木隆男*³, 高倉明子*⁴, 内田茂治*⁴, 古田里佳*⁵, 松倉晴道*⁵, 坂田秀勝*⁶, 松林圭二*⁶, 山口照英：血液製剤のウイルス安全性確保：パルボウイルスB19 DNA参照パネルの樹立に関する共同研究。

第63回日本輸血・細胞治療学会総会（2015.5）

*¹ 国立感染症研究所

*² 埼玉医科大学

*³ 日本血液製剤機構

*⁴ 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

*⁵ 日本赤十字社近畿ブロック血液センター

*⁶ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター

水澤左衛子*¹, 落合雅樹*¹, 内田茂治*², 高倉明子*², 内田恵理子, 山口照英, 浜口功*¹, 岡田義昭*³：パルボウイルスB19国内標準品作製のための共同研究。

第63回日本輸血・細胞治療学会総会（2015.5）

*¹ 国立感染症研究所

*² 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所

*³ 埼玉医科大学

大岡伸通, 服部隆行, 内藤幹彦：TACC3分解誘導剤によるがん細胞のユビキチン関連死。

第19回日本がん分子標的治療学会学術集会（2015.6）

吉田徳幸, 内藤雄樹*¹, 佐々木澄美, 内田恵理子, 小比賀聡*², 佐藤陽治, 内藤幹彦, 井上貴雄：Gapmer型ア

ンチセンスによる相補結合依存的オフターゲット効果の安全性評価に関する研究.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6・7)

*¹ ライフサイエンス統合データベースセンター

*² 大阪大学大学院薬学研究科

服部隆行, 高橋美帆^{*1}, 椎名勇^{*2}, 大橋愛美^{*3}, 且慎吾^{*3}, 西川喜代孝^{*1}, 内藤幹彦: プロテアソーム阻害による志賀毒素誘導性細胞死の抑制.

第19回腸管出血性大腸菌感染症研究会 (2015.7)

*¹ 同志社大学生命医科学部

*² 東京理科大学理学部

*³ がん研究所がん化学療法センター

Yamaguchi T*, Uchida E: Revision of Japanese gene therapy guidelines.

第21回遺伝子治療学会学術集会 (2015.7)

* 日本薬科大学

Igarashi Y*, Uchiyama T*, Uchida E, Onodera M*: Reguratory science of viral vector for gene therapy.

第21回遺伝子治療学会学術集会 (2015.7)

* 国立成育医療研究センター

吉田徳幸, 内藤雄樹^{*1}, 佐々木澄美, 内田恵理子, 小比賀聡^{*2}, 佐藤陽治, 内藤幹彦, 井上貴雄: Gapmer型アンチセンスによる相補結合依存的オフターゲット効果の安全性評価法の確立に向けた基盤研究.

第7回日本RNAi研究会 (2015.8)

*¹ ライフサイエンス統合データベースセンター

*² 大阪大学大学院薬学研究科

吉田徳幸, 内藤雄樹^{*1}, 佐々木澄美, 内田恵理子, 小比賀聡^{*2}, 佐藤陽治, 内藤幹彦, 井上貴雄: アンチセンス医薬品のオフターゲット効果の安全性評価に関する研究.

第9回バイオ関連化学シンポジウム (2015.9)

*¹ ライフサイエンス統合データベースセンター

*² 大阪大学大学院薬学研究科

佐々木澄美, 吉田徳幸, 内田恵理子, 内藤幹彦, 佐藤陽

治, 井上貴雄: 核酸医薬品の細胞内輸送機構の解析.

第9回バイオ関連化学シンポジウム (2015.9)

Suzuki T: Regulatory issues on the companion diagnostics in Japan.

3rd International Conference on Predictive, Preventive and Personalized Medicine & Molecular Diagnostics (2015.9)

Suzuki T, Suresh T: Protein adductome analysis for human exposure monitoring with environmental and endogenous mutagens.

14th Human Proteome Organization World Congress (2015.9)

柴田識人, 大岡伸通, 権藤洋一*, 内藤幹彦: 終止コドンリードスルー変異による蛋白質のユビキチン-プロテアソーム依存的な分解はある種の遺伝性疾患の原因となりえる.

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

* (独) 理化学研究所バイオリソースセンター

大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行, 内藤幹彦: TACC3分解誘導剤によるがん細胞のユビキチン関連死.

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

Suzuki T: Urinary proteome analysis for toxic biomarker of aristolochic acid.

The 2015 Shanghai International Symposium on Herbal Safety (2015.10)

Yamamoto S^{*1}, Hagihara T^{*1}, Yoshida T, Sasaki K, Naito M, Obika S^{*2}, Uemura H^{*1}, Inoue T: Evaluation of innate immune activity of Antisense Oligonucleotides.

11th Annual Meeting of the Oligonucleotide Therapeutics Society (2015.10)

*¹ 扶桑薬品工業 (株)

*² 大阪大学大学院薬学研究科

内藤幹彦: 病原性タンパク質を分解するSNIPER化合物の開発.

第33回メデイシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

鈴木孝昌, 降旗千恵, スレッシュユ・テイルパッティ, 鶴

飼明子, 山田雅巳, 本間正充: 次世代シーケンサーを使った突然変異の直接検出.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

降旗千恵, スレッシュ・ティルパッティ, 本間正充, 鈴木孝昌: 次世代シーケンサーによる全ゲノム解析を用いたヒト細胞のSNP探索とゲノム構造変化の解析.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

吉田徳幸, 内藤雄樹^{*1}, 佐々木澄美, 内田恵理子, 小比賀聡^{*2}, 佐藤陽治, 内藤幹彦, 井上貴雄: Gapmer型アンチセンスによる相補結合依存的オフターゲット効果の安全性評価手法構築に向けた基盤研究.

日本核酸医薬学会第1回年会 (2015.11)

^{*1} ライフサイエンス統合データベースセンター

^{*2} 大阪大学大学院薬学研究科

佐々木澄美, 吉田徳幸, 内田恵理子, 内藤幹彦, 佐藤陽治, 井上貴雄: オリゴ核酸の細胞内動態に関する分子の探索.

日本核酸医薬学会第1回年会 (2015.11)

山本誠司^{*1}, 萩原衆子^{*1}, 吉田徳幸, 佐々木澄美, 飯村信^{*2}, 小泉誠^{*2}, 内藤幹彦, 小比賀聡^{*3}, 植村英俊^{*1}, 井上貴雄: Gapmer型アンチセンスによる自然免疫活性化の評価に関する研究.

日本核酸医薬学会第1回年会 (2015.11)

^{*1} 扶桑薬品工業 (株)

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

萩原衆子^{*1}, 山本誠司^{*1}, 吉田徳幸, 佐々木澄美, 飯村信^{*2}, 小泉誠^{*2}, 内藤幹彦, 小比賀聡^{*3}, 植村英俊^{*1}, 井上貴雄: スプライシング制御型アンチセンスによって引き起こされる自然免疫活性化の評価に関する研究.

日本核酸医薬学会第1回年会 (2015.11)

^{*1} 扶桑薬品工業 (株)

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

大岡伸通, 永井克典^{*}, 服部隆行, 柴田識人, 長展生^{*}, 内藤幹彦: ユビキチン化誘導剤によって起こるユビキチン関連死の解明.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会 (BMB2015) (2015.12)

^{*} 武田薬品工業 (株)

服部隆行, 高橋美帆^{*1}, 椎名勇^{*2}, 大橋愛美^{*3}, 且慎吾^{*3}, 西川喜代孝^{*1}, 内藤幹彦: プロテアソーム阻害による志賀毒素誘導性細胞死の抑制.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会 (BMB2015) (2015.12)

^{*1} 同志社大学生命医科学部

^{*2} 東京理科大学理学部

^{*3} がん研究所がん化学療法センター

奥井文^{*}, 堀内祥行^{*}, 山本誠司^{*}, 萩原衆子^{*}, 吉田徳幸, 井上貴雄, 植村英俊^{*}, 松久明生^{*}: 好中球のNETs現象に着目した核酸医薬の安全性評価.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会 (BMB2015) (2015.12)

^{*} 扶桑薬品工業 (株)

山本誠司^{*}, 萩原衆子^{*}, 堀内祥行^{*}, 奥井文^{*}, 和仁翔太郎^{*}, 吉田徳幸, 井上貴雄, 田中亜紀^{*}, 松久明生^{*}, 廣瀬豊^{*}, 大熊芳明^{*}: CpGオリゴ核酸によるTLR9を介した転写制御機構の解析.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会 (BMB2015) (2015.12)

^{*} 扶桑薬品工業 (株)

Naito M: Protein knockdown by SNIPER compounds, inducers for target protein-selective degradation.

The 20th JFCR-ISCC (2015.12)

鈴木孝昌: コンパニオン診断薬開発の現状と課題に関するアンケート調査の概要.

日本遺伝子診療学会遺伝子診断・検査技術推進フォーラム公開シンポジウム2015 (2015.12)

Naito M, Hattori T, Ohoka N, Shibata N, Shoda T, Demizu Y, Kurihara M: Protein knockdown by SNIPER compounds: Application for basic research and cancer therapy.

Tenth AACR-JCA Joint Conference (2016.2)

内藤幹彦 (代理: 大岡伸通): オフターゲット効果の評価法構築.

平成27年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2016.2)

吉田徳幸：核酸医薬品の安全性確保のための評価技術開発.

平成27年度日本医療研究開発機構研究費創薬基盤推進研究事業研究成果発表会 (2016.2)

内田恵理子：「遺伝子治療用医薬品の品質及び安全性の確保に関する指針」の改正.

バイオリジクスフォーラム第13回学術集会 (2016.2)

吉田徳幸, 佐々木澄美, 内藤雄樹^{*1}, 飯村信^{*2}, 小泉誠^{*2}, 多賀谷光洋^{*3}, 高垣和史^{*3}, 小比賀聡^{*4}, 内藤幹彦, 井上貴雄：スプライシング制御型アンチセンスのオフターゲット効果の評価に関する研究.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} ライフサイエンス統合データベースセンター

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 日本新薬 (株)

^{*4} 大阪大学大学院薬学研究科

佐々木澄美, 吉田徳幸, 内田恵理子, 内藤幹彦, 佐藤陽治, 小比賀聡^{*}, 井上貴雄：アンチセンス核酸の細胞内動態に関連する分子の探索.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 大阪大学大学院薬学研究科

萩原衆子^{*1}, 山本誠司^{*1}, 吉田徳幸, 佐々木澄美, 飯村信^{*2}, 小泉誠^{*2}, 内藤幹彦, 小比賀聡^{*3}, 植村英俊^{*1}, 井上貴雄：Mixmer型アンチセンスのToll様受容体を介した自然免疫活性化に関する研究.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 扶桑薬品工業 (株)

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

山本誠司^{*1}, 萩原衆子^{*1}, 吉田徳幸, 佐々木澄美, 飯村信^{*2}, 小泉誠^{*2}, 内藤幹彦, 小比賀聡^{*3}, 植村英俊^{*1}, 井上貴雄：Gapmer型アンチセンスによるTLR9を介した自然免疫活性化の評価.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 扶桑薬品工業 (株)

^{*2} 第一三共 (株)

^{*3} 大阪大学大学院薬学研究科

柴田識人, 大岡伸通, 服部隆行, 橋井則貴, 斎藤臣雄^{*}, 近藤恭光^{*}, 石井明子, 長田裕之^{*}, 内藤幹彦：BCR-ABLの蛋白質分解誘導剤開発を指向したBCR-ABL結合化合物の探索.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 理化学研究所

大岡伸通, 伊東昌宏^{*1}, 奥平桂一郎^{*2}, 永井克典^{*1}, 柴田識人, 服部隆行, 長展生^{*1}, 内藤幹彦：ユビキチン・プロテアソーム経路を利用したプロテインノックダウン化合物の開発.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 武田薬品工業 (株)

^{*2} 徳島大学大学院医歯薬学研究部

服部隆行, 正田卓司, 奥平桂一郎^{*1}, 柴田識人, 大岡伸通, 伊藤進^{*2}, 栗原正明, 内藤幹彦：網羅的人工ユビキチン修飾システムの構築.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 徳島大学大学院医歯薬学研究部

^{*2} 昭和薬科大学

植松美幸, 靄島由二, 中岡竜介, 中野達也, 瀬川勝智, 新見伸吾：医用材料の生体適合性評価指標開発を目的とした表面の水和上体に関する分子動力学シミュレーション.

第54回日本生体医工学会大会 (2015.5)

Uematsu M, Haishima Y, Nakaoka R, Niimi S, Segawa K, Nakano T: Developing a Biocompatibility Evaluation System Utilizing Molecular Dynamics Simulation of Hydration on Surface of Biomaterials.

The 54th Annual Conference of Japanese Society for Medical and Biological Engineering (2015.5)

藤澤彩乃^{*1}, 下畑宣行^{*2}, 伊藤聖子^{*1}, 中川貴之^{*1}, 望月学^{*1}, 靄島由二, 福井千恵, 河上強志, 鄭雄一^{*1}, 佐々木伸雄^{*1}：ビーグル犬を利用した人工呼吸関連肺炎を抑制する低侵襲性換気用気管チューブの開発.

第62回日本実験動物学会学術集会 (2015.5)

*¹ 東京大学

*² 立命館大学

Pellevoisin C^{*1}, Tornier C^{*1}, Alonso A^{*1}, Turley AP^{*2}, Lee M^{*2}, Briotet D^{*3}, Haishima Y, Bouez C^{*1}: In vitro assessment of skin irritation of medical devices with Episkin reconstructed human epidermis (RHE). ASIATOX 2015 (2015.6)

*¹ EPISKIN Academy

*² Nelson Laboratories

*³ NAMSA

Nie J^{*1}, Sakuma I^{*1}, Konoeda H^{*2}, Hishiyama J^{*2}, Sakurai H^{*2}, Masamune K^{*2}, Uematsu M: Evaluation of a medical image overlay navigation system with a tablet PC. Computer Assisted Radiology and Surgery 29th International Congress and Exhibition (2015.6)

*¹ The University of Tokyo

*² Tokyo Women's Medical University

宮島敦子, 河上強志, 小森谷薫, 加藤玲子, 新見伸吾, 伊佐間和郎: 物理化学的性質の異なる酸化亜鉛ナノマテリアルの細胞応答. 第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

靛島由二, 戸井田瞳, 福井千恵, 野村祐介, 新見伸吾, 甲斐茂美^{*1}, 小野浩一^{*2}, 金井淳^{*2}: カラー CL の色素局在性を解析する新規評価法の開発. 第58回日本コンタクトレンズ学会総会 (2015.7)

*¹ 神奈川衛研

*² 順天堂大学

野村祐介, 福井千恵, 戸井田瞳, 森下裕貴, 新見伸吾, 宮川伸^{*1}, 金玲^{*1}, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二: RNAアプタマーを利用した革新的医用材料の開発. 第17回RNAミーティング (2015.7)

*¹ リボミック

*² 東京大学医科学研究所

野村祐介, 福井千恵, 森下裕貴, 柚場俊康^{*1}, 新藤智子^{*2}, 坂口圭介^{*3}, 谷川隆洋^{*3}, 杉山知子^{*3}, 竹ノ内美香^{*3}, 河上強志, 伊佐間和郎, 新見伸吾, 靛島由二: 医療機器

の血液適合性試験法の改定に向けた取り組み.

第1回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2015.9)

*¹ 川澄化学

*² 食品薬品安全センター

*³ テルモ

植松美幸, 靛島由二, 中岡竜介, 新見伸吾: 新規医用材料開発における一次スクリーニング法としての分子動力学シミュレーションの応用. 第1回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム (2015.9)

Uematsu M, Haishima Y, Nakaoka R, Niimi S: Simulation strategy to monitor water distribution in PME channel. 生体医工学シンポジウム2015 (2015.9)

Kandarova H^{*1,4}, Willoughby JA^{*2}, Wim H^{*3}, Bachelor MA^{*4}, Letasiova S^{*1}, Milasova T^{*1}, Breyfogle B^{*4}, Fonteyne L^{*3}, Haishima Y, Coleman KP^{*5}: Development, optimization and standardization of an in vitro skin irritation test for medical devices using the reconstructed human tissue model EpiDerm. Eurotox 2015 (2015.9)

*¹ MatTek In Vitro Life Science Laboratories

*² Cyprotex US LLC

*³ RIVM

*⁴ MatTek Corporation,

*⁵ Medtronic

Sakoda H, Niimi S: Effects of lipids on the wear of ultra-high molecular weight polyethylene used for total artificial joints.

The 8th International Biotribology Forum (2015.9)

Miyajima-Tabata A, Komoriya K, Hiruma H, Kato R, Niimi S: Comparison of the evaluation methods of haemocompatibility for polymer biomaterials contacting with blood. Eurotox 2015 (2015.9)

Fukunaga J^{*1}, Nomura Y, Tanaka Y^{*1,2}, Nakamura Y^{*3,4}, Sakamoto T^{*5}, Kozu T^{*1}: MTG8 TAFH domain binds to the RNA G-quadruplex motif that can dissociate the

AML1-MTG8 fusion protein/DNA complex.

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

*¹ Saitama Cancer Center

*² Instrumental Analysis Center, Yokohama National University

*³ Inst. Med. Sci., Univ. Tokyo

*⁴ Ribomic Inc.

*⁵ Chiba Inst. Tech.

迫田秀行：医療機器の評価 -新しい医療機器を現場に届けるために-

第26回バイオフロンティア講演会 (2015.10)

野村祐介, 福井千恵, 戸井田瞳, 森下裕貴, 新見伸吾, 宮川伸^{*1}, 金玲^{*1}, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二：RNAアプタマーを利用した新規医用材料の蛋白質吸着挙動評価.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

*¹ リボミック

*² 東京大学医科学研究所

野村祐介, 福井千恵, 竹ノ内美香*, 杉山知子*, 坂口圭介*, 森下裕貴, 新見伸吾, 靛島由二：溶血性試験公定法3種間における感度相違の原因究明.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

* テルモ

藤澤彩乃*, 福井千恵, 野村祐介, 靛島由二, 鄭雄一*：医療用プラスチック製品の各種可塑剤に対する炎症惹起性の評価.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

* 東京大学

森下裕貴, 福井千恵, 野村祐介, 藤澤彩乃^{*1}, 山崎佳世^{*2}, 熊田秀文^{*3}, 井上薫, 森川朋美, 高橋美和, 河上強志, 伊佐間和郎, 柚場俊康^{*4}, 宮崎謙一^{*5}, 鄭雄一^{*1}, 小川久美子, 新見伸吾, 吉田緑, 靛島由二：PVC 製血液バッグに適用可能な新規可塑剤DL9THの安全性評価.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

*¹ 東京大学

*² 民生科学協会

*³ 神奈川歯大

*⁴ 川澄化学

*⁵ 新日本理化

張替貴志*, 佐草啓介*, 靛島由二, 坂口圭介*：生体反応を反映した医療機器のIn vitroハイスループット評価系の検討.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

* テルモ

加藤玲子, 靛島由二, 比留間瞳, 小森谷薫, 宮島敦子, 田中賢*, 新見伸吾：高分子材料表面がヒト単球系細胞の活性化に与える影響について.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

* 九州大学

靛島由二, 福井千恵, 戸井田瞳, 田中賢^{*1}, 柚場俊康^{*2}, 野村祐介, 森下裕貴, 新見伸吾：プロテオミクス解析を利用した医用材料の血液適合性評価法の開発.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

*¹ 九州大学

*² 川澄化学

靛島由二, 佐々木祥一^{*1}, 山崎佳世^{*1}, 吉田緑, 福井千恵, 柚場俊康^{*2}, 坂口圭介^{*3}, 野村祐介, 森下裕貴, 新見伸吾, Lee M^{*4}：刺激性試験用陽性対照材料の性能評価.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

*¹ 民生科学協会

*² 川澄化学

*³ テルモ

*⁴ Nelson Labo.

迫田秀行, 新見伸吾：マイクロ・スラリージェットエオン法による生体内材料劣化評価の可能性.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

迫田秀行, 松岡厚子, 河野健, 高橋広幸*, 中島義雄*, 新見伸吾：電子ビーム積層造形法に使用するチタン合金粉末の細胞毒性.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

* 帝人ナカシマメディカル

植松美幸, 靛島由二, 中岡竜介, 新見伸吾：分子動力的シミュレーションを用いた材料表面近傍の温度条件と

水分子挙動の相関解析.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

中岡竜介, 新見伸吾: ベタイン構造模倣SAM表面の血液適合性評価を踏まえたタンパク質動的吸着解析.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

宮島敦子, 小森谷薫, 田中賢*, 比留間瞳, 加藤玲子, 新見伸吾: PMEAA類似高分子材料の血液適合性評価における評価試験項目の特性について.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

* 九州大学

迫田秀行, 新見伸吾, 菅野伸彦*: 抜去した人工関節超高分子量ポリエチレンコンポーネントに含まれる生体脂質の定量.

第42回日本臨床バイオメカニクス学会 (2015.11)

* 大阪大学

近藤次郎*¹, 野村祐介, 北原佑季子*¹, 小比賀聡*², 鳥越秀峰*³: 2',4'-BNANC[N-Me]修飾をもつアンチセンスギャップマーのX線結晶解析.

日本核酸医薬学会第1回年会 (2015.11)

*¹ 上智大学

*² 大阪大学

*³ 東京理科大学

天野亮*¹, 高田健多*¹, 田中陽一郎*^{2,3}, 永田崇*⁴, 片平正人*⁴, 野村祐介, 福永淳一*³, 中村義一*^{5,6}, 神津知子*³, 坂本泰一*¹: AML1 (RUNX1) タンパク質のRuntドメインとRNAアプタマーの相互作用のNMR解析.

日本核酸医薬学会第1回年会 (2015.11)

*¹ 千葉工業大学

*² 横浜国立大学

*³ 埼玉県立がんセンター

*⁴ 京都大学

*⁵ 東京大学医科学研究所

*⁶ リボミック

木島研一*¹, 荒木辰也*², 飯嶋正也*³, 卯月左江子*⁴, 山浦一期*⁴, 大下昌利*⁵, 小川伸哉*⁶, 小田昌宏*⁷, 左海順*⁸, 佐藤謙一*⁹, 菅原敬信*², 鈴木義紀*¹⁰, 塚本洋子*¹¹, 殿守俊介*¹², 水沼恒英*¹³, 村井活史*⁵, 吉成河

法吏*¹⁴, 新見伸吾: 国内外における再生医療等製品の承認の現状~審査報告書から見た再生医療等製品に求められる品質, 有効性, 安全性の確保~.

日本PDA製薬学会第22回年会 (2015.12)

*¹ 協和発酵キリン (株)

*² (一財) 化学及血清療法研究所

*³ 北里第一三共ワクチン (株)

*⁴ 大鵬薬品 (株)

*⁵ (一社) 日本血液製剤機構

*⁶ 東洋紡 (株)

*⁷ 日本ボール (株)

*⁸ 大日本住友製薬 (株)

*⁹ テルモ (株)

*¹⁰ (株) スリーエス・ジャパン

*¹¹ 旭硝子 (株)

*¹² 日本チャールス・リバー (株)

*¹³ 日本製薬 (株)

*¹⁴ (医) 聖友会

Sakamoto T*¹, Amano R*¹, Nomura Y, Nagata T*^{2,3}, Katahira M*^{2,3}, Fukunaga J*⁴, Tanaka Y*⁴, Nakamura Y*^{5,6}, Kozu T*⁴: NMR study of RNA aptamer that binds to the transcription factor AML1 Runt domain. 第8回武田科学振興財団薬科学シンポジウム (2016.1)

*¹ Chiba Inst. Tech.

*² Inst. of Adv. Energ., Kyoto Univ.

*³ Grad. Sch. of Energ. Sci., Kyoto Univ.

*⁴ Saitama Cancer Center

*⁵ Inst. Med. Sci., Univ. Tokyo

*⁶ Ribomic Inc.

迫田秀行, 新見伸吾: 脂質に起因する劣化が超高分子量ポリエチレンの耐久性に与える影響.

第28回バイオエンジニアリング講演会 (2016.1)

岩崎清隆*, 笠貫宏*, 伊関洋*, 新見伸吾, 薮島由二, 宮島敦子, 加藤玲子, 迫田秀行, 植松美幸, 松橋祐輝*, 梅津光生*: 革新的医療機器実用化のためのEngineering Based Medicineに基づく非臨床性能評価系と評価法の確立.

第28回バイオエンジニアリング講演会 (2016.1)

* 早稲田大学

高橋泰浩*¹, 植松美幸, 青見茂之*², 飯村浩*², 中岡竜介,

新見伸吾, 鈴木孝司^{*2}, 村垣善浩^{*2}, 伊関洋^{*2}, 梅津光生^{*1}, 岩崎清隆^{*1}: 人工血管置換術用ナビゲーションにおける骨格の点を用いたレジストレーション法の開発と臨床データを用いた誤差評価.

第28回バイオエンジニアリング講演会 (2016.1)

^{*1} 早稲田大学

^{*2} 東京女子医科大学

Sakoda H, Niimi S: Emerging technology medical devices and regenerative medicine products in reconstruction of joint function.

International Symposium on Artificial Hydrogel Cartilage, Joint Replacement and Related Topics (ISAHC 2016) (2016.1)

迫田秀行, 松岡厚子, 河野健, 高橋広幸^{*}, 中島義雄^{*}, 新見伸吾: 三次元積層造形法に用いるチタン合金原材料粉末による細胞毒性と遺伝毒性.

第46回日本人工関節学会 (2016.2)

^{*} 帝人ナカシマメディカル

Pellevoisin C^{*1}, Tornier C^{*1}, Rollin B^{*2}, Briotet D^{*3}, Turley AP^{*3}, Lee M^{*4}, Haishima Y, Seyler N^{*1}, Bouez C^{*1}: Skin irritation of medical devices: in vitro assay with Episkin reconstructed human epidermis (RHE).

55th Annual Meeting and ToxExpo (2016.3)

^{*1} EPISKIN Academy

^{*2} Arthrex Laboratory

^{*3} NAMSA

^{*4} Nelson Laboratories

中岡竜介, 靛島由二, 新見伸吾: 再生医療等製品に関連した国際標準化の進捗状況について.

第15回日本再生医療学会総会 (2016.3)

野村祐介, 福井千恵, 戸井田瞳, 森下裕貴, 新見伸吾, 宮川伸^{*1}, 金玲^{*1}, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二: RNAアプタマーを利用した機能性医用材料の開発.

第15回日本再生医療学会総会 (2016.3)

^{*1} リボミック

^{*2} 東京大学医科学研究所

山崎佳世^{*1}, 藤巻日出夫^{*1}, 福井千恵, 向井智和^{*2}, 柚

場俊康^{*2}, 稲村健一^{*2}, 宮崎謙一^{*3}, 新見伸吾, 野村祐介, 森下裕貴, 河上強志, 伊佐間和郎, 靛島由二: PVC製4連血液バッグ用新規基材の生物学的安全性評価.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 民生科学協会

^{*2} 川澄化学

^{*3} 新日本理化

靛島由二, 河上強志, 福井千恵, 田上昭人^{*1}, 向井智和^{*2}, 柚場俊康^{*2}, 稲村健一^{*2}, 宮崎謙一^{*3}, 野村祐介, 森下裕貴, 伊佐間和郎, 新見伸吾: PVC製4連血液バッグ用代替可塑剤DL9THの特性評価.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 国立成育医療研究センター

^{*2} 川澄化学

^{*3} 新日本理化

野村祐介, 福井千恵, 戸井田瞳, 森下裕貴, 新見伸吾, 宮川伸^{*1}, 金玲^{*1}, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二: RNAアプタマーを利用した革新的医用材料の開発.

日本化学会第96春季年会 (2016.3)

^{*1} リボミック

^{*2} 東京大学医科学研究所

森下裕貴, 野村祐介, 福井千恵, 新見伸吾, 中村義一^{*1,2}, 靛島由二: 新規機能性医用材料の開発に向けたVEGF捕捉型RNAアプタマーの探索.

日本化学会第96春季年会 (2016.3)

^{*1} リボミック

^{*2} 東京大学医科学研究所

Miyajima-Tabata A, Kawakami T, Komoriya K, Kato R, Niimi S, Isama K: Effects of zinc oxide nanomaterials on the cellular responses in THP-1 cells.

The 55th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2016.3)

佐々木和実^{*1}, 西嶋桂子^{*1}, 安宅花子^{*1}, 酒井信夫, 中村政志^{*2}, 安達玲子, 中村里香, 最上知子, 福富友馬^{*3}, 松永佳世子^{*2}, 手島玲子: 各種加水分解コムギ末の解析(1)-分子プロファイリング-

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*¹ 製品評価技術基盤機構

*² 藤田保健衛生大学

*³ 国立病院機構相模原病院臨床研究センター

酒井信夫, 安達玲子, 中村里香, 最上知子, 佐々木和実*¹, 西嶋桂子*¹, 安宅花子*¹, 中村政志*², 福富友馬*³, 松永佳世子*², 手島玲子: 各種加水分解コムギ末の解析(2)-経皮感作性試験-

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*¹ 製品評価技術基盤機構

*² 藤田保健衛生大学

*³ 国立病院機構相模原病院臨床研究センター

小林憲弘, 久保田領志, 菱木麻佑*, 小杉有希*, 鈴木俊也*, 五十嵐良明: LC/MS/MSを用いた水道水中ホルムアルデヒドとアセトアルデヒドの同時分析.

第24回環境化学討論会 (2015.6)

* 東京都健康安全研究センター

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 固相抽出-LC/MSによるハロアセトアミド類の分析法の開発及び水道水中存在実態.

第24回環境化学討論会 (2015.6)

河上強志, 伊佐間和郎, 香川聡子*¹, 神野透人*²: 家庭用水性スプレー製品中のグリコール類及びグリコールエーテル類等の分析.

第24回環境化学討論会 (2015.6)

*¹ 横浜薬科大学薬学部

*² 名城大学薬学部

河上強志, 宮島敦子, 小森谷薫, 加藤玲子, 伊佐間和郎: NiOナノ粒子の二次粒子径が細胞毒性に及ぼす影響.

第24回環境化学討論会 (2015.6)

Tanaka-Kagawa T*¹, Tahara M, Mayumi K, Ikarashi Y, Hanioka N*¹, Jinno H*²: Molecular structure-based prediction of the air-nasal mucus partition coefficients by the COSMO-RS method coupled with the density functional theory calculations.

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX 2015) (2015.6)

*¹ 横浜薬科大学

*² 名城大学

田原麻衣子, 真弓加織, 五十嵐良明, 埴岡伸光*¹, 香川(田中)聡子*¹, 神野透人*²: COSMO-RS法による空気-鼻粘液分配係数の予測.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6・7)

*¹ 横浜薬科大学

*² 名城大学

小林憲弘, 田中翔*, 竹原広*, 納屋聖人*, 久保田領志, 五十嵐良明, 広瀬明彦: マウス単回・反復気管内投与による多層カーボンナノチューブの催奇形性の評価.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6・7)

* (公財) 食品農医薬品安全性評価センター

清水久美子, 秋山卓美, 最上(西巻)知子, 五十嵐良明: 4置換フェノール化合物のチロシナーゼによる代謝と表皮細胞に対する細胞毒性.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6・7)

伊佐間和郎, 河上強志, 小濱とも子, 五十嵐良明: 亜リン酸トリエステル類の細胞毒性及び皮膚感作性.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6・7)

河上強志, 波多野弥生*¹, 古田光子*², 伊佐間和郎, 五十嵐良明, 鹿庭正昭*³: 防水スプレー製品等による中毒事故の傾向およびその安全対策の動向.

第37回日本中毒学会総会・学術大会 (2015.7)

*¹ (公財) 日本中毒情報センター

*² 厚生労働省医薬食品局審査管理課化学物質安全対策室

*³ 元日本生活協同組合連合会

五十嵐良明: 手袋の安全性確保対策の現状と動向.

ラテックスアレルギー・OASフォーラム2015 第20回日本ラテックスアレルギー研究会 (2015.7)

小林憲弘, 久保田領志, 五十嵐良明: 水道水中のGC/MS分析対象農薬のLC/MS/MS一斉分析方法の検討. 環境科学会2015年会 (2015.9)

河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: 家庭用品中のアゾ化合物規制について.

第1回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエ

ンスフォーラム (2015.9)

Isama K, Kawakami T, Ikarashi Y: Cytotoxicity of phosphite and phosphate triesters.
Eurotox 2015 (2015.9)

香川 (田中) 聡子^{*1}, 田原麻衣子, 上村仁^{*2}, 斎藤育江^{*3}, 武内伸治^{*4}, 神野透人^{*5}: 室内環境中の粒子状物質の日内変動とその組成に関する研究.

フォーラム2015: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2015.9)

^{*1} 横浜薬科大学

^{*2} 神奈川県衛生研究所

^{*3} 東京都健康安全研究センター

^{*4} 北海道立衛生研究所

^{*5} 名城大学

小林憲弘, 久保田領志, 菱木麻佑*, 小杉有希*, 鈴木俊也*, 五十嵐良明: LC/UVおよびLC/MS/MSによる水道水中ホルムアルデヒドとアセトアルデヒドの同時分析法の検討.

日本水道協会平成27年度全国会議 (水道研究発表会) (2015.10)

* 東京都健康安全研究センター

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 平成26年度水道水質検査精度管理のための統一試料調査の結果および留意点.

日本水道協会平成27年度全国会議 (水道研究発表会) (2015.10)

伊佐間和郎, 河上強志, 新見伸吾: 血液適合性の評価を踏まえた医用高分子材料に対する蛋白質吸着挙動の動力学的解析.

第37回日本バイオマテリアル学会大会 (2015.11)

河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: ウェットティッシュ製品に含まれる防腐剤調査.

第45回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会 (2015.11)

鈴木加余子^{*1}, 安藤亜季^{*1}, 佐野晶代^{*2}, 矢上晶子^{*2}, 河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明, 佐々木和実^{*3}, 松永佳世子^{*2}: 弾性ストッキング装着時の皮膚障害についての検討.

第45回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大

会 (2015.11)

^{*1} 刈谷豊田総合病院

^{*2} 藤田保健衛生大学

^{*3} (独) 製品評価技術基盤機構

酒井信夫, 安達玲子, 最上 (西巻) 知子, 佐久間智宏^{*1}, 大坂郁恵^{*2}, 石井里枝^{*2}: マイクロチップ電気泳動システムを利用した特定原材料通知PCR法の機関間および機種間検証.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

^{*1} 日本食品分析センター

^{*2} 埼玉県衛生研究所

小林憲弘, 久保田領志, 鈴木俊也^{*1}, 川元達彦^{*2}, 高木総吉^{*3}, 吉田仁^{*3}, 小高陽子^{*4}, 菌部真理奈^{*4}, 小林浩^{*5}, 望月映希^{*5}, 上村仁^{*6}, 西以和貴^{*6}, 佐藤学^{*6}, 辻清美^{*6}, 宮本紫織^{*7}, 大窪かおり^{*8}, 五十嵐良明: 対象農薬リスト掲載農薬の新規6分析法の妥当性評価.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

^{*1} 東京都健康安全研究センター

^{*2} 兵庫県立健康生活科学研究所

^{*3} 大阪府立公衆衛生研究所

^{*4} 千葉県衛生研究所

^{*5} 山梨県衛生環境研究所

^{*6} 神奈川県衛生研究所

^{*7} 愛媛県立衛生環境研究所

^{*8} 佐賀県衛生薬業センター

小林憲弘, 久保田領志, 菱木麻佑*, 小杉有希*, 鈴木俊也*, 五十嵐良明: HPLC/UVおよびLC/MS/MSによる水道水中ホルムアルデヒドおよびアセトアルデヒドの同時分析.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

* 東京都健康安全研究センター

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水質検査精度管理のための統一試料調査: 平成26年度の結果および留意点について.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

久保田領志, 小林憲弘, 五十嵐良明: 水道水中ハロアセトアミド類の分析法の開発およびその存在実態.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

河上強志, 伊佐間和郎, 香川聡子^{*1}, 神野透人^{*2}: 家庭用芳香剤などのスプレー製品に含まれるグリコールエーテル等の実態調査.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

^{*1} 横浜薬科大学薬学部

^{*2} 名城大学薬学部

河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: 「防水スプレー安全確保マニュアル作成の手引き」の改定について.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

秋山卓美, 高清水真帆^{*}, 伊佐間和郎, 河上強志, 五十嵐良明: ポリ塩化ビニル製手袋に含有される亜リン酸エステル類の定量.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

^{*} 北里大学

伊佐間和郎, 河上強志, 五十嵐良明: 亜リン酸トリエステル類及びリン酸トリエステル類の細胞毒性.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

五十嵐良明, 秋山卓美, 酒井信夫, 安達玲子, 手島玲子: 医薬部外品原料「加水分解コムギ末」規格の改定検討状況.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

小濱とも子, 田原麻衣子, 五十嵐良明: シャンプーおよびハンドソープ中の1,4-ジオキササン含有量実態調査.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

内野正, 神野透人^{*1}, 香川聡子^{*2}, 秋山卓美, 五十嵐良明: 化粧品原料として用いられる白金ナノマテリアル粒子の分散状態とその細胞毒性等への寄与.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

^{*1} 名城大学

^{*2} 横浜薬科大学

秋山卓美, 藤巻日出夫^{*}, 五十嵐良明: 化粧品中の防腐剤ブチルカルバミン酸ヨウ化プロピニルのGC/MSによる定量.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

^{*} (一財) 民生科学協会

小林憲弘: 水道水質管理および検査法の最新動向.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

河上強志: 新規指定有害物質「アゾ化合物」に係る家庭用品の基準について.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

田原麻衣子, 香川 (田中) 聡子^{*1}, 酒井信夫, 五十嵐良明, 神野透人^{*2}: 未規制室内空気汚染物質の家庭用品からの発生源に関する調査.

平成27年室内環境学会学術大会 (2015.12)

^{*1} 横浜薬科大学

^{*2} 名城大学

香川 (田中) 聡子^{*1}, 田原麻衣子, 斎藤育江^{*2}, 武内伸治^{*3}, 上村仁^{*4}, 大貫文^{*2}, 田中礼子^{*5}, 竹熊美貴子^{*6}, 中野いず美^{*7}, 永田淳^{*7}, 酒井信夫, 五十嵐良明, 埴岡伸光^{*1}, 神野透人^{*8}: 室内空気中総揮発性有機化合物の分析方法確立に関する検討.

平成27年室内環境学会学術大会 (2015.12)

^{*1} 横浜薬科大学

^{*2} 東京都健康安全研究センター

^{*3} 北海道立衛生研究所

^{*4} 神奈川県衛生研究所

^{*5} 横浜市衛生研究所

^{*6} 埼玉県衛生研究所

^{*7} 鳥津テクノロジーサーチ

^{*8} 名城大学

Kobayashi N, Tanaka S^{*1}, Ema M^{*2}, Ikarashi Y, Hirose A: Evaluation of developmental toxicity of multi-wall carbon nanotubes in pregnant mice after repeated intratracheal instillation.

Society for Risk Analysis 2015 Annual Meeting (2015.12)

^{*1} Biosafety Research Center

^{*2} National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

内野正, 宮崎洋^{*1}, 山下邦彦^{*1}, 小島肇, 竹澤俊明^{*2},

秋山卓美, 五十嵐良明: ビトリゲルチャンバーを用いた皮膚感作性試験代替法 (Vitrigel-SST法) の室内再現性. 日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

^{*1} (株) ダイセル

*2 (独) 農業生物資源研究所

宮崎洋^{*1}, 山下邦彦^{*1}, 内野正, 竹澤俊明^{*2}, 小島肇:
ビトリゲルチャンバーを用いた皮膚感作性試験代替法
(Vitrigel-SST法) による感作性物質の評価 (第2報).
日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

*1 (株) ダイセル

*2 (独) 農業生物資源研究所

伊藤隼哉^{*1}, 仲川清隆^{*1}, 鈴木優里^{*1}, 三上優依^{*1}, 内
野正, 宮澤陽夫^{*2}: ヒト肝臓癌細胞HepG2におけるホス
ファチジルコリンヒドロペルオキシド (PCOOH) の代
謝, PCOOHの作用におよぼすビタミンE等の影響.
第27回ビタミンE研究会 (2016.1)

*1 東北大学

*2 東北大学未来科学技術共同センター

小林憲弘, 矢代和史^{*}, 久保田領志, 五十嵐良明: 塩素
処理による水道水中プロチオホスの分解物の生成.
第50回日本水環境学会年会 (2016.3)

* 東京医薬専門学校

阿草哲郎^{*1}, 井上英^{*2}, 久保田領志, 田辺信介^{*2}: メコ
ン川および紅河流域における地下水のヒ素汚染.
第50回日本水環境学会年会 (2016.3)

*1 熊本県立大学

*2 愛媛大学 沿岸環境科学研究センター

Kubota R, Kobayashi N, Ikarashi Y: Development
of an analytical method for the determination of
haloacetamides in water by SPE-LC/MS and their
detection in tap water from Japan.
International symposium on environmental chemistry
and toxicology - to accelerate a global network of
environmental researchers (2016.3)

清水久美子, 秋山卓美, 河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐
良明: グアニジン系加硫促進剤の感作性評価と家庭用ゴ
ム製品中の定量.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

五十嵐良明, 秋山卓美, 酒井信夫, 安達玲子, 手島玲子^{*}:
医薬部外品原料として用いる加水分解コムギタンパク質

の規格及び試験方法について.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 医薬品医療機器総合機構

河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明: ポリウレタン製織
維製品中のベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤の簡易一
斉分析法の開発.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

藤巻日出夫^{*1}, 秋山卓美, 栗原瑞季^{*2}, 五十嵐良明: 化
粧品中の防腐剤ブチルカルバミン酸ヨウ化プロピニルの
定量法.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

*1 (一財) 民生科学協会

*2 北里大学

佐久間智宏^{*1}, 酒井信夫, 石井里枝^{*2}, 大坂郁恵^{*2}, 岡
本正志^{*3}, 後藤浩文^{*1}, 佐伯憲一^{*4}, 手島玲子, 三野芳
紀^{*5}: 食品成分試験法 食物アレルギー (PCR法による
検出).
日本薬学会第136年会 (2016.3)

*1 日本食品分析センター

*2 埼玉県衛生研究所

*3 神戸学院大学

*4 金城学院大学

*5 大阪薬科大学

香川 (田中) 聡子^{*1}, 田原麻衣子, 斎藤育江^{*2}, 武内伸
治^{*3}, 上村仁^{*4}, 大貫文^{*2}, 田中礼子^{*5}, 竹熊美貴子^{*6},
中野いず美^{*7}, 永田淳^{*7}, 酒井信夫, 五十嵐良明, 埴岡
伸光^{*1}, 神野透人^{*8}: 室内空気中総揮発性有機化合物の
分析法に関する研究.
日本薬学会第136年会 (2016.3)

*1 横浜薬科大学

*2 東京都健康安全研究センター

*3 北海道立衛生研究所

*4 神奈川県衛生研究所

*5 横浜市衛生研究所

*6 埼玉県衛生研究所

*7 鳥津テクノリサーチ

*8 名城大学

宮本雅史^{*}, 福沢栄太^{*}, 後藤浩文^{*}, 伊佐川聡^{*}, 根本了:

LC-MS/MSを用いた畜水産食品中の酢酸イソ吉草酸タ
イロシン分析法の検討.

日本食品衛生学会第109回学術講演会 (2015.5)

* (一財) 日本食品分析センター

堤智昭, 足立利華, 手島玲子: 燻製・焙煎食品中に含ま
れる多環芳香族炭化水素の実態調査.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

志田 (齊藤) 静夏, 根本了, 手島玲子: 野菜・果実中の
酸性農薬一斉分析法の検討.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

鍋師裕美, 植草義徳, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ
子, 手島玲子: トータルダイエツトスタディによる福島
第一原子力発電所事故後の放射性物質の預託実効線量の
推定.

第4回京都大学原子炉実験所原子力安全基盤科学研究シ
ンポジウム (2015.5)

箕川剛^{*1}, 中島光一^{*1}, 西山浩司^{*1}, 村田充良^{*2}, 高橋徹^{*2},
穂山浩: ラック色素中のタンパク質定量法の検討.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

*¹ 三栄源エフエフアイ (株)

*² (株) 岐阜セラック製造所

福島悠依子*, 片山茂*, 小俣洋奈*, 穂山浩, 中村宗一
郎*: 樹状細胞の遊走能を指標とした抗原感作性評価法
の確立.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

* 信州大学農学部

滝口肇, 能勢充彦^{*1}, 工藤善^{*2}, 杉山圭一, 大月典子,
多田敦子, 杉本直樹, 瀧野裕之^{*3}, 川原信夫^{*3}, 吉松嘉
代^{*3}, 穂山浩: 人工水耕栽培により生産したオウレンの
安全性・有効性評価について.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

*¹ 名城大学大学院薬学研究科

*² 鹿島建設 (株)

*³ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研
究センター

能勢充彦^{*1}, 穂山浩, 滝口肇, 大月典子, 工藤善^{*2}, 多

田敦子, 杉本直樹, 瀧野裕之^{*3}, 川原信夫^{*3}, 吉松嘉代^{*3}:
人工水耕栽培により生産したカンゾウの有効性評価につ
いて.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

*¹ 名城大学大学院薬学研究科

*² 鹿島建設 (株)

*³ (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研
究センター

福田優作*, 片岡洋平, 佐野勇気*, 滝澤和宏*, 渡邊敬浩,
手島玲子: ミネラルウォーター類中の陰イオン性化合物
を対象とした分析法の開発と今後の課題.

日本食品衛生学会第109回学術講演会 (2015.5)

* (一財) 日本冷凍食品検査協会

穂山浩: 食品安全分野のレギュラトリーサイエンス.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

中村政志^{*1}, 矢上晶子^{*1}, 佐々木和実^{*2}, 西嶋桂子^{*2},
安宅花子^{*2}, 竹尾直子^{*3}, 福富友馬^{*4}, 三井直弥^{*5}, 原
田晋^{*6}, 山口正雄^{*7}, 宇賀神つかさ^{*8}, 佐藤奈由^{*9}, 穂
山浩, 松永佳世子^{*9}: コチニール色素アレルギーの抗原
解析.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*¹ 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学

*² 製品評価技術基盤機構

*³ 大分大学医学部皮膚科

*⁴ 国立病院機構相模原病院

*⁵ 三井病院小児科

*⁶ はらだ皮膚科クリニック

*⁷ 三井病院小児科

*⁸ 帝京大学医学部呼吸器・アレルギー内科

*⁹ 東京医科歯科大学皮膚科

福田優作*, 片岡洋平, 佐野勇気*, 滝澤和宏*, 渡邊敬浩,
手島玲子: ミネラルウォーター類中の陰イオン性化合物
を対象とした分析法の開発と今後の課題.

AOAC I日本セクション2015年次大会 (2015.6)

* (一財) 日本冷凍食品検査協会

渡邊敬浩: 食品規格ができるまで~汚染物質を例に~.

AOAC I日本セクション2015年次大会 (2015.6)

渡邊敬浩, 片岡洋平, 荒川史博*, 森松文毅*, 手島玲子:
摂取量推定を目的とした元素類分析法の性能評価手法の
開発.

AOAC 日本セクション2015年次大会 (2015.6)

* 日本ハム (株) 中央研究所

植草義徳, 鍋師裕美, 林恭子, 五十嵐敦子, 曾我慶介,
亀井俊之, 堤智昭, 渡邊敬浩, 蜂須賀暁子, 松田りえ子,
穂山浩, 手島玲子: 市販流通食品の放射性セシウム濃度
の調査~平成26年度調査の結果~.

第24回環境化学討論会 (2015.6)

鍋師裕美, 堤智昭, 植草義徳, 蜂須賀暁子, 松田りえ子,
穂山浩, 手島玲子: 福島県内の河川で採取されたモクズ
ガニ中の放射性セシウムおよびストロンチウム90濃度調
査.

第24回環境化学討論会 (2015.6)

堤智昭, 高附巧, 植草義徳, 渡邊敬浩, 松田りえ子, 穂
山浩, 手島玲子: 東日本大震災が魚介類を介したPCBs
摂取量に与えた影響~震災後のマーケットバスケット試
料による摂取量の推定~.

第24回環境化学討論会 (2015.6)

Nabeshi H, Tsutsumi T, Uekusa Y, Hachisuka A,
Matsuda R, Teshima R: Surveillance of Strontium-90
in Foods after the Fukushima Daiichi Nuclear Power
Plant Accident.

Health Physics Society 60th Annual meeting (2015.7)

中村政志*¹, 矢上晶子*¹, 佐々木和実*², 西嶋桂子*²,
安宅花子*², 竹尾直子*³, 福富友馬*⁴, 三井直弥*⁵, 原
田晋*⁶, 山口正雄*⁷, 宇賀神つかさ*⁸, 穂山浩, 佐藤奈
由*⁹, 佐野晶代*⁹, 松永佳世子*⁹: プロテオミクス手法
によるコチニール色素アレルギーの抗原解析.

第20回日本ラテックスアレルギー研究会 (2015.7)

*¹ 藤田保健衛生大学医学部皮膚科学

*² 製品評価技術基盤機構

*³ 大分大学医学部皮膚科

*⁴ 国立病院機構相模原病院

*⁵ 三井病院小児科

*⁶ はらだ皮膚科クリニック

*⁷ 三井病院小児科

*⁸ 帝京大学医学部呼吸器・アレルギー内科

*⁹ 東京医科歯科大学皮膚科

穂山浩: 我が国の食物アレルギーの表示制度と最新の話
題について.

日本食品科学工学会第62回大会 (2015.8)

Uekusa Y, Takatsuki S, Tsutsumi T, Matsuda R,
Akiyama H, Hachisuka A, Teshima R, Watanabe T:
Follow-up investigation of polychlorinated biphenyl
concentrations in fish from tsunami-stricken areas of
Japan.

35th International Symposium on Halogenated
Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2015) (2015.8)

Takahashi K*, Yasutake D*, Kajiwara J*, Watanabe T:
Dietary intake of hexabromocyclododecane in Japan.

35th International Symposium on Halogenated
Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2015) (2015.8)

* Fukuoka Institute of Health and Environmental
Sciences

Yasutake D*, Hori T*, Takahashi K*, Kajiwara J*,
Watanabe T: Concentration of polychlorinated
biphenyls (PCBs) and hydroxylated PCBs in seafood
samples collected in Kyusyu district, Japan.

35th International Symposium on Halogenated
Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2015) (2015.8)

* Fukuoka Institute of Health and Environmental
Sciences

植草義徳, 鍋師裕美, 前田朋美, 林恭子, 五十嵐敦子,
曾我慶介, 亀井俊之, 中村里香, 渡邊敬浩, 穂山浩, 蜂
須賀暁子, 松田りえ子, 手島玲子, 堤智昭: 市販流通食
品の放射性物質濃度の実態調査.

第1回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエ
ンスフォーラム2015 (2015.9)

天倉吉章*¹, 好村守生*¹, 中村昌文*², 半田洋士*², 堤智昭,
渡邊敬浩: 各種食品抽出物のAhR結合活性.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

*¹ 松山大学薬学部

*² (株) 日吉

能勢充彦*¹, 筒井梨帆*¹, 日坂真輔*¹, 穂山浩, 大月典子,
滝口肇, 多田敦子, 杉本直樹, 工藤善*², 瀧野裕之*³,
乾貴幸*³, 河野徳昭*³, 林茂樹*³, 菱田敦之*³, 川原信夫*³,

吉松嘉代^{*3}: 人工水耕栽培により生産したカンゾウの有効性評価について.

日本生薬学会第62回年会 (2015.9)

^{*1} 名城大学大学院薬学研究科

^{*2} 鹿島建設 (株)

^{*3} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所薬用植物資源研究センター

松田りえ子, 土山智之*, 宮崎仁志*, 手島玲子, 蜂須賀暁子, 渡邊敬浩: 食品中放射性物質検査における適正なサンプリング計画.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

* 名古屋市衛生研究所

鍋師裕美, 堤智昭, 植草義徳, 蜂須賀暁子, 手島玲子, 松田りえ子, 穂山浩: 果実中のストロンチウム90濃度調査.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

長島典夫*, 石井里枝*, 高野真理子*, 根本了, 手島玲子: LC-MS/MSによる農産物中のメタゾスルフロンの分析法の開発.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

* 埼玉県衛生研究所

小椋和彦*, 鳥海栄輔*, 伊佐川聡*, 根本了: LC-MS/MSによる農産物中のメチオカルブ分析法の検討.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

* (一財) 日本食品分析センター

北村真理子*, 朝倉敬行*, 関亘*, 飯田智成*, 中里光男*, 安田和男*, 根本了: LC-MS/MSによる食品中のジニコナゾール試験法.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

* (一財) 東京顕微鏡院食と環境の科学センター

植草義徳, 鍋師裕美, 片岡洋平, 渡邊敬浩, 蜂須賀暁子, 堤智昭, 穂山浩, 松田りえ子, 手島玲子: 原子力発電所事故由来の放射性セシウムが検出された食品のウラン濃度の調査.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 林智子, 林恭子, 穂山浩, 手島玲子: 輸入農産物の有害元素濃度の実態調査.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

渡邊敬浩, 片岡洋平, 下山晃*, 滝澤和宏*, 穂山浩, 手島玲子: アマニに含まれるシアン化合物の分析.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

* (一財) 日本冷凍食品検査協会

堤智昭, 足立利華, 手島玲子, 穂山浩, 渡邊敬浩: 燻製(熟燻・温燻)により食品に含まれる多環芳香族炭化水素.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

高橋浩司*, 安武大輔*, 堀就英*, 梶原淳陸*, 渡邊敬浩: 臭素系難燃剤ヘキサプロモシクロドデカンの摂取量推定.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

* 福岡県保健環境研究所

安武大輔*, 堀就英*, 高橋浩司*, 梶原淳陸*, 渡邊敬浩: 食品中の塩素系難燃剤の摂取量推定.

日本食品衛生学会第110回学術講演会 (2015.10)

* 福岡県保健環境研究所

Tsutsumi T, Adachi R, Teshima R, Akiyama H, Matsuda R, Watanabe T: Concentrations of polycyclic aromatic hydrocarbons in smoked foods in Japan.

7th International Symposium on Recent Advances in Food Analysis (2015.11)

根本了, 上野英二^{*1}, 神尾典子^{*2}, 小林ゆかり^{*3}, 菅原隆志^{*4}, 永村桂一^{*4}, 中村宗知^{*5}, 山口理香^{*6}, 山田修一^{*7}, 脇ますみ^{*8}, 志田(齊藤)静夏, 坂井隆敏, 松田りえ子, 手島玲子, 穂山浩: LC/MSによる農薬等の一斉試験法I(農産物)の妥当性評価結果について.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

^{*1} 愛知県衛生研究所

^{*2} 福島県衛生研究所

^{*3} 新潟県保健環境科学研究所

^{*4} 岩手県環境保健研究センター

^{*5} (一財) 日本食品分析センター

^{*6} 北九州市環境科学研究所

^{*7} (一財) 千葉県薬剤師会検査センター

*8 神奈川県衛生研究所

根本了, 上野英二*1, 中村正規*2, 中村宗知*3, 野口昭一郎*4, 志田(齊藤)静夏, 坂井隆敏, 松田りえ子, 手島玲子, 穂山浩: LC/MSによる農薬等の一斉試験法Ⅱ(畜水産物)の妥当性評価結果について.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

*1 愛知県衛生研究所

*2 福岡市保健環境研究

*3 (一財)日本食品分析センター

*4 名古屋市衛生研究所

志田(齊藤)静夏, 根本了, 手島玲子, 穂山浩: 加工食品中の殺鼠剤テトラメチレンジスルホテトラミンの迅速分析法.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

志田(齊藤)静夏, 根本了, 手島玲子, 穂山浩: GC-TOF-MSを用いた残留農薬一斉分析の検討.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

渡邊敬浩, 林智子, 林恭子, 穂山浩, 手島玲子: 食品に含まれるフランを対象とした分析法の開発と実態調査.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

片岡洋平, 渡邊敬浩, 林智子, 穂山浩, 手島玲子: ミネラルウォーター類の各種元素濃度の実態調査(平成25年度および平成26年度).

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

林智子, 松田りえ子, 穂山浩, 渡邊敬浩: 摂取量推定を目的とした魚における総水銀及びメチル水銀濃度の実態調査.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

菊地博之, 坂井隆敏, 根本了, 手島玲子, 穂山浩: LC-MS/MSによる畜水産物中のクロラムフェニコール分析法の開発.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

坂井隆敏, 根本了, 手島玲子, 穂山浩: LC-MS/MSによる畜水産物中のイプロニダゾール等分析法の開発.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

鍋師裕美, 堤智昭, 植草義徳, 松田りえ子, 蜂須賀暁子, 手島玲子, 穂山浩: 牛肉・山菜類・果実類中の放射性セ

シウムの調理影響に関する検討.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

植草義徳, 鍋師裕美, 堤智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子, 穂山浩, 手島玲子: 放射性セシウムが検出された食品のプルトニウム分析.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

高附巧, 植草義徳, 堤智昭, 穂山浩, 手島玲子, 渡邊敬浩: 乳幼児用調製粉乳中の塩素化ダイオキシン類実態調査.

第52回全国衛生化学技術協議会年会(2015.12)

穂山浩: 食品中の検査方法の国際的なハーモナイゼーションについて.

食品の輸出推進に係る講習会(2015.12)

Akiyama H, Adachi R: Japanese framework for labeling and testing of allergens in foods.

Pacificchem 2015 THE INTERNATIONAL CHEMICAL CONGRESS OF PACIFIC BASIN SOCIETIES(2015.12)

島村智子*1, 吉田鉄平*1, 柏木丈広*1, 受田浩之*2, 杉本直樹, 穂山浩: ロダン鉄法による酸化防止剤の抗酸化活性評価.

ビタミンE研究会(2016.1)

*1 高知大学農学部

*2 高知大学地域協働学部

穂山浩: 学術論文の読み方, 書き方(基本編) Regulatory Scienceにおける論文の意味を踏まえて.

日本食品化学学会食品科学研究のための基礎セミナー(2016.2)

永山敏廣*1, 根本了, 小木曾基樹*2, 高取聡*3, 高野伊知郎*4, 松木宏晃*5, 望月直樹*6: 衛生試験法・注解 農薬等一斉分析法 LC/MSによる定性および定量(改訂).

日本薬学会第136年会(2016.3)

*1 明治薬科大学

*2 (一財)日本食品分析センター

*3 大阪府公衆衛生研究所

*4 東京都健康安全研究センター

*5 サントリービジネスエキスパート(株)

*6 アサヒグループホールディングス(株)

穂山浩：専門教育を学ぶ上でのレギュラトリーサイエンス。

日本薬学会第136年会（2016.3）

竹尾直子^{*1}、藤原作平^{*1}、中村政志^{*2}、矢上晶子^{*2}、松永佳世子^{*2}、穂山浩、中山哲^{*3}：コチニール色素アレルギー診断時のプリックテストと特異的IgE抗体測定の有効性。

第275回日本皮膚学会東海地方会（2016.3）

^{*1} 大分大学医学部皮膚科学

^{*2} 藤田保健衛生大学医学部皮膚科

^{*3} サーマフィッシャーダイアグノスティックス（株）

佐藤恭子、秋山裕^{*1}、伊藤澄夫^{*2}、大槻崇、岸弘子^{*3}、櫻井有里子^{*4}、田原正一^{*5}、平田瑞生、宮川弘之^{*5}、山本信次^{*6}、山本純代^{*5}、吉田充哉^{*7}：食品添加物試験法、アドバンテームおよびネオテームのHPLCおよびLC/MSによる定性および定量。

日本薬学会第136年会（2016.3）

^{*1}（一財）日本冷凍食品検査協会

^{*2} 三栄源エフ・エフ・アイ（株）

^{*3} 神奈川県衛生研究所

^{*4} 横浜市衛生研究所

^{*5} 東京都健康安全研究センター

^{*6}（一財）東京顕微鏡院

^{*7}（一財）日本食品分析センター

Tada A, Sugimoto N, Nishizaki Y, Matsuda S, Kawasaki H, Ishizuki K, Ohtsuki T, Tahara M, Suematsu T^{*1}, Yamada Y^{*2}, Akiyama H: Examination of quantification methods of quercetin in food additives and reagents using ¹H quantitative NMR.

Pacificchem 2015 (2015.12)

^{*1} JEOL RESONANCE Inc.

^{*2} Wako Pure Chemical Industries, Ltd.

建部千絵、古庄紀子、久保田浩樹、佐藤恭子、穂山浩：キレート樹脂固相カートリッジを用いた食品添加物中の鉛試験法の開発。

日本食品化学学会第21回総会・学術大会（2015.5）

大槻崇、小田琢磨、吉田篤史^{*}、小林尚^{*}、建部千絵、久保田浩樹、佐藤恭子、穂山浩：LC-MSを用いた母乳代替食品中のビオチン分析法。

第110回日本食品衛生学会学術講演会（2015.10）

^{*}（一財）食品分析開発センター SUNATEC

Ohtsuki T, Sato K, Abe Y, Sugimoto N, Akiyama H: Development of an absolute quantification method for food additives in processed foods by ¹H quantitative NMR.

Pacificchem 2015 (2015.12)

熊井康人、細木伸泰^{*1}、川島綾^{*2}、関根百合子^{*3}、林千恵子^{*4}、本郷猛^{*4}、安永恵^{*5}、氏家あけみ^{*5}、小川尚考^{*6}、川原るみ子^{*6}、仲間幸俊^{*7}、古謝あゆ子^{*7}、寺見祥子、久保田浩樹、佐藤恭子、穂山浩：平成26年度マーケットバスケット方式による小児の食品添加物一日摂取量調査。

第52回全国衛生化学技術協議会年会（2015.12）

^{*1} 札幌市衛生研究所

^{*2} 仙台市衛生研究所

^{*3} 仙台市衛生研究所（現：仙台市食肉衛生検査所）

^{*4} 千葉県衛生研究所

^{*5} 香川県環境保健研究センター

^{*6} 長崎市保健環境試験所

^{*7} 沖縄県衛生環境研究所

好村守生^{*}、越智啓介^{*}、多田敦子、杉本直樹、穂山浩、天倉吉章^{*}：既存添加物「モウソウチク抽出物」の成分研究。

日本生薬学会第62回年会（2015.9）

^{*} 松山大学薬学部

吉田晴菜^{*1}、好村守生^{*1}、島村智子^{*2}、受田浩之^{*2}、多田敦子、杉本直樹、穂山浩、天倉吉章：既存添加物「生コーヒー豆抽出物」活性画分の成分解析。

第54回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会（2015.10）

^{*1} 松山大学薬学部

^{*2} 高知大学農学部

Miura T^{*1}, Nakao S^{*1}, Yamada Y^{*1}, Ohtsuki T, Tada A, Tahara M, Sugimoto N, Yamazaki T^{*2}, Saito T^{*2}, Ihara T^{*2}, Suematsu T^{*3}, Horinouchi T^{*4}, Koike R^{*4}: Development of standard solutions for qNMR.

The 3rd International Symposium on Process

Chemistry (ISPC2015) (2015.7)

- *¹ Wako Pure Chemical Industries, Ltd.
 *² National Metrology Institute of Japan
 *³ JEOL RESONANCE Inc.
 *⁴ Kao Corporation

杉本直樹, 多田敦子, 西崎雄三, 石附京子, 田邊思帆里, 穂山浩: 既存添加物「焼成カルシウム」及び「未焼成カルシウム」の規格試験法の検討.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

Sugimoto N, Takada M^{*1}, Ishizuki K, Ohtsuki T, Tada A, Nishizaki Y, Suematsu T^{*2}, Miura T^{*3}, Yamada Y^{*3}, Horinouchi T^{*4}, Koike R^{*4}, Kato T^{*5}, Togawa T^{*1}, Akiyama H: "AQARI" vs. "PULCON", a comparison of qNMR: internal and external reference methods. Pacificchem 2015 (2015.12)

- *¹ Meiji Pharmaceutical University
 *² JEOL RESONANCE Inc.
 *³ Wako Pure Chemical Industries, Ltd.
 *⁴ Kao Corporation
 *⁵ Japan Food Research Laboratories (JFRL)

西崎雄三, 多田敦子, 石附京子, 加藤智久, 秋山卓美, 穂山浩, 杉本直樹, 佐藤恭子: メチルパラベンを内標準物質とする既存添加物「酵素処理ルチン (抽出物)」HPLC定量分析法の確立.

第1回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム2015 (2015.9)

西崎雄三, 石附京子, 多田敦子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 穂山浩: 食品中のカルミン酸, 4-アミノカルミン酸及びカルミンの一斉分析法の検討.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

加藤智久, 多田敦子, 河崎裕美, 西崎雄三, 石附京子, 建部千絵, 古庄紀子, 佐藤恭子, 杉本直樹, 穂山浩: qNMRを用いた既存添加物カワラヨモギ抽出物の定量法の開発.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

市川裕司^{*1}, 石附京子, 西崎雄三, 大槻崇, 多田敦子, 兎川忠靖^{*1}, 末松孝子^{*2}, 杉本直樹, 佐藤恭子: ¹³C-qNMRに関する基礎検討.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 明治薬科大学薬学部

*² (株) JEOL RESONANCE Inc.

Miura T^{*1}, Sugimoto N, Suematsu, T^{*2}, Hosoe J, Nishimura H^{*3}, Kikuchi Y^{*3}, Katsuhara T^{*3}, Yamashita T^{*4}, Yamada Y^{*1}, Goda Y: Application of "AQARI: Accurate quantitative NMR with internal reference substance" to the Japanese Pharmacopeia.

EUROMAR 2015 (2015.7)

*¹ Wako Pure Chemical Industries, Ltd.

*² JEOL RESONANCE Inc.

*³ Tsumura & Co.

*⁴ Tokiwa Phytochemical Co., Ltd.

Miura T^{*1}, Sugimoto N, Suematsu T^{*2}, Asakura K^{*2}, Nakao S^{*1}, Yamada Y^{*1}: Development of analytical standards guaranteed by qNMR.

AOAC 129th Annual Meeting (2015.9)

*¹ Wako Pure Chemical Industries, Ltd.

*² JEOL RESONANCE Inc.

Kato T^{*1}, Sugimoto N, Ishizuki K, Suematsu T^{*2}, Nagae M^{*1}, Inohana S^{*1}, Fujita K^{*1}, Watai M^{*1}, Yasumoto K^{*1}: Absolute quantification of ciguatoxins standard by quantitative Nuclear Magnetic RESONANCE.

Pacificchem 2015 (2015.12)

*¹ Japan Food Research Laboratories (JFRL)

*² JEOL RESONANCE Inc.

加藤尚志*, 山崎太一*, 西崎雄三, 杉本直樹, 井原俊英*: qNMR/LCによるハロ酢酸混合標準液への値付け方法の開発.

第21回LCテクノプラザ (2016.1)

* (国研) 産業技術総合研究所

高橋未来*, 井之上浩一*, 西崎雄三, 多田敦子, 杉本直樹, 佐藤恭子, 穂山浩: 逆相系HPLCによる既存添加物ゴマ油不けん化物の成分規格の検討.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 立命館大学薬学部

六鹿元雄, 菌部博則^{*1}, 阿部孝^{*2}, 阿部智之^{*3}, 阿部裕, 大坂郁恵^{*4}, 大野春香^{*5}, 大野浩之^{*6}, 大野雄一郎^{*7}, 大畑昌輝^{*8}, 尾崎麻子^{*9}, 柿原芳輝^{*10}, 小林尚^{*11}, 柴田博^{*12}, 関戸晴子^{*13}, 高坂典子^{*14}, 但馬吉保^{*15}, 田中葵^{*16}, 外岡大幸^{*17}, 中西徹^{*2}, 野村千枝^{*18}, 羽石奈穂子^{*19}, 早川雅人^{*20}, 疋田晃典^{*21}, 松山重倫^{*8}, 三浦俊彦^{*22}, 山口未来, 渡辺一成^{*20}, 佐藤恭子, 穂山浩: ポリスチレン製器具・容器包装における揮発性物質試験の試験室間共同試験.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

^{*1} (一財) 日本文化用品安全試験所

^{*2} (一財) 日本食品分析センター

^{*3} (公社) 日本食品衛生協会

^{*4} 埼玉県衛生研究所

^{*5} 愛知県衛生研究所

^{*6} 名古屋市衛生研究所

^{*7} (一財) 千葉県薬剤師会検査センター

^{*8} (国研) 産業技術総合研究所

^{*9} 大阪市立環境科学研究所

^{*10} (一財) 日本穀物検定協会

^{*11} (一財) 食品分析開発センター SUNATEC

^{*12} (一財) 東京顕微鏡院

^{*13} 神奈川県衛生研究所

^{*14} (一財) 食品薬品安全センター

^{*15} (一財) 食品環境検査協会

^{*16} (一社) 日本海事検定協会

^{*17} さいたま市健康科学研究センター

^{*18} 大阪府立公衆衛生研究所

^{*19} 東京都健康安全研究センター

^{*20} (一財) 化学研究評価機構

^{*21} 長野県環境保全研究所

^{*22} (一財) 日本冷凍食品検査協会

阿部裕, 六鹿元雄, 山口未来, 穂山浩: 器具・容器包装の蒸発残留物試験における蒸発乾固操作に関する検討.

日本食品化学学会第21回学術大会 (2015.5)

阿部裕, 山口未来, 六鹿元雄, 佐藤恭子, 穂山浩: DART-OT/MSを用いたPVC製品中可塑剤の迅速分析法の開発.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

Abe Y, Yamaguchi M, Mutsuga M, Akiyama H: Development of rapid direct analysis method for plasticizers in polyvinyl chloride (PVC) product using direct analysis in real time-orbitrap mass spectrometry

(DART-OT/MS).

PacifiChem 2015 (2015.12)

Kawamura Y: Current status of food contact regulations in Japan.

Global Food Contact 2015 (2015.5)

河村葉子, 中西徹^{*1}, 有菌幸司^{*2}, 大野浩之^{*3}, 尾崎麻子^{*4}, 金子令子^{*5}, 羽石奈穂子^{*6}, 松井秀俊^{*7}, 六鹿元雄, 村上亮^{*8}: 生活用品試験法 器具・容器包装および玩具試験法 植物油への総溶出物量.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} (一財) 日本食品分析センター

^{*2} 熊本県立大学

^{*3} 名古屋市衛生研究所

^{*4} 大阪市環境科学研究所

^{*5} 前東京健康安全研究センター

^{*6} 東京健康安全研究センター

^{*7} 東洋製罐 (株)

^{*8} (公社) 日本食品衛生協会

山口未来, 阿部裕, 六鹿元雄, 佐藤恭子, 穂山浩: GC-MS/MSを用いた器具・容器包装から溶出する添加剤の一斉分析法の開発.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

渡辺一成^{*1}, 六鹿元雄, 阿部孝^{*2}, 阿部智之^{*3}, 阿部裕, 大坂郁恵^{*4}, 大野春香^{*5}, 大野浩之^{*6}, 大野雄一郎^{*7}, 尾崎麻子^{*8}, 柿原芳輝^{*9}, 小林尚^{*10}, 近藤貴英^{*11}, 柴田博^{*12}, 城野克広^{*13}, 関戸晴子^{*14}, 菌部博則^{*15}, 高坂典子^{*16}, 但馬吉保^{*17}, 田中葵^{*18}, 田中秀幸^{*13}, 中西徹^{*2}, 野村千枝^{*19}, 羽石奈穂子^{*20}, 早川雅人^{*1}, 疋田晃典^{*21}, 三浦俊彦^{*22}, 山口未来, 佐藤恭子, 穂山浩: ナイロン製器具・容器包装におけるカプロラクタム試験の試験室間共同試験.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

^{*1} (一財) 化学研究評価機構

^{*2} (一財) 日本食品分析センター

^{*3} (公社) 日本食品衛生協会

^{*4} 埼玉県衛生研究所

^{*5} 愛知県衛生研究所

^{*6} 名古屋市衛生研究所

^{*7} (一財) 千葉県薬剤師会検査センター

^{*8} 大阪市立環境科学研究所

^{*9} (一財) 日本穀物検定協会

*¹⁰ (一財) 食品分析開発センター SUNATEC

*¹¹ さいたま市健康科学研究センター

*¹² (一財) 東京顕微鏡院

*¹³ (国研) 産業技術総合研究所

*¹⁴ 神奈川県衛生研究所

*¹⁵ (一財) 日本文化用品安全試験所

*¹⁶ (一財) 食品薬品安全センター

*¹⁷ (一財) 食品環境検査協会

*¹⁸ (一社) 日本海事検定協会

*¹⁹ 大阪府立公衆衛生研究所

*²⁰ 東京都健康安全研究センター

*²¹ 長野県環境保全研究所

*²² (一財) 日本冷凍食品検査協会

渡邊雄一*, 河村葉子, 中西徹*, 川口寿之*, 杉本敏明*, 阿部裕, 六鹿元雄: 植物油総溶出物量試験法の改良 その3 植物油抽出法.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

* (一財) 日本食品分析センター

中西徹*, 河村葉子, 渡邊雄一*, 川口寿之*, 杉本敏明*, 阿部裕, 六鹿元雄: 植物油総溶出物量試験法の改良 その4 改良試験法の検証.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

* (一財) 日本食品分析センター

朝倉宏, 西田直樹*, 春日文字, 山本茂貴, 五十君静信: ウシ内臓肉における腸管出血性大腸菌の分布と内部浸潤性に関する検討.

第19回腸管出血性大腸菌感染症研究会 (2015.7)

* (一財) 日本冷凍食品検査協会

吉村昌徳^{*1}, 磯陽子^{*2}, 橋理人, 須田貴之, 小西良子^{*2}, 春日文字, 五十君静信, 朝倉宏: 芽物野菜の種子における微生物汚染と発育に応じた菌叢動態に関する検討.

日本防菌防黴学会第42回年次大会 (2015.9)

*¹ (一財) 日本冷凍食品検査協会

*² 麻布大学

須田貴之^{*1}, 吉村昌徳^{*2}, 有路由佳^{*3}, 橋理人, 小西良子^{*3}, 春日文字, 五十君静信, 朝倉宏: 充填豆腐製品における微生物汚染実態と保存試験を通じた芽胞菌の挙動に関する検討.

日本防菌防黴学会第42回年次大会 (2015.9)

*¹ (一財) 日本食品分析センター

*² (一財) 日本冷凍食品検査協会

*³ 麻布大学

橋理人, 吉村昌徳*, 山本詩織, 春日文字, 五十君静信, 朝倉宏: 衛生規範改正前後における市販浅漬け製品の指標菌数ならびに菌叢動態に関する比較検討.

日本防菌防黴学会第42回年次大会 (2015.9)

* (一財) 日本冷凍食品検査協会

朝倉宏, 野田大樹^{*1}, 吉村昌徳^{*2}, 小西良子^{*1}, 山本茂貴^{*3}, 五十君静信: 冷凍処理による鶏肉中でのカンピロバクター汚染低減効果に関する検討.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

*¹ 麻布大学

*² (一財) 日本冷凍食品検査協会

*³ 東海大学

木村浩紀*, 蓮沼愛弓*, 山谷郁子*, 朝倉宏, 村上覚史*: 鶏盲腸内での時系列的Campylobacter jejuniの定着動態と盲腸菌叢変動要因の探索に関する検討.

第8回日本カンピロバクター研究会総会 (2015.12)

* 東京農業大学

Asakura H, Tachibana M, Yamamoto S, Yamamoto S*, Igimi S: Exo vivo proteomic analysis of *Campylobacter jejuni* in chicken.

UJNR有毒微生物専門部会第50回日米合同部会 (2016.1)

* 東海大学

朝倉宏, 川本恵子^{*1}, 橋理人, 村上覚史^{*2}, 倉園久生^{*1}, 五十君静信: *Campylobacter* FabG affects fatty acid compositions to alter growth fitness in chicken gut.

第89回日本細菌学会総会 (2016.3)

*¹ 帯広畜産大学

*² 東京農業大学

山本詩織, 朝倉宏, 岡田由美子, 吉田麻利江, 五十君静信: 国内の市販鶏肉におけるESBL産生大腸菌の分布状況と保有するプラスミドの諸性状について.

第89回日本細菌学会総会 (2016.3)

村田龍, 小根澤遥, 大城直雅, 松田りえ子, 五十君静信:
LS-MS/MSによる下痢性貝毒 (オカダ酸群) の分析法検
討.

第109回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.5)

Oshiro N, Sakugawa S^{*1}, Kuniyoshi K, Murata R,
Tachihara K^{*2}, Yasumoto T^{*3}: LC-MS analysis of
ciguatoxins from fish and other marine organisms
collected off the coast of Japan.

Fifth Joint Symposium and AOAC Task Force Meeting
Marine & Freshwater Toxins Analysis (2015.6)

^{*1} Okinawa Prefectural Institute of Health and
Environment

^{*2} University of the Ryukyus

^{*3} Japan Food Research Laboratory

大野祐美^{*1}, 風間美保^{*1}, 國吉杏子, 佐久川さつき^{*2},
林田宜之^{*3}, 立原一憲^{*3}, 小島尚^{*1}, 安元健^{*4}, 大城直
雅: LC-MS/MSを用いたバラフエダイ筋肉のシガトキシ
ン類分析の検討.

第25回体力・栄養・免疫学会大会 (2015.8)

^{*1} 帝京科学大学

^{*2} 沖縄県衛生環境研究所

^{*3} 琉球大学

^{*4} (一財) 日本食品分析センター

富川拓海^{*1}, 國吉杏子, 石川輝^{*2}, 小島尚^{*1}, 安元健^{*3},
大城直雅: 本州沿岸生物からのLC-MS/MSによるシ
ガトキシン類の探索.

第25回体力・栄養・免疫学会大会 (2015.8)

^{*1} 帝京科学大学

^{*2} 三重大学

^{*3} (一財) 日本食品分析センター

西村美桜^{*1}, 渡辺美遥^{*2}, 小西良子^{*2}, 國吉杏子, 大城
直雅, 立原一憲^{*1}: シガテラ毒魚バラハタの年齢と成長,
成熟, 食性.

2015年度日本魚類学会年会 (2015.9)

^{*1} 琉球大学

^{*2} 麻布大学

富川拓海^{*1}, 國吉杏子, 石川輝^{*2}, 小島尚^{*1}, 安元健^{*3},
大城直雅: イシガキダイのLC-MS/MSによるシガトキシ
ン類分析検討.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

^{*1} 帝京科学大学

^{*2} 三重大学

^{*3} (一財) 日本食品分析センター

國吉杏子, 村田龍, 松田りえ子, 大城直雅, 五十君静信:
各種二枚貝中オカダ酸群のLC-MS/MS分析法の検討.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

渡辺美遥^{*1}, 國吉杏子, 佐久川さつき^{*2}, 高嶺朝典^{*2},
小林直樹^{*1}, 小西良子^{*1}, 大城直雅: LC-MS/MSによ
るシガトキシン類分析法の改良検討.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

^{*1} 麻布大学

^{*2} 沖縄県衛生環境研究所

大野祐美^{*1}, 風間美保^{*1}, 國吉杏子, 林田宜之^{*2}, 佐久
川さつき^{*3}, 立原一憲^{*2}, 小島尚^{*1}, 安元健^{*4}, 大城直雅:
バラフエダイ筋肉のLC-MS/MS法によるCTXs類分析.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

^{*1} 帝京科学大学

^{*2} 琉球大学

^{*3} 沖縄県衛生環境研究所

^{*4} (一財) 日本食品分析センター

Oshiro N: Detection of ciguatoxins from marine
creatures caught off Japanese waters by LC-MS.

Pacificchem 2015 (2015.12)

富川拓海^{*1}, 國吉杏子, 石川輝^{*2}, 豊福肇^{*3}, 小島尚^{*1},
大城直雅: 海外産魚類試料のシガトキシン類分析.

平成28年度日本水産学会春季大会 (2016.3)

^{*1} 帝京科学大学

^{*2} 三重大学

^{*3} 山口大学

鈴木穂高: フグ毒のマウス・バイオアッセイのSCAWの
苦痛分類.

第158回日本獣医学会学術集会 (2015.9)

嶋本敬介*, 岡田由美子, 小川竜也*, 工藤佳代子*, 中村厚*, 久世博*, 鈴木穂高: 無眼球症スナネズミの聴性脳幹反応検査.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

* ボゾリサーチセンター

岡田由美子, 吉田麻利江, 泉谷秀昌*, 五十君静信: *Listeria monocytogenes*の分子疫学的解析.

第158回日本獣医学会学術集会 (2015.9)

* 国立感染症研究所

Okada Y, Suzuki H, Yoshida M, Momose Y, Igimi S: Comparison of pathogenicities of *Listeria monocytogenes* serotype 4b isolates.

第89回日本細菌学会 (2016.3)

秋野和華子*, 斎藤博之*, 野田衛: 食品のウイルス検査における偽陽性防止対策に関する検討.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

* 秋田県健康環境センター

斎藤博之*, 秋野和華子*, 野田衛: 食品のサポウイルス検査にパンソルビン・トラップ法を用いる際のRNA検出系の最適化.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

* 秋田県健康環境センター

菅原直子*¹, 木村俊介*¹, 鈴木優子*¹, 佐々木美江*¹, 植木洋*¹, 渡邊節*¹, 真砂佳史*², 大村達夫*³, 野田衛: カキからのノロウイルス抽出法の検討.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

*¹ 宮城県保健環境センター

*² 国際連合大学サステイナビリティ高等研究所

*³ 東北大学未来科学技術共同研究センター

斎藤博之*¹, 秋野和華子*¹, 田中智之*², 野田衛: 食品検体の病原ウイルス検査にパンソルビン・トラップ法を用いる際の捕捉抗体供給源に関する検討.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

*¹ 秋田県健康環境センター

*² 堺市衛生研究所

小菅大嗣*, 上間匡, 小西良子*, 野田衛: 市販アルコール系消毒剤によるネコカリシウイルス不活化効果の比較.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

* 麻布大学・生命環境科学部

Iritani N*¹, Yamamoto S*^{1,2}, Kaida A*¹, Abe N*¹, Kanbayashi D*^{1,2}, Kubo H*¹, Noda M: Norovirus GII.17 detected in Osaka City, Japan.

第63回日本ウイルス学会学術集会 (2015.11)

*¹ 大阪市立環境科学研究所

*² 大阪府公衆衛生研究所

Saito H*, Akino W*, Noda M: Optimization of RT-PCR to detect Sapovirus RNA recovered by PANtrap method.

第63回日本ウイルス学会学術集会 (2015.11)

* 秋田県健康環境センター

Nagoya M*, Inasaki N*, Shima I*, Itamochi M*, Inahata R*, Obuchi M*, Noda M, Sata T*, Takizawa T*: Detection of noroviruses from outbreaks of gastroenteritis by metagenomic analysis.

第63回日本ウイルス学会学術集会 (2015.11)

* 富山県衛生研究所

吉富秀亮*, 芦塚由紀*, 野田衛: 市販カキから検出されたノロウイルスGII.17の分子疫学解析.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

* 福岡県衛生研究所

三元昌美, 小菅大嗣*, 上間匡, 野田衛: 感染性推定遺伝子検査法を用いた高圧処理によるノロウイルスに対する不活化効果の検証.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

* 麻布大学・生命環境科学部

上間匡, 照山晏菜*, 堀内百恵*, 浅川愛*, 三元昌美, 野田衛: カキからのノロウイルス検出における通知法, 改良法, 感染性推定遺伝子検査法の比較.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

* 明治薬科大学

寺嶋淳：ベロ毒素産生大腸菌（VTEC）等による食品媒介感染症の分子疫学的解析.

食品媒介感染症防止に向けた食品安全確保のための定量的・定量的アプローチに関する国際シンポジウム (2015.12)

Terajima J, Izumiya H*, Ohnishi M*: Molecular Epidemiological Analysis of Foodborne Infection with Enterohemorrhagic E. coli and other Bacterial Pathogens.

50th Toxic Microorganisms Joint Panel Meeting (2016.1)

* National Institute of Infectious Diseases

星野梢^{*1}, 鈴木史恵^{*2}, 山崎匠子^{*3}, 小西典子^{*4}, 菊地理慧^{*5}, 岩渕香織^{*6}, 永井佑樹^{*7}, 磯部順子^{*8}, 山田裕子^{*9}, 坂本綾^{*10}, 上田泰史^{*11}, 森哲也^{*12}, 中川弘^{*13}, 大塚佳代子^{*1}, 工藤由起子：食品における腸管出血性大腸菌6血清群試験法のコラボレイティブスタディによる評価.

第19回腸管出血性大腸菌感染症研究会 (2015.7)

*1 埼玉県衛生研究所

*2 静岡市環境保健研究所

*3 杉並区衛生試験所

*4 東京都健康安全研究センター

*5 福島県衛生研究所

*6 岩手県環境保健研究センター

*7 三重県保健環境研究所

*8 富山県衛生研究所

*9 広島県立総合技術研究所保健環境センター

*10 広島市衛生研究所

*11 神戸検疫所

*12 (一財) 東京顕微鏡院

*13 (株) BMLフード・サイエンス

窪崎敦隆, 山崎朗子, 宮原美知子, 菊池裕, 工藤由起子, 寺嶋淳, 渡辺麻衣子：真菌性髄膜炎原因菌をモデルとした細胞調製品の微生物迅速測定法の検討.

日本防菌防黴学会第42回年次大会 (2015.9)

森哲也*, 長尾清香, 岸野かなえ*, 難波豊彦*, 高田薫, 工藤由起子：腸管出血性大腸菌の食品からの検出におけるDNA抽出法および遺伝子検出法の検討.

日本防菌防黴学会第42回年次大会 (2015.9)

* (一財) 東京顕微鏡院

杉山寛治^{*1}, 岩出義人^{*2}, 徳岡英亮^{*3}, 西尾智裕^{*1}, 齋藤志保子^{*4}, 大友良光^{*5}, 小沼博隆^{*6}, 中川弘^{*7}, 田中廣行^{*8}, 工藤由起子：腸炎ビブリオの二枚貝からの分離状況と疫学的観点からのTRHの病原性に関する考察.

第49回腸炎ビブリオシンポジウム (2015.10)

*1 静岡県環境衛生科学研究所

*2 三重県保健環境研究所

*3 熊本県保健環境研究所

*4 秋田県健康環境センター

*5 弘前大学

*6 東海大学

*7 (株) BMLフード・サイエンス

*8 日本食品分析センター

大塚佳代子^{*1}, 大阪美紗^{*1}, 工藤由起子, 小沼博隆^{*2}, 三輪憲永^{*3,4}, 増田高志^{*3,5}, 小澤一弘^{*5}, 熊谷進^{*6}, 仁科徳啓^{*4}：人工海水による魚類における腸炎ビブリオ汚染の低減化およびエラ・内臓における高菌数汚染.

第49回腸炎ビブリオシンポジウム (2015.10)

*1 埼玉県衛生研究所

*2 東海大学

*3 静岡県環境衛生科学研究所

*4 東海大学短期大学部

*5 中部衛生検査センター

*6 東京大学大学院

石川暢子^{*1}, 齋藤明美^{*1}, 吉田信一郎^{*1}, 市川希美^{*2}, 森哲也^{*2}, 伊藤武^{*2}, 池本尚人^{*3}, 加藤一郎^{*4}, 林伸之^{*5}, 工藤由起子：ゼリー飲料および固形化成分を含有する粉末清涼飲料の細菌試験法の問題点とその改善法の検討.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

*1 (一財) 日本食品分析センター

*2 (一財) 東京顕微鏡院

*3 サントリービジネスエキスパート (株)

*4 (株) 伊藤園

*5 キリン (株)

大塚佳代子^{*1}, 森哲也^{*2}, 上田泰史^{*3}, 中川弘^{*4}, 清水大輔^{*4}, 甲斐明美^{*5}, 小西典子^{*5}, 長尾清香, 寺嶋淳, 工藤由起子：食品の腸管出血性大腸菌検査におけるVT

遺伝子検出機器及び試薬の検討.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

*1 埼玉衛生研究所

*2 (一財) 東京顕微鏡院

*3 神戸検疫所

*4 (株) BMLフードサイエンス

*5 東京都健康安全研究センター

松谷佐知子：転写因子ArtAのDNA結合能解析のための新しい手法の開発とその結合部位.

第38回日本分子生物学会年会 (2015.12)

窪崎敦隆：ヒト培養細胞を用いたエピジェネティック毒性検出.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

渡辺麻衣子, 押方智也子^{*1}, 齋藤明美^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 矢内勝^{*2}, 鎌田洋一^{*3}, 寺嶋淳, 釣木澤尚実^{*1}: 東日本大震災における応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診1・真菌叢調査.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*1 (独) 国立病院機構相模原病院

*2 石巻赤十字病院

*3 岩手大学

釣木澤尚実^{*1}, 押方智也子^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 矢内勝^{*2}, 齋藤明美^{*1}, 鎌田洋一^{*3}, 寺嶋淳, 渡辺麻衣子: 東日本大震災における応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診2・疫学調査.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*1 (独) 国立病院機構相模原病院

*2 石巻赤十字病院

*3 岩手大学

押方智也子^{*1}, 渡辺麻衣子, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 齋藤明美^{*1}, 鎌田洋一^{*3}, 寺嶋淳, 矢内勝^{*2}, 釣木澤尚実^{*1}: 東日本大震災における応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診3・抑うつ傾向の調査.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*1 (独) 国立病院機構相模原病院

*2 石巻赤十字病院

*3 岩手大学

齋藤明美^{*1}, 釣木澤尚実^{*1}, 押方智也子^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 矢内勝^{*2}, 鎌田洋一^{*3}, 寺嶋淳, 渡辺麻衣子: 東日本大震災における応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診4・血清学的調査.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*1 (独) 国立病院機構相模原病院

*2 石巻赤十字病院

*3 岩手大学

石田雅嗣^{*1}, 矢内勝^{*1}, 大久保愉一^{*1}, 矢満田慎介^{*1}, 花釜正和^{*1}, 小林誠一^{*1}, 齋藤明美^{*2}, 押方智也子^{*2}, 釣木澤尚実^{*2}, 渡辺麻衣子: 東日本大震災後に発症した *Aspergillus versicolor* によるアレルギー気管支肺真菌症の1例.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

*1 石巻赤十字病院

*2 国立病院機構相模原病院

Watanabe, M: Relationship between Fungal contamination and health hazard in Temporary Houses after the Great East Japan Calamity.

The 9 International Symposium on Heating, Ventilation and Air Conditioning and the 3 International Conference on Building Energy and Environment (2015.7)

押方智也子^{*1}, 渡辺麻衣子, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 齋藤明美^{*1}, 鎌田洋一^{*3}, 寺嶋淳, 矢内勝^{*2}, 釣木澤尚実^{*1}: 東日本大震災における応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器かびアレルギー集団検診1・臨床.

第24回日本臨床環境医学会学術総会 (2015.6)

*1 (独) 国立病院機構相模原病院

*2 石巻赤十字病院

*3 岩手大学

渡辺麻衣子, 押方智也子^{*1}, 齋藤明美^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 鎌田洋一^{*3}, 寺嶋淳, 矢内勝^{*2}, 釣木澤尚実^{*1}: 東日本大震災における応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器かびアレルギー集団検診2・基礎.

第24回日本臨床環境医学会学術総会 (2015.6)

*1 (独) 国立病院機構相模原病院

*2 石巻赤十字病院

*3 岩手大学

渡辺麻衣子, 齋藤明美^{*1}, 押方智也子^{*1}, 小沼ルミ^{*2}, 石田雅嗣^{*3}, 小林誠一^{*3}, 鎌田洋一^{*4}, 寺嶋淳, 矢内勝^{*3}, 釣木澤尚実^{*1}: 応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診1・真菌叢調査.

第46回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2015.7)

^{*1} (独) 国立病院機構相模原病院

^{*2} 東京都立産業技術研究センター

^{*3} 石巻赤十字病院

^{*4} 岩手大学

釣木澤尚実^{*1}, 押方智也子^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 齋藤明美^{*1}, 鎌田洋一^{*3}, 橋本一浩^{*4}, 寺嶋淳, 矢内勝^{*2}, 渡辺麻衣子: 応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診2・喘息の疫学調査.

第46回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2015.7)

^{*1} (独) 国立病院機構相模原病院

^{*2} 石巻赤十字病院

^{*3} 岩手大学

^{*4} (株) エフシージー総合研究所

押方智也子^{*1}, 渡辺麻衣子, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 齋藤明美^{*1}, 小林直樹^{*3}, 鎌田洋一^{*4}, 寺嶋淳, 矢内勝^{*2}, 釣木澤尚実^{*1}: 応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診3・喘息と抑うつ傾向.

第46回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2015.7)

^{*1} (独) 国立病院機構相模原病院

^{*2} 石巻赤十字病院

^{*3} 麻布大学

^{*4} 岩手大学

齋藤明美^{*1}, 釣木澤尚実^{*1}, 押方智也子^{*1}, 石田雅嗣^{*2}, 小林誠一^{*2}, 矢内勝^{*2}, 山崎朗子^{*3}, 鎌田洋一^{*3}, 寺嶋淳, 渡辺麻衣子: 応急仮設住宅住民を対象とした呼吸器アレルギー集団検診4・血清学的調査.

第46回日本職業・環境アレルギー学会総会・学術大会 (2015.7)

^{*1} (独) 国立病院機構相模原病院

^{*2} 石巻赤十字病院

^{*3} 岩手大学

川上裕司^{*1}, 横山耕治^{*2}, 橋本ルイコ^{*3}, 橋本一浩^{*1}, 浅野勝佳^{*4}, 陰地義樹^{*4}, 北岡洋平^{*4}, 小田尚幸^{*1}, 渡辺麻衣子, 高橋治男^{*2}: 焼酎工場における黒麹菌類の調査とマイコトキシン産生能.

都市有害生物管理学会第36回大会・総会 (2015.7)

^{*1} (株) エフシージー総合研究所

^{*2} 千葉大学真菌医学研究センター

^{*3} 千葉県衛生研究所

^{*4} 奈良県景観・環境総合センター

大内勇樹^{*1}, 福富友馬^{*2}, 長井和哉^{*1}, 小林直樹^{*3}, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一^{*1}: 次世代シークエンサーによる *Aspergillus restrictus* の新規アレルゲンの同定と解析.

第158回日本獣医学会学術集会 (2015.9)

^{*1} 岩手大学

^{*2} (独) 国立病院機構相模原病院

^{*3} 麻布大学

大内勇樹^{*1}, 福富友馬^{*2}, 長井和哉^{*1}, 小林直樹^{*3}, 渡辺麻衣子, 鎌田洋一^{*1}: 次世代シークエンサーを用いた新規カビアレルゲンの同定と解析.

日本防菌防黴学会第42回年次大会 (2015.9)

^{*1} 岩手大学

^{*2} (独) 国立病院機構相模原病院

^{*3} 麻布大学

押方智也子^{*}, 齋藤明美^{*}, 渡辺麻衣子, 堀田綾子^{*}, 安枝浩^{*}, 齋藤生朗^{*}, 釣木澤尚実^{*}: 築10年マンションの外壁工事を機に発症し *Chaetomium globosum* の関与が示唆された過敏性肺炎の一例.

第59回日本医真菌学会総会・学術集会 (2015.10)

^{*} (独) 国立病院機構相模原病院

吉本優里^{*1}, 渡辺麻衣子, 吉成知也, 高橋治男^{*2}, 小西良子^{*1}, 寺嶋淳: 輸入小麦におけるフザリウムトキシン産生菌の分布に関する研究.

日本マイコトキシン学会第78回学術講演会 (2016.1)

^{*1} 麻布大学

^{*2} 千葉大学真菌医学研究センター

Watanabe M: Study on distribution of trichothecens-producing *Fusarium* isolated adzuki beans.

UJNR有毒微生物専門部会第50回大会日米合同部会

橋本ルイコ^{*1}, 中川博之^{*2}, 橋本一浩^{*3}, 小田尚幸^{*3}, 川上裕司^{*3}, 渡辺麻衣子, 北岡洋平^{*4}, 陰地義樹^{*4}, 横山耕治^{*5}, 高橋治男^{*5}: 本邦ワイナリーから分離されたフモニシン産生*Fusarium* 属菌の性状と接種試験.

日本マイコトキシン学会第78回学術講演会 (2016.1)

^{*1} 千葉県衛生研究所

^{*2} (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*3} (株) エフシージー総合研究所

^{*4} 奈良県保健研究センター

^{*5} 千葉大学真菌医学研究センター

大波純一^{*1}, 小林直樹^{*2}, 渡辺麻衣子, 山田修^{*3}, 水谷治^{*3}, 高橋徹^{*4}, 川上裕司^{*5}, 橋本一浩^{*5}, 清水公德^{*6}, 高橋治男, 知花博治^{*7}, 鎌田洋一^{*8}: データベースから選出されたカビアレゲン候補遺伝子の*Aspergillus*属内における配列比較とアレゲン性の検討.

第10回日本ゲノム微生物学会年会 (2016.3)

^{*1} JST・バイオサイエンスデータベースセンター

^{*2} 麻布大学

^{*3} (独) 酒類総合研究所

^{*4} (株) 岐阜セラック製造所

^{*5} (株) エフシージー総合研究所

^{*6} 東京理科大学

^{*7} 千葉大学

^{*8} 岩手大学

Ohnishi T, Kikuchi Y, Furusawa H, Yoshinari T, Yamazaki A, Kamata Y^{*1}, Sugita-Konishi Y^{*2}: Electron Microscopic Study on *Kudoa septempunctata* Infecting Olive Flounder.

IAFP European Symposium on Food Safety (2015.4)

^{*1} Iwate University

^{*2} Azabu University

Takeuchi F, Sekizuka T^{*1}, Ogasawara Y^{*1}, Yokoyama H^{*2}, Kamikawa R^{*3}, Inagaki Y^{*4}, Nozaki T^{*1,4}, Sugita-Konishi Y^{*5}, Ohnishi T, Kuroda M^{*1}: Phylogenetic analysis of a Myxozoan Genus *Kudoa* Mitochondrial Genomes, and the modulation of host innate immunity by *Kudoa* infection.

2nd International Symposium Matryoshka-type

Evolution of Eukaryotic Cells (2015.9)

^{*1} National Institute of Infectious Diseases

^{*2} The University of Tokyo

^{*3} Kyoto University

^{*4} University of Tsukuba

^{*5} Azabu University

大西貴弘, 都丸亜希子, 吉成知也, 鎌田洋一^{*1}, 小西良子^{*2}: 原因不明有症苦情事例検体からの粘液胞子虫の検出.

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

^{*1} 岩手大学

^{*2} 麻布大学

吉成知也: アフラトキシンM1規格設定の概要と経緯. ifia JAPAN 2015食の安全・科学フォーラム 第14回セミナー & 国際シンポジウム (2015.5)

吉成知也, 鈴木恵利^{*}, 小西良子^{*}, 寺嶋淳: ペプチジルヌクレオシド系化合物のアフラトキシン生産阻害活性.

日本マイコトキシン学会第77回学術講演会 (2015.9)

^{*} 麻布大学

吉成知也: マイコトキシンの分析法と汚染実態について. 平成27年度マイコトキシン研修会 (2015.9)

吉成知也, 寺嶋淳: 日本に輸入される小麦に含まれるカビ毒の汚染実態.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

鈴木結子^{*}, 渡辺麻衣子, 小西良子^{*}, 寺嶋淳, 吉成知也: 小麦から単離されたフザリウム属菌の代謝物の解析とエンニアチン類の汚染実態.

日本マイコトキシン学会第78回学術講演会 (2016.1)

^{*} 麻布大学

Kikuchi Y, Yusa S, Kubosaki A, Terajima J, Kanayasu-Toyoda T, Yamaguchi T: Expression of a splice variant of prion protein in human glioblastoma cell line T98G regulated by the overexpression of bHLH transcription factor DEC1.

The 3rd Conference of the Japanese Association for

Hypoxia Biology (2015.7)

豊田淑江, 田中建志*, 菊池裕, 内田恵理子, 山口照英:
単核球由来血管内皮前駆細胞の細胞浸潤における膜結合
MMP - 9の役割とヒアルロニダーゼ処理による阻害.
第38回日本分子生物学会年会第88回日本生化学会大会
(2015.12)

* 日本薬科大

山村隼志*, 大村綾子*, 櫻井美栄*, 斉藤麻紀子*, 松
尾健一*, 福井千恵, 齋島由二, 菊池裕: オゾン - 過酸
化水素混合ガスのエンドトキシン不活化効果.
日本防菌防黴学会第42回年次大会 (2015.9)

* (株) IHI

櫻井美栄*, 山村隼志*, 大村綾子*, 斉藤麻紀子*, 松
尾健一*, 福井千恵, 齋島由二, 菊池裕: オゾン - 過酸
化水素混合ガスの殺菌効果.

* (株) IHI

菊池裕: 日本薬局方生物試験法の現状と今後の展開.
第31回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関する
シンポジウム - 第17改正日本薬局方の最新情報を踏まえて -
(2016.3)

齋島由二, 菊池裕, 山村隼志*: オゾン - 過酸化水素
混合ガスによるエンドトキシンの不活化ならびに殺菌効
果.
第31回GMPとバリデーションをめぐる諸問題に関する
シンポジウム - 第17改正日本薬局方の最新情報を踏まえて -
(2016.3)

* (株) IHI

出水庸介, 三澤隆史, 長久保貴哉, 諫田泰成, 奥平桂一
郎, 関野祐子, 内藤幹彦, 栗原正明: エストロゲン受容
体転写活性化阻害能を有するヘリカルペプチドの開発.
ケミカルバイオロジー第10回年会 (2015.6)

三澤隆史, 出水庸介, 栗原正明: ヘリカルペプチドを用
いたビタミンD受容体 (VDR) -コアクチベータ相互作用
阻害剤の創製.
ケミカルバイオロジー第10回年会 (2015.6)

沖津航陽, 出水庸介, 三澤隆史, 正田卓司, 服部隆行,
内藤幹彦, 栗原正明: Hisタグタンパク質応答性蛍光プ
ローブの開発.

ケミカルバイオロジー第10回年会 (2015.6)

榎原紀和^{*1}, Gianfranco Balboni^{*2}, Cenzo Congiu^{*2},
Valentina Onnis^{*2}, 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明,
加藤善久^{*1}, 丸山徳見^{*1}, 外山政明^{*1}, 岡本実佳^{*3}, 馬
場昌範^{*3}: 新規トリアジン誘導体の合成とそれらの抗
HIV-1活性評価.

ケミカルバイオロジー第10回年会 (2015.6)

^{*1} 徳島文理大学香川薬学部

^{*2} University of Cagliari

^{*3} 鹿児島大学医学部

大庭誠*, 古川かほり*, 加藤巧馬*, 山下博子, 出水庸介,
栗原正明, 田中正一*: アルギニン含有ペプチドの細胞
膜透過性とpDNAデリバリーに関する研究.
第31回日本DDS学会学術集会 (2015.7)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

山下博子, 出水庸介, 三澤隆史, 大庭誠*, 田中正一*,
服部隆行, 内藤幹彦, 栗原正明: DDSキャリアを指向し
たカチオン性非天然アミノ酸導入ペプチドの開発.
第31回日本DDS学会学術集会 (2015.7)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

三澤隆史, 出水庸介, 榎島誠*, 栗原正明: ノンセコス
テロイド型VDRリガンドの創製.
第1回Neo Vitamin D Workshop (2015.8)

* 日本大学医学部

三澤隆史, 依岡桃子, 出水庸介, 大岡伸通, 木下恵愛,
榎島誠*, 内藤幹彦, 栗原正明: 長鎖アルキル基を有す
るビタミンD受容体リガンドの創製.
第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

* 日本大学医学部

依岡桃子, 三澤隆史, 出水庸介, 大岡伸通, 榎島誠^{*1},
南雲紳史^{*2}, 内藤幹彦, 栗原正明: ジフェニルメタンを
基本骨格としたエストロゲン受容体転写阻害剤および分
解誘導剤の開発.

第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

*¹ 日本大学医学部*² 工学院大学

田中克哉, 三澤隆史, 出水庸介, 諫田泰成, 槇島誠*, 関野祐子, 内藤幹彦, 栗原正明: ジフェニルメタンを基本骨格とするエストロゲン受容体アンタゴニストの創製.

第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

* 日本大学医学部

出水庸介, 三澤隆史, 内山奈穂子, 花尻瑠理, 袴塚高志, 栗原正明: コンピュータシミュレーションによる合成カンナビノイドのCB1受容体への結合様式解析.

第59回日本薬学会関東支部大会 (2015.9)

山下博子, 出水庸介, 三澤隆史, 服部隆行, 大庭誠*, 田中正一*, 内藤幹彦, 栗原正明: 細胞膜透過性の向上を指向したカチオン性アミノ酸の合成およびその応用.

第41回反応と合成の進歩シンポジウム (2015.10)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

三澤隆史, 依岡桃子, 出水庸介, 大岡伸通, 木下恵愛, 槇島誠*, 内藤幹彦, 栗原正明: 長鎖アルキルを有するノンセコステロイド型VDRリガンドの創製.

第41回反応と合成の進歩シンポジウム (2015.10)

* 日本大学医学部

榊原紀和*¹, 五十嵐淳介*², 高田麻紀*², 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明, 小西良士*², 加藤善久*¹, 丸山徳見*¹, 塚本郁子*²: 血管新生促進剤を指向した2-クロル炭素環オキセタノシンA (COA-CI) の新規誘導体の創製研究.

第54回薬学会中国四国支部学術大会 (2015.10)

*¹ 徳島文理大学香川薬学部*² 香川大学医学部

杉山亨*¹, 桑田啓子*², 今村保忠*³, 出水庸介, 栗原正明, 高野真史*¹, 橘高敦史*¹: Synthesis of PNA oligomers containing modified deazaguanines for the development of functional PNA.

第52回ペプチド討論会 (2015.11)

*¹ 帝京大学薬学部*² 名古屋大学ITbM*³ 工学院大学

古場百合恵*¹, 上田篤志*¹, 大庭誠*¹, 土井光暢*², 出水庸介, 栗原正明, 田中正一*¹: Conformational analysis of peptides composed of chiral cyclic amino acids.

第52回ペプチド討論会 (2015.11)

*¹ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科*² 大阪薬科大学

沖津航陽, 服部隆行, 出水庸介, 三澤隆史, 正田卓司, 内藤幹彦, 栗原正明: Development of His-tag fused protein degradation inducer based on protein knockdown strategy.

第52回ペプチド討論会 (2015.11)

山下博子, 出水庸介, 三澤隆史, 服部隆行, 大庭誠*, 田中正一*, 内藤幹彦, 栗原正明: Development of helix-stabilized cationic peptides with cell-membrane penetrating ability.

第52回ペプチド討論会 (2015.11)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

三澤隆史, 出水庸介, 栗原正明: Design and synthesis of short helical peptides as vitamin D receptor (VDR)-coactivator interaction inhibitors.

第52回ペプチド討論会 (2015.11)

出水庸介, 三澤隆史, 諫田泰成, 大岡伸通, 関野祐子, 内藤幹彦, 栗原正明: Development of helical peptide as inhibitors of estrogen receptor-mediated transcription.

第52回ペプチド討論会 (2015.11)

榊原紀和*¹, 五十嵐淳介*², 高田麻紀*², 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明, 小西良士*², 加藤善久*¹, 丸山徳見*¹, 塚本郁子*²: 血管新生促進作用を有する新規2-クロル炭素環オキセタノシンA (COA-CI) 誘導体の創製.

第33回メデイシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

*¹ 徳島文理大学香川薬学部*² 香川大学医学部

杉山亨^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明, 高野真史^{*1}, 橘高敦史^{*1}: 修飾デアザグアニン含有PNAオリゴマーの合成.

第33回 メディシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 名古屋大学ITbM

^{*3} 工学院大学

正田卓司, 加藤雅士, 藤里卓磨, 三澤隆史, 出水庸介, 井上英史^{*}, 内藤幹彦, 栗原正明: ラロキシフェン骨格を有する新規エストロゲン受容体分解誘導剤の開発.

第33回 メディシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

^{*} 東京薬科大学

藤里卓磨, 正田卓司, 大岡伸通, 井上英史^{*}, 内藤幹彦, 栗原正明: Naphthoflavoneを利用した新規プロテインノックダウン法の開発.

第33回 メディシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

^{*} 東京薬科大学

依岡桃子, 三澤隆史, 出水庸介, 大岡伸通, 諫田泰成, 横島誠^{*1}, 南雲紳史^{*2}, 関野祐子, 内藤幹彦, 栗原正明: エストロゲン受容体転写阻害剤および分解誘導剤の創製.

第33回 メディシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

^{*1} 日本大学医学部

^{*2} 工学院大学

三澤隆史, 依岡桃子, 出水庸介, 谷内出友美^{*1}, 大岡伸通, 木下恵愛, 野尻久雄^{*2}, 橘高敦史^{*2}, 横島誠^{*3}, 内藤幹彦, 栗原正明: ノンセコステロイド型ビタミンD受容体リガンドの創製—官能基変換による活性制御—.

第33回 メディシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

^{*1} 東京大学分子細胞生物学研究所

^{*2} 帝京大学薬学部

^{*3} 日本大学医学部

出水庸介, 三澤隆史, 諫田泰成, 大岡伸通, 関野祐子, 内藤幹彦, 栗原正明: エストロゲン受容体を標的とした転写活性化阻害および分解誘導ペプチドの創製.

第33回 メディシナルケミストリーシンポジウム (2015.11)

榊原紀和^{*1}, 五十嵐淳介^{*2}, 高田麻紀^{*2}, 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明, 小西良士^{*2}, 加藤善久^{*1}, 丸山徳見^{*1}, 塚本郁子^{*2}: 2-クロール炭素環オキセタノシンA (COA-Cl) の新規誘導体の合成とその血管新生促進作用.

第45回複素環化学討論会 (2015.11)

^{*1} 徳島文理大学香川薬学部

^{*2} 香川大学医学部

出水庸介, 山下博子, 三澤隆史, 大庭誠^{*}, 田中正一^{*}, 栗原正明: グアニジノ基を有する環状アミノ酸の合成と細胞膜透過性ペプチドへの応用.

第45回複素環化学討論会 (2015.11)

^{*} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

野尻久雄^{*}, 村田拓哉^{*}, 橘高敦史^{*}, 出水庸介, 三澤隆史, 栗原正明: ノンセコステロイド型VDRリガンドによるATRA耐性急性前骨髄球性白血病細胞の分化誘導.

第36回日本臨床薬理学会学術総会 (2015.12)

^{*} 帝京大学薬学部

出水庸介, 大岡伸通, 三澤隆史, 内藤幹彦, 栗原正明: エストロゲン受容体分解誘導ペプチドの創製.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

三澤隆史, 山下博子, 加藤巧馬^{*}, 服部隆行, 大庭誠^{*}, 田中正一^{*}, 内藤幹彦, 出水庸介, 栗原正明: ヘリカルプロモーター導入によるオリゴアルギニンの構造制御と膜透過能への効果.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

^{*} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

山下博子, 出水庸介, 加藤巧馬^{*}, 大岡伸通, 三澤隆史, 服部隆行, 田中正一^{*}, 内藤幹彦, 大庭誠^{*}, 栗原正明: 環境応答型二次構造変化を利用した細胞膜高透過性ペプチドの開発.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

沖津航陽, 服部隆行, 出水庸介, 三澤隆史, 正田卓司, 内藤幹彦, 栗原正明: Hisタグタンパク質分解誘導分子の開発.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

小澤佑斗, 出水庸介, 三澤隆史, 菊池裕, 栗原正明: 二次構造制御に基づく抗菌ペプチドフォルダマーの開発.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

正田卓司, 加藤雅士, 藤里卓磨, 三澤隆史, 出水庸介, 井上英史*, 内藤幹彦, 栗原正明: エストロゲン受容体分解活性を有するラロキシフェン誘導体の開発.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

* 東京薬科大学

古場百合恵^{*1}, 上田篤志^{*1}, 大庭誠^{*1}, 土井光暢^{*2}, 出水庸介, 栗原正明, 田中正一^{*1}: エチレンアセタールを有するキラル5員環アミノ酸を含有するペプチドのヘリカル二次構造.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

^{*1} 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

^{*2} 大阪薬科大学

杉山亨^{*1}, 桑田啓子^{*2}, 今村保忠^{*3}, 出水庸介, 栗原正明, 高野真史^{*1}, 橘高敦史^{*1}: デアザグアニン誘導体を持つPNAの合成.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

^{*1} 帝京大学薬学部

^{*2} 名古屋大学ITbM

^{*3} 工学院大学

藤里卓磨, 正田卓司, 大岡伸通, 井上英史*, 内藤幹彦, 栗原正明: 芳香族炭化水素受容体のユビキチンリガーゼ活性を利用した新規プロテインノックダウン法の開発.

日本薬学会第136回年会 (2016.3)

* 東京薬科大学

Misawa T, Demizu Y, Kurihara M: Structure-activity relationship analysis of short helical peptides as VDR-coactivator interaction inhibitors.

第43回構造活性相関シンポジウム, 第10回薬物の分子設

計と開発に関する日中シンポジウム (2015.9)

Oba M*, Furukawa K*, Kato T*, Demizu Y, Yamashita H, Kurihara M, Tanaka M*: Cell-penetrating ability and plasmid DNA delivery using fluorescein-labeled arginine-rich peptides.

The 11th Australian Peptide Conference 2015 (2015.10)

* 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

Demizu Y, Misawa T, Kanda Y, Sekino Y, Kurihara M: Development of cell-penetrating fragment conjugated helical peptides as inhibitors of estrogen receptor-mediated transcription.

The 11th Australian Peptide Conference 2015 (2015.10)

Demizu Y, Misawa T, Kurihara M: Development of stabilized helical peptides and their functionalization.

13th International Kyoto Conference on New Aspects of Organic Chemistry (2015.11)

Shoda T, Kato M, Okuhira K, Demizu Y, Inoue H*, Naito M, Kurihara M: Design, synthesis and evaluation of tamoxifen derivatives as new selective estrogen receptor down-regulators.

PACIFICHEM 2015 (2015.12)

* 東京薬科大学

Misawa T, Demizu Y, Kurihara M: Structural development of stapled short helical peptides as vitamin D receptor (VDR)-coactivator interaction inhibitors.

PACIFICHEM 2015 (2015.12)

蜂須賀暁子, 曾我慶介, 最上(西巻)知子, 花尻(木倉)瑠理: 新規流通危険ドラッグのエクオリン/受容体共発現組換え細胞を用いた薬理活性評価.

日本法中毒学会第34年会 (2015.6)

蜂須賀暁子: 食品及び空気中の放射性物質の測定法.

フォーラム2015: 衛生薬学・環境トキシコロジー (2015.9)

曾我慶介, 亀井俊之, 蜂須賀暁子, 最上(西巻)知子: 食品中の放射性物質トリチウム試験法の検討.

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

曾我慶介, 亀井俊之, 蜂須賀暁子, 最上(西巻)知子: 食品中自由水に含まれるトリチウムの共沸蒸留による分離・分析法.

日本薬学会第136年会(2016.3)

中村公亮, 石垣拓実, 近藤一成, 最上(西巻)知子: 次世代ゲノム編集技術による遺伝子組換え食品の内在性遺伝子発現への影響.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会(2015.5)

石垣拓実, 中村公亮, 近藤一成, 最上(西巻)知子: 遺伝子組換えヒヨコマメ検査法確立に向けたヒヨコマメ内在性遺伝子(CaNCED)特異的検知法の開発.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会(2015.5)

真野潤一^{*1}, 波田野修子^{*2}, 布藤聡^{*2}, 峯岸恭孝^{*3}, 二宮健二^{*4}, 中村公亮, 近藤一成, 手島玲子, 高畠令王奈^{*1}, 橘田和美^{*1}: 食品遺伝子検査を簡易化するダイレクトリアルタイムPCR.

2015年度AOAC International日本セッション年次大会(2015.6)

^{*1}(独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*2}(株) ファスマック

^{*3}(株) ニッポンジーン

^{*4}(株) 島津製作所

中村公亮, 石垣拓実, 坂田こずえ, 福田のぞみ, 野口秋雄, 穂山浩, 近藤一成, 真野潤一^{*}, 高畠令王奈^{*}, 橘田和美^{*}, 最上(西巻)知子: 未承認遺伝子組換え食品検知法の開発: 未承認遺伝子組換えジャガイモ検知を例に.

第1回次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム(2015.9)

^{*}(独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

中村公亮, 近藤一成, 石垣拓実, 野口秋雄, 坂田こずえ, 福田のぞみ, 大森清美^{*1}, 真野潤一^{*2}, 橘田和美^{*2}, 最上(西巻)知子: 安全性未承認遺伝子組換えパパイヤ(PRSV-HN系統)の検出と検知法開発.

第110回日本食品衛生学会学術講演会(2015.10)

^{*1} 神奈川県衛生研究所

^{*2}(独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

野口秋雄, 近藤一成, 最上(西巻)知子: LAMP法を用いた遺伝子組換え作物の簡易検査法の開発.

第67回日本生物工学会大会(2015.10)

野口秋雄, 町井香苗^{*1}, 中村公亮, 坂田こずえ, 福田のぞみ, 石垣拓実, 真野潤一^{*2}, 高畠令王奈^{*2}, 橘田和美^{*2}, 川上浩^{*1}, 近藤一成, 最上(西巻)知子: 遺伝子組換えトウモロコシの簡易粒検査法の開発.

第110回日本食品衛生学会学術講演会(2015.10)

^{*1} 共立女子大学

^{*2}(独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

坂田こずえ, 近藤一成, 野口秋雄, 中村公亮, 福田のぞみ, 石垣拓実, 最上(西巻)知子: LAM-PCRを用いた組換え作物中の未知領域解析法の検討.

第110回日本食品衛生学会学術講演会(2015.10)

菅野陽平^{*}, 坂田こずえ, 野口秋雄, 中村公亮, 小林友子, 福田のぞみ, 佐藤正幸^{*}, 青塚圭二^{*}, 鈴木智宏^{*}, 最上知子, 手島玲子, 近藤一成: ツキヨタケのPCR-RFLPを用いた迅速同定法の検討(第2報): 加熱, 消化処理サンプルへの適用.

第110回日本食品衛生学会学術講演会(2015.10)

^{*} 北海道立衛生研究所

高畠令王奈^{*1}, 鍵屋ゆかり^{*1}, 峯岸恭孝^{*2}, Sabina Yeasmin^{*3}, 布藤聡^{*4}, 野口秋雄, 近藤一成, 最上(西巻)知子, 真野潤一^{*1}, 橘田和美^{*1}: LAMP法による安全性審査済み遺伝子組換えダイズおよびトウモロコシの網羅的簡易迅速検知法の開発.

第110回日本食品衛生学会学術講演会(2015.10)

^{*1}(独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

^{*2}(株) ニッポンジーン

^{*3} ダッカ大学

^{*4}(株) ファスマック

真野潤一^{*1}, 西辻泰之^{*2}, 野間聡^{*2}, 菊池洋介^{*2}, 福留真一^{*2}, 川上裕之^{*3}, 佐藤恵美^{*3}, 新畑智也^{*3}, 栗本洋一^{*3}, 布藤聡^{*4}, 野口秋雄, 近藤一成, 最上(西巻)知子, 高畠令王奈^{*1}, 橘田和美^{*1}: リアルタイムPCRによるDNA断片化測定法の改良と市販加工食品の分析.

第110回日本食品衛生学会学術講演会(2015.10)

*¹ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

*² 日清製粉グループ本社

*³ 日本製粉

*⁴ (株) ファスマック

近藤一成：健康食品の安全性確保に関する試験研究。
第13回食品安全フォーラム (2015.11)

福田 (佐藤) のぞみ, 近藤一成, 坂田こずえ, 中村公亮, 野口秋雄, 最上 (西巻) 知子：遺伝毒性試験および全ゲノム解析を用いたCRISPR/Cas9のDNA2本鎖切断ポテンシャル。

第38回日本分子生物学会年会 (2015.12)

野口秋雄, 中村公亮, 坂田こずえ, 福田のぞみ, 石垣拓実, 真野潤一*, 高島令王奈*, 橘田和美*, 近藤一成, 最上 (西巻) 知子：遺伝子組換えトウモロコシの新規スクリーニング検査法の妥当性評価。

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

* (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

中村公亮, 近藤一成, 穂山浩, 石垣拓実, 野口秋雄, 坂田こずえ, 福田のぞみ, 大森清美*¹, 布施谷実聡*², 川上浩*², 田中秀典*³, 明石良*³, 真野潤一*⁴, 橘田和美*⁴, 最上 (西巻) 知子：我が国における未承認遺伝子組換えパパイヤの食品への混入に関する事例と検知法開発の現状。

第52回全国衛生化学技術協議会年会 (2015.12)

*¹ 神奈川県衛生研究所

*² 共立女子大学

*³ 宮崎大学

*⁴ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

Nakamura K, Ishigaki T, Hanada K*¹, Akimoto S*², Kondo K, Nishimaki-Mogami T: DNA methylation pattern analysis of common plant virus promoter used to develop genetically modified crops.
Pacifichem 2015 (2015.12)

*¹ (独) 農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所

*² (株) GLサイエンス

中村公亮, 石垣拓実, 近藤一成, 最上 (西巻) 知子：汎用性ウイルスプロモーター導入によるクロマチンループ内の内在性遺伝子発現への影響。

日本薬学会第136年会 (2016.3)

土切美穂*, 安達玲子, 酒井信夫, 板垣宏*, 最上 (西巻) 知子：さく河性及び陸封性サケ・マス類のアレルゲンタンパク質に関する検討。

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

* 横浜国立大学大学院工学府

安達玲子：アレルゲンを含む食品の表示と検査法, および最近の話題について。

第13回食品安全フォーラム (2015.11)

Adachi R, Sakai S, Akiyama H, Nishimaki-Mogami T: Enzyme-linked immunosorbent assay for detecting food allergens in processed food in Japan.

Pacifichem 2015 (2015.12)

安達玲子：食物アレルゲンの表示制度と分析法の科学。
日本薬学会第136年会 (2016.3)

安達玲子, 木村美恵, 酒井信夫, 最上 (西巻) 知子：タンパク質経皮感作に対する酸化チタンナノマテリアルの影響。

日本薬学会第136年会 (2016.3)

木村美恵, 安達玲子, 酒井信夫, 手島玲子, 最上 (西巻) 知子：マウスモデル系を用いたタンパク質経皮感作性試験における陽性対照物質の検討。

日本薬学会第136年会 (2016.3)

青木良子, 鈴木菜穂, 前田初代, 丸野有利子, 天沼喜美子, 春日文子：EudraVigilanceを用いた市販後副作用報告の経時的調査—糖尿病治療薬SGLT2阻害薬を例として。

日本薬学会第136年会 (2016.3)

Kubota K, Amanuma H, Yanagisawa H*¹, Shimojima M*², Yamashita T*³, Sakurai Y*⁴, Komatsu M*⁴, Kasuga F: Estimating the burden of foodborne illness for *Campylobacter*, *Salmonella* and *Vibrio parahaemolyticus* in Japan, 2006-2012 (日本におけるカンピロバクター, サルモネラおよび腸炎ビブリオの食品

由来感染症被害実態の推定, 2006-2012).

International Association for Food Protection,
2015 Annual Meeting (2015.7)

*¹ (株) ミロクメディカルラボラトリー

*² (株) ビー・エム・エル

*³ LSIメディエンス (株)

*⁴ 宮城県医師会健康センター

Kubota K, Amanuma H, Yanagisawa H^{*1}, Shimojima M^{*2}, Yamashita T^{*3}, Sakurai Y^{*4}, Komatsu M^{*4}, Kasuga F: Estimating the Burden of Foodborne Illness for *Campylobacter*, *Salmonella* and *Vibrio parahaemolyticus* in Japan from Laboratory Confirmed Numbers of Infections and Data from Telephone Surveys (臨床検査機関での菌検出数と住民電話調査データからの日本におけるカンピロバクター, サルモネラおよび腸炎ビブリオの食品由来感染症被害実態の推定).

International Conference on Emerging Infectious Diseases 2015 (2015.8)

*¹ (株) ミロクメディカルラボラトリー

*² (株) ビー・エム・エル

*³ LSIメディエンス (株)

*⁴ 宮城県医師会健康センター

窪田邦宏, 天沼宏, 春日文字: アジアから欧州各国に輸出される食品の微生物汚染の状況 -RASFF通知データベースを利用した分析-

第36回日本食品微生物学会学術総会 (2015.11)

中島一敏^{*1,2,4}, 砂川富正^{*2}, 大石和徳^{*2}, 谷口清州^{*3}, 齋藤智也^{*4}, 緒方剛^{*5}, 山口亮^{*6}, 中瀬克己^{*7}, 三崎貴子^{*8}, 鈴木智之^{*9}, 調恒明^{*10}, 加來浩器^{*11}, 杉下由行^{*12}, 窪田邦宏, 金谷泰宏^{*4}: 我が国の健康危機管理にイベントベースサーベイランス (EBS) は必要か -ワークショップ報告-

第74回公衆衛生学会総会 (2015.11)

*¹ 東北大学病院検査部

*² 国立感染症研究所感染症疫学センター

*³ 国立病院機構三重病院臨床研究部

*⁴ 国立保健医療科学院健康危機管理研究部

*⁵ 茨城県古河保健所

*⁶ 北海道釧路保健所

*⁷ 岡山大学大学院医歯薬総合研究科

*⁸ 川崎市健康安全研究所

*⁹ 滋賀県衛生科学センター

*¹⁰ 山口県環境保健センター

*¹¹ 防衛医科大学校防衛医学研究センター

*¹² 東京都中央区保健所健康推進課

佐久川さつき^{*1}, 登田美桜, 仲間幸俊^{*1}, 高嶺朝典^{*1}, 豊福肇^{*2}, 大城直雅: 沖縄県における魚類食中毒シゲテラの傾向.

第110回日本食品衛生学会学術講演会 (2015.10)

*¹ 沖縄県衛生環境研究所

*² 山口大学大学院総合獣医学部

Toda M, Sakugawa S^{*1}, Nakama Y^{*1}, Takamine T^{*1}, Toyofuku H^{*2}, Oshiro N: Trends of Ciguatera fish poisonings in Japan.

Pacificchem 2015 (2015.12)

*¹ Okinawa Prefectural Institute of Health and Environment

*² Yamaguchi University Joint Faculty of Veterinary Medicine

畝山智香子: 食品中化学物質の安全性について.

第118回日本小児科学会学術集会 (2015.4)

畝山智香子: 「放射線と食品のリスク～食の安全を確保するためには～」.

第43回日本放射線技術学会秋季学術大会 (2015.10)

Kajinami K^{*1}, Akao H^{*1}, Sai K, Maekawa K, JPDSC^{*2}, Saito Y: Genetic background of stain-related myopathy in Japanese.

第79回日本循環器学会学術集会 (2015.4)

*¹ 金沢医科大学

*² Japanese Pharmacogenomics Data Science Consortium

齊藤公亮, 石川将己, 浦田政代, 村山真由子, 妹尾勇弥, 山田弘*, 中津則之*, 前川京子, 齋藤嘉朗: リピドミクスを用いた薬剤性肝リン脂質症の血中バイオマーカー探索.

第57回日本脂質生化学会 (2015.5)

* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

中村亮介, 鹿庭なほ子, 上田真由美^{*1}, 岡本 (内田) 好海, 杉山永見子, 高橋幸利^{*2}, 古谷博和^{*3}, 矢上晶子^{*4}, 松倉節子^{*5}, 池澤善郎^{*5}, 松永佳世子^{*4}, 徳永勝士^{*6}, 外園千恵^{*1}, 相原道子^{*5}, 木下茂^{*1}, 斎藤嘉朗: 重症眼粘膜障害を伴うSJS/TENの発症と関連する被疑薬およびHLA型について.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

^{*1} 京都府立医科大学

^{*2} 静岡てんかん・神経医療センター

^{*3} 高知大学

^{*4} 藤田保健衛生大学

^{*5} 横浜市立大学

^{*6} 東京大学

秋山晴代^{*1}, 政岡智佳^{*1}, 中村亮介, 小野佳代^{*2}, 田中裕^{*2}, 甲斐茂美^{*1}, 栗原和幸^{*2}, 宮澤真紀^{*1}: EXiLE法を用いた経口免疫療法実施時における減感作状態の評価法の検討.

第64回日本アレルギー学会学術大会 (2015.5)

^{*1} 神奈川県衛生研究所

^{*2} 神奈川県立こども医療センター

斎藤嘉朗, 前川京子, 齊藤公亮, 中村亮介, 熊谷雄治^{*}: 国内の動向: 臨床試料を用いた安全性バイオマーカー探索と検証.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

^{*} 北里大学

斎藤嘉朗, 齊藤公亮, 前川京子: Metabolomicsの安全性バイオマーカー研究への応用.

第22回HAB研究機構学術年会 (2015.6)

Maekawa K, Matsuzawa Y, Adachi M^{*}, Kuroki R^{*}, Saito Y: Purification of cytochrome P450 2C9.1, 2C9.3 and 2C9.30 expressed in *E. coli* and their activities toward arachidonic acid in vitro.

19th ICCP450 2015 (2015.6)

^{*} Japan Atomic Energy Agency

齊藤公亮, 石川将己, 山田弘^{*}, 中津則之^{*}, 前川京子, 斎藤嘉朗: メタボロミクスを用いた薬物性肝線維化マーカーの探索.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

^{*} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

佐井君江, 中村亮介, 今任拓也, 岡本 (内田) 好海, 梶波康二^{*1}, 松永佳世子^{*2}, 相原道子^{*3}, 斎藤嘉朗: 重篤副作用発症における感染症併発の影響 — 横紋筋融解症及び重症薬疹の事例 —.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6.7)

^{*1} 金沢医科大学

^{*2} 藤田保健衛生大

^{*3} 横浜市立大学

鈴木慶幸^{*1}, 小松弘幸^{*1}, 門田利人^{*1}, 及川剛^{*2}, 田口景子^{*2}, 菅谷健^{*2}, 斎藤嘉朗, 前川京子, 清水茂一^{*1}: 各種薬剤性急性腎障害ラットにおける尿中L-FABPと他の尿中腎障害バイオマーカーの経時的変化.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6.7)

^{*1} (株) シミックバイオリサーチセンター

^{*2} シミックホールディングス (株)

佐井君江, 今任拓也, 斎藤嘉朗: 医療情報データベースを用いた行政施策の医療現場における反映・効果の評価. 医療薬学フォーラム2015 (2015.7)

斎藤嘉朗: 医薬品の開発時における新たな薬物相互作用ガイドラインの最終案について.

第158回日本獣医学会学術大会 (2015.9)

佐井君江, 梶波康二^{*}, 赤尾浩慶^{*}, 今任拓也, 松澤由美子, 前川京子, 斎藤嘉朗: 日本人スタチン誘因性筋障害発症と関連するHLA遺伝子型.

第22回日本免疫毒性学会学術年会 (2015.9)

^{*} 金沢医科大学

中村亮介, 岡本 (内田) 好海, 松澤由美子, 石井明子, 斎藤嘉朗: EXiLE法を用いたモデル抗原のIgEエピトープ解析.

第22回日本免疫毒性学会学術年会 (2015.9)

Takikawa H^{*}, Aiso M^{*}, Maekawa K: Recent status of DILI in Japan.

第23回日本消化器関連学会週間 (2015.10)

^{*} 帝京大学医学部

Takikawa H^{*1}, Aiso M^{*1}, Tanaka A^{*1}, JPDSC^{*2},
Maekawa K, Saito Y: A survey of drug-induced liver
injury (DILI) cases in Japan.
European Gastroenterology Week 2015 (2015.10)

^{*1} Teikyo University School of Medicine

^{*2} The Japan Pharmacogenomics Data Science
Consortium

斎藤嘉朗, 石井明子: バイオ医薬品が関与する薬物相互
作用の事例と評価.

日本薬物動態学会第30回年会 (2015.11)

Kajinami K^{*1}, Akao H^{*1}, Sai K, Maekawa K, JPDSC^{*2},
Saito Y: Asian-specific HLA Genotypes as Genetic
Background of Stain-related Myopathy in Japanese.
AHA2015 (2015.11)

^{*1} 金沢医科大学

^{*2} Japanese Pharmacogenomics Data Science
Consortium

佐井君江, 中村亮介, 斎藤嘉朗: 日本人における重篤副
作用の発症回避に向けたゲノムマーカー探索 - 重症薬
疹及び横紋筋融解症の事例 -.

第25回日本医療薬学会年会 (2015.11)

前川京子, 桶本和男, 嶽本和久, 豊島克子, 浦田政代,
村山真由子, 石川将己, 齊藤公亮, 熊谷雄治^{*}, 斎藤嘉
朗: 網羅的リポドミクス解析により明らかになった健常
日本人血漿中の脂質代謝物レベルに関する男女差及び年
齢差.

日本薬物動態学会第30回年会 (2015.11)

^{*} 北里大学

Saito K, Maekawa K, Kinchen J^{*1}, Kumagai Y^{*2},
Saito Y: Gender- and Age-associated differences in
serum metabolite profiles among Japanese healthy
populations.

日本薬物動態学会第30回年会 (2015.11)

^{*1} Metabolon, Inc.

^{*2} Kitasato University School of Medicine

佐井君江, 中村亮介, 今任拓也, 岡本 (内田) 好海, 梶
波康二^{*1}, 松永佳世子^{*2}, 相原道子^{*3}, 斎藤嘉朗: 重篤

副作用の発症・重篤性と感染症併発との関連— 横紋筋
融解症及び重症薬疹との比較 —.

第36回日本臨床薬理学会学術総会 (2015.12)

^{*1} 金沢医科大学

^{*2} 藤田保健衛生大学

^{*3} 横浜市立大学

斎藤嘉朗, 今任拓也, 伊藤幸子, 杉山永見子, 佐井君江:
東及び東南アジア諸国における薬物動態・薬力学関連遺
伝子多型の民族差.

第36回日本臨床薬理学会学術総会 (2015.12)

今任拓也, 佐井君江, 瀬川勝智, 木村通男^{*}, 堀雄史^{*},
川上純一^{*}, 斎藤嘉朗: 医療情報データベースを用いた
SSRIとスタチン系薬剤の併用による糖尿病リスクの検
討.

第36回日本臨床薬理学会学術総会 (2015.12)

^{*} 浜松医科大学

桶本和男, 前川京子, 田島陽子, 頭金正博^{*}, 斎藤嘉
朗: Cross-classification of human urinary lipidome by
gender, age, and body mass index.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会
BMB2015 (2015.12)

^{*} 名古屋市立大学薬学部

安達基泰^{*}, 黒木良太^{*}, 前川京子, 松澤由美子, 斎藤嘉朗:
ヒト由来薬物代謝酵素CYP2C9の一塩基置換体 (^{*3}及
び^{*30}) と抗高血圧薬ロサルタンとの複合体のX線結晶
構造解析.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会
BMB2015 (2015.12)

^{*} 日本原子力研究開発機構

齊藤公亮, 前川京子, Jason Kinchen^{*1}, 熊谷雄治^{*2},
斎藤嘉朗: 血清中代謝物レベルの人種差.

第36回日本臨床薬理学会学術総会 (2015.12)

^{*1} Metabolon, Inc.

^{*2} 北里大学

Nakamura R, Kaniwa N, Ueta M^{*1}, Okamoto-Uchida Y,
Sugiyama E, Maekawa K, Takahashi Y^{*2}, Furuya H^{*3},

Yagami A^{*4}, Matsukura S^{*5}, Ikezawa Z^{*5}, Matsunaga K^{*4}, Sotozono C^{*1}, Aihara M^{*5}, Kinoshita S^{*1}, Saito Y: Drugs and HLA types associated with Stevens-Johnson syndrome/toxic epidermal necrolysis with severe ocular surface involvements in Japanese patients.

1st International Stevens-Johnson Syndrome Symposium (2016.1)

^{*1} Kyoto Prefectural University of Medicine

^{*2} Shizuoka Institute of Epilepsy and Neurological Disorders

^{*3} Kochi Medical School

^{*4} Fujita Health University

^{*5} Yokohama City University

斎藤嘉朗, 佐井君江, 今任拓也, 頭金正博^{*1}, 渡邊裕司^{*2}: 日中韓台の添付文書構造と薬物動態・副作用情報の比較. 日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 名古屋市立大学

^{*2} 浜松医科大学

佐井君江, 今任拓也, 深澤ちさと^{*}, 日野村靖^{*}, 斎藤嘉朗: 副作用報告データベースを用いた感染症併発と重症薬疹および横紋筋融解症との関連解析.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 日本医療情報センター

市原麻由^{*}, 佐井君江, 平澤典保^{*}, 斎藤嘉朗: 副作用報告データベース (JADER) を用いたデノスマブの低カルシウム血症に対する行政施策の効果の解析.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 東北大学大学院薬学研究科

今任拓也, 佐井君江, 深澤ちさと^{*}, 日野村靖^{*}, 斎藤嘉朗: 副作用報告データベースを用いた感染症併発と薬物性肝障害および間質性肺疾患との関連解析.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 日本医療情報センター

前川京子, 松澤由美子, 斎藤嘉朗, 谷内田真一^{*}: 日本人乳がん患者の腫瘍部, 及び非がん部におけるオーファンプ450mRNA発現量と酸化脂肪酸代謝物レベル.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

^{*} (国研) 国立がん研究センター

宮下雪子^{*}, 上田哲也^{*}, 中村亮介, 斎藤嘉朗, 前川京子: 全自動遺伝子検査装置を使用した抗てんかん薬に対する重症薬疹発症関連SNP解析.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} プレシジョン・システム・サイエンス (株)

河原崎正貴^{*1}, 前川京子, 内尾こずえ^{*2}, 根本直^{*3}, 福岡秀興^{*4}, 斎藤嘉朗: 腎疾患モデルラットにおける血漿の脂質メタボローム解析.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} マルハニチロ(株)

^{*2} (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

^{*3} 産業技術総合研究所

^{*4} 早稲田大学

前川京子, 齊藤公亮, 桶本和男, 嶽本和久, 豊島克子, 石川将己, 田中理英子^{*}, 熊谷雄治^{*}, 斎藤嘉朗: 健康日本人, 白人及び黒人における血漿中の脂質代謝物レベルの相違.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*} 北里大学

Kadota T^{*1}, Suzuki Y^{*1}, Komatsu H^{*1}, Oikawa T^{*2}, Sugaya T^{*2}, Saito Y, Maekawa K: Comparison of Time Course of Urinary Liver-type Fatty Acid-Binding Protein (L-FABP) with Other Urinary Nephrotoxicity Biomarkers of Drug-induced Acute Kidney Injury in Rats.

The Society of Toxicology 55th Annual Meeting (2016.3)

^{*1} CMIC BIORESEARCH CENTER Co., Ltd.

^{*2} CMIC HOLDINGS Co., Ltd.

岡本 (内田) 好海, 中村亮介, 千貫祐子^{*1}, 若林翼^{*2}, 打田光宏^{*2}, 土屋敏行^{*2}, 斎藤嘉朗, 森田栄伸^{*1}: セルベーストアッセイによる牛肉アレルギー患者血清中IgEの糖鎖抗原への反応性の解析.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

^{*1} 島根大学

*² MeijiSeikaファルマ (株)

Hirabayashi Y, Yoon BI^{*1}, Tsuboi I^{*2}, Kanno J, Trosko JE^{*3}, Inoue T: Connexin 32 maintains stemness of hematopoiesis: Maintaining cell cycling ratio and reconstitution capability.

The 13th Annual meeting for the International Society for Stem Cell Research (ISSCR) (2015.6)

*¹ Kangwon National University

*² Nihon University

*³ Michigan State University

Kanno J: Construction of "Dynamic Biomarkers" by Percellome Toxicology based on a new Concept of "Signal Toxicity".

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX 2015) (2015.6)

菅野純, 高橋祐次, 高木篤也, 小川幸男, 広瀬明彦, 石丸直澄^{*1}, 今井田克己^{*2}: Taquann 直噴全身暴露吸入法によるナノマテリアル有害性評価.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

*¹ 徳島大学

*² 香川大学

津田洋幸*, 徐結苟*, 酒々井真澄*, 二口充*, 深町勝巳*, 広瀬明彦, 菅野純: 多種のカーボンナノチューブの短・中期安全性評価手法の提案.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

* 名古屋市立大学

北嶋聡, 種村健太郎*, 菅野純: 医療現場への還元に向けたPercellome Toxicogenomicsによる中枢神経毒性の動的バイオマーカー抽出研究.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

* 東北大学

北嶋聡, 種村健太郎^{*1}, 古川佑介, 小川幸男, 高橋祐次, 大西誠^{*2}, 相磯成敏^{*2}, 相崎健一, 菅野純: シックハウス症候群レベルの極低濃度暴露の際の海馬におけるPercellome法による吸入トキシコゲノミクスと遅発性中枢影響解析.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

*¹ 東北大学

*² 日本バイオアッセイ研究センター

Tsuda H*, Jiegou Xu*, David B Alexander*, William T Alexander*, Numano T*, Suzui M*, Kanno J, Hirose A: Involvement of macrophage in inducing proliferative and neoplastic lesion development of the pleura of rats intrapulmonary treated with multi-walled carbon nanotubes.

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX 2015) (2015.6)

* Nagoya City University

Taquahashi Y, Takagi A, Tsuji M, Morita K, Ogawa Y, Kanno J: Development of High Dispersion-Small Scale Whole Body Inhalation System for Nanomaterials (Taquann System): Application to Multi-wall Carbon Nanotube.

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX 2015) (2015.6)

Kitajima S, Aisaki K, Kanno J: Dynamic biomarkers translatable to clinical outcomes generated by Percellome Toxicogenomics.

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (ASIATOX 2015) (2015.6)

菅野純, 相崎健一, 北嶋聡: Percellome Toxicogenomicsにおける動的バイオマーカー (Dynamic Biomarker) のカタログ化とその毒性予測利用.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.7)

平林容子, 壺井功^{*1}, 五十嵐勝秀^{*2}, 菅野純, 楠洋一郎^{*3}: 放射線障害の未分化造血幹・前駆細胞に局限した照射週齢に依存しない遷延性変化とその加齢影響: 細胞動態と遺伝子発現プロファイル.

第42回日本毒性学会 (2015.7)

*¹ 日本大学

*² 星薬科大学

*³ 放射線影響研究所

菅野純, 種村健太郎*: ヒトの急性中毒症状を動物実験で再現できるかー有機リン剤等曝露後の遅発性毒性の発現実験よりー.

第37回日本中毒学会総会・学術集会 (2015.7)

* 東北大学

菅野純：シグナル毒性の概念の、内分泌かく乱化学物質問題や関連する「低用量，早期暴露-遅発影響」型の毒性の研究計画への導入について。

環境省平成27年度化学物質の内分泌かく乱作用に関する公開セミナー (EXTEND2010) (2015.8)

Kanno J, Kitajima S, Aisaki K: Percellome Toxicogenomics for Mechanistic Analysis Towards Chronic Toxicity by a Newly Designed Repeated Dose Study.

51st Congress of the European Societies of Toxicology (EUROTOX2015) (2015.9)

平林容子，壺井功^{*1}，菅野純，楠陽一郎^{*2}：若齢期単回照射後に長期に遺残する マウス造血幹細胞分画の倍加時間の延長。

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

*¹ 日本大学*² 放射線影響研究所

平林容子，壺井功^{*1}，尹秉一^{*2}，菅野純，相澤信^{*1}：Role of connexin 32 in hematopoiesis: maintenance of the capability to reconstitute the bone marrow.

第77回日本血液学会総会 (2015.10)

*¹ 日本大学*² 江原大学

原田智紀^{*}，壺井功^{*}，平林容子，平林幸生^{*}，菅野純，相澤信^{*}：Mechanism for sustaining polycythemia in mice under hypoxic condition.

第77回日本血液学会総会 (2015.10)

* 日本大学

Kanno J: Important attributes of nanomaterials in predicting their long-term effects: In vivo studies.

7th International Symposium on Nanotechnology, Occupational and Environmental Health (NanOEH 2015) (2015.10)

Kanno J, Kitajima S, Tanemura K, Aisaki K: "Signal

Toxicity" to study Endocrine Disruptors Issues and Children's Toxicology, and to make molecular-based linkage with Classical Toxicology.

2nd Malaysian Congress of Toxicology (MyCOT2015) (2015.10)

Kanno J: Percellome Toxicogenomics Project.

9th Congress of Toxicology in Developing Countries (CTDC9) (2015.11)

Kanno J: Introduction of Percellome Project with special reference to the concept of "signal toxicity".

ECETOC Workshop "The Role of Epigenetics in Reproductive Toxicity" (2015.11)

Kanno J: The concept of "repeated exposure" and possible links to epigenetic regulations-with repeated dose studies introducing baseline responses and transient responses with possible link to epigenetics.

ECETOC Workshop "The Role of Epigenetics in Reproductive Toxicity" (2015.11)

Kanno J, Kitajima S, Tanemura K*: The Concept of "Signal Toxicity" for the Planning of Research on Endocrine Disrupting Chemicals Issues.

The 63rd NIBB Conference "Environment to Bioresponse" (2015.12)

* Tohoku University

平林容子，壺井功^{*1}，五十嵐勝秀^{*2}，菅野純，楠陽一郎^{*3}：マウス造血幹・前駆細胞に局限して長期に遺残する放射線の遷延効果と加齢表徴：造血幹細胞分画の倍加時間の延長。

BMB2015 (第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会 合同大会) (2015.12)

*¹ 日本大学*² 星薬科大学*³ 放射線影響研究所

Takahashi Y, Yasuhiko Y, Koike-Ikeno E, Kanno J: Rab23, a negative regulator of Shh signaling, modulates intervertebral disc/vertebral body (IVD/VB) patterning and neural arch morphogenesis in mouse vertebral column formation.

第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会

合同大会 (2015.12)

Okubo Y, Ohtake F, Igarashi K^{*1}, Yasuhiko Y, Saga Y^{*2}, Kanno J: Cleaved Dll1 intracellular domain fine-tunes DRG development as the reverse signal of Notch.

第38回日本分子生物学会年会・第88回日本生化学会大会
合同大会 (2015.12)

^{*1} Hoshi University

^{*2} National Institute of Genetics

菅野純: OECD EDTA-AG/EAGMST におけるAOPと、
Toxicogenomic応用の試み。

環境ホルモン学会第18回研究発表会 (2015.12)

種村健太郎*, 古川祐介, 斉藤洋克*, 白形芳樹*, 原健
士朗*, 北嶋聡, 菅野純: 幼若期マウスへのネオニコチ
ノイド系農薬投与による神経行動毒性発現。

第18回環境ホルモン学会研究発表会 (2015.12)

* 東北大学

菅野純: 代替試験法の問題点と今後の方向性 -毒性学的
観点からの考察-

日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

菅野純: 複合影響の考え方-マウンテン・オブ・ハビネ
スから「ホルミシス」まで-

化学物質の安全管理に関するシンポジウム-複数化学物
質のリスク評価- (2016.2)

Hirabayashi Y, Tsuboi I^{*1}, Kuramoto K^{*2}, Kusunoki
Y^{*3}: Deceleration of cell cycle of primitive
hematopoietic progenitors (CFU-S13) from senescent
mice at steady state was reactively accelerated after
2-Gy whole-body irradiation.

Society of Toxicology 55th Annual Meeting &
ToxExpo (2016.3)

^{*1} Nihon University

^{*2} Tokyo Metropolitan Institute of Gerontology

^{*3} Radiation Effects Research Foundation

Kanno J: Percellome Project for Mechanistic Analysis
of Chronic Toxicity by a New Concept of Repeated
Dose Study.

Society of Toxicology 55th Annual Meeting (2016.3)

Sekino Y: Regulatory Science on the Application of
Human-iPSC Derived Cardiomyocytes to the Safety
Pharmacology.

2015 International WIC Institute Workshop on Brain
Big Data Based Wisdom Service (2015.12)

Sekino Y: Current Situation and Future Plan in Japan
iPS Cardiac Safety Assessment (J-iCSA).

15th Annual Meeting of the Safety Pharmacology
Society (2015.10)

Sekino Y: Regulatory and safety pharmacology in
Japan.

4th International Workshop (CSPS) China Safety
Pharmacology Society (2015.5)

関野祐子: 次世代の医薬品安全性評価法の確立と公定化
へのプロセス。

iPS細胞を用いた疾患・創薬研究 (2015.12)

関野祐子: ヒトiPS由来分化心筋細胞と安全性薬理の最
新動向。

安全性評価研究会2015年冬のセミナー (2015.11)

関野祐子: 医薬品安全評価の国際ルールのイニシアテ
ィブ。

第3回JMACシンポジウム (2015.11)

関野祐子: iPSC由来心筋細胞を用いた安全性評価試験
法の公定化に向けての世界的連携。

第5回レギュラトリーサイエンス学会学術大会 (2015.9)

関野祐子: 薬理部の研究紹介とヒトiPSC由来分化細胞
を使った最新の安全性スクリーニング。

第35回ヒューマンサイエンス基礎研究講習会 (2015.9)

関野祐子: ヒトiPS細胞の分化技術進歩と医薬品安全性
評価試験法ガイドライン改訂。

平成27年度国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム
(2015.7)

関野祐子: ヒトiPS細胞由来分化細胞の医薬品安全性
評価法への活用と国際協調の動き。

医療薬学フォーラム2015/第23回クリニカルファーマ
シーシンポジウム (2015.7)

関野祐子, 諫田泰成: ヒトiPS心筋細胞を利用した催不

整脈リスク強化とICH57B改訂に関する国際動向について。

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

Shirao T*, Koganezawa N*, Ishizuka Y*, Yamazaki H*, Sekino Y: Toxic Effects of Astemizole on Neurite Growth and Synaptogenesis of CNS Neurons.

55th Annual Meeting of Society for Toxicology (2016.3)

* Gunma University

Yoshida S*¹, Hozumi N*¹, Fueta Y*², Ueno S*², Sekino Y: Prenatal Administration of Valproic Acid Alters Both the Purkinje Cell Dendrites and the Granule Cell Proliferation in Rat Developing Cerebellum.

55th Annual Meeting of Society for Toxicology (2016.3)

*¹ Toyohashi University of Technology

*² University of Occupation and Environmental Health

Fueta Y*¹, Sekino Y, Yoshida S*², Ueno S*¹: Prenatal Single Administration of Tributyltin Alters Developmental Transient of Spontaneous Behaviors and Basic Excitability in the Hippocampal Slices of Immature Rats.

55th Annual Meeting of Society for Toxicology (2016.3)

*¹ University of Occupation and Environmental Health

*² Toyohashi University of Technology

吉田祥子*¹, 笛田由紀子*², 上野晋*², 関野祐子: Prenatal administration of valproic acid or SAHA alters the development of Purkinje cell dendrites and network formation in rat cerebellum.

第58回日本神経化学会大会 (2015.9)

*¹ 豊橋技術科学大学

*² 産業医科大学

笛田由紀子*¹, 関野祐子, 吉田祥子*², 上野晋*¹: Prenatal administration of valproic acid or tributyltin alters developmental transient of hippocampal excitability in juvenile rats.

第58回日本神経化学会大会 (2015.9)

*¹ 産業医科大学

*² 豊橋技術科学大学

関野祐子: Pioneer discovery of the CA2 function in the hippocampus.

第58回日本神経化学会大会 (2015.9)

Sato K, Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Sekino Y: Microglia have roles in both of maturation and break down of the barrier function of blood brain barrier.

GLIA2015 (2015.7)

Koganezawa N*, Ohara Y*, Yamazaki H*, Roppongi RT*, Sato K, Sekino Y, Shirao T*: Slow axonal growth of human iPSC-derived neurons.

International Society for Neurochemistry 2015 (2015.8)

* Gunma University

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa Y, Sekino Y, Sato K: Microglia affect blood-brain barrier function via cytokines and chemokines release.

第38回日本神経科学大会 (2015.8)

Takahashi K, Irie T, Sekino Y, Sato K: Study about the mechanisms for the regulation of glial excitatory amino-acid transporter EAAT2 function by docosahexanoic acid.

第38回日本神経科学大会 (2015.8)

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Ikegaya Y*¹, Koyama R*¹, Miyamoto N*², Shirao T*³, Sekino Y: iPSC Non-Clinical Experiments for Nervous System (iNCENS): A research project for developing new in vitro safety pharmacological evaluation systems using human-induced pluripotent stem cells.

第38回日本神経科学大会 (2015.8)

*¹ University of Tokyo

*² Eisai Co. Ltd

*³ Gunma University

Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa K, Sekino Y, Sato K: Microglia regulate the cytokine/chemokine dynamics in the brain and enhance the functional maturation of blood-brain barrier.

第58回日本神経化学会大会 (2015.9)

Sato K, Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Shimizu H, Ikegaya Y*¹, Koyama R*¹, Hiragi T*¹, Miyamoto N*²,

Shirao T^{*3}, Sekino Y: iPSC Non-Clinical Experiments for Nervous System (iNCENS): A project to establish the CNS safety pharmacological evaluation of the risks of cognitive impairment and epilepsy by in vitro use of human-induced pluripotent stem cell-derived neurons. 15th Annual Meeting of the Safety Pharmacology Society (2015.9)

*¹ University of Tokyo

*² Eisai Co. Ltd

*³ Gunma University

Hoshikawa K, Takahashi K, Irie T, Sekino Y, Sato K: Study about the mechanisms of DHA-induced enhancement of glial excitatory amino-acid transporter EAAT2 function.

第58回日本神経化学会大会 (2015.9)

Sato K: iPSC Non-Clinical Experiments for Nervous System (iNCENS) project-An attempt to evolve the CNS safety pharmacological evaluation by in vitro use of human-induced pluripotent stem cell-derived neurons.

第58回日本神経化学会大会 iNCENS/JSN joint symposium 'Progress in the CNS non-clinical study achieved by iPS technique' (2015.9)

佐藤薫, 清水英雄, 小針彩奈^{*1}, 花村健次^{*2}, 白尾智明^{*2}, 田辺光男^{*1}, 関野祐子: 神経細胞の微細構造イメージングに基づく中枢神経系有害反応 in vitro 評価系の開発. 第24回日本バイオイメージング学会学術集会 (2015.9)

*¹ 北里大学

*² 群馬大学

Takahashi K, Shigemoto-Mogami Y, Shimizu H, Chujo K, Hoshikawa K, Okada Y^{*1}, Okano H^{*2}, Sekino Y, Sato K: Comparison of the NMDA receptor expression and the extent of excitotoxicity in human induced pluripotent stem cell (hiPSC)-derived neurons.

CBI 学会2015年大会 (2015.10)

*¹ 愛知医科大学

*² 慶應大学

Shigemoto-Mogami Y, Sato K, Hoshikawa K, Kikura-Hanajiri R, Hakamatsuka T, Sekino Y: Evaluation of

drug-induced CB2 cannabinoid receptor activity in the CNS using the ERK1/2 phosphorylation pathway of microglial cells.

CBI学会2015年大会 (2015.10)

Sato K, Shigemoto-Mogami Y, Hoshikawa Y, Sekino Y: Microglia affect functional maturation and inflammation-induced breakdown of the blood brain barrier by modulating the dynamics of cytokines and chemokines.

Society for Neuroscience 2015 (2015.10)

高橋華奈子, 重本-最上由香里, 清水英雄, 中條かおり, 干川和枝, 岡田洋平^{*1}, 岡野栄之^{*2}, 関野祐子, 佐藤薫: ヒトiPS細胞由来神経細胞標本の機能的NMDA受容体発現とグルタミン酸興奮毒性発現の株間比較.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 愛知医科大学

*² 慶應大学

佐藤薫, 高橋華奈子, 重本-最上由香里, 清水英雄, 池谷裕二^{*1}, 小山隆太^{*1}, 平木俊光^{*1}, 宮本憲優^{*2}, 花村健二^{*3}, 小金澤紀子^{*3}, 白尾智明^{*3}, 関野祐子: iNCENS (iPSC Non-Clinical Experiments for Nervous System) プロジェクトーヒトiPS 細胞由来神経細胞を用いた認知機能障害リスクおよび神経異常活動リスク予測評価系確立の試み.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

*¹ 東京大学

*² エーザイ (株)

*³ 群馬大学

重本-最上由香里, 片倉明日美*, 長谷川陽介*, 関野祐子, 田辺光男*, 佐藤薫: 神経幹細胞塊から機能的神経細胞を効率的に分化誘導するプロトコルの検討と分化に伴う機能的受容体分布変化.

日本薬学会第136年会 (2016.3)

* 北里大学

佐藤薫: ミクログリアの中枢神経系発達機能とその創薬・治療への応用.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

林真理子*, 安井正人*, 佐藤薫: グルタミン酸トラン

スポーツターの局在制御とヒアルロン酸.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

* 慶應大学

清水英雄, 小針彩奈^{*1}, 須知由未子^{*1}, 花村健次^{*2}, 白尾智明^{*2}, 田辺光男^{*1}, 関野祐子, 佐藤薫: シナプスイメージングに基づく中枢神経系有害反応のin vitro評価のための新規パラメータ確立の試み.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

^{*1} 北里大学

^{*2} 群馬大学

重本-最上由香里, 干川和枝, 関野祐子, 佐藤薫: 活性化型ミクログリアが引き起こす血液脳関門のバリア崩壊過程におけるサイトカイン・ケモカイン動態の解析.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

高橋華奈子, 笠原のぞみ*, 小原悠*, 高瀬将弘*, 中條かおり, 関野祐子, 田辺光男*, 佐藤薫: Neurosphere維持期間が神経分化に及ぼす影響.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

* 北里大学

Hirata N, Demizu Y, Kurihara M, Sekino Y, Kanda Y: Estrogen induces proliferation of breast cancer stem cells via NO/sGC/cGMP signaling pathway.

第13回幹細胞シンポジウム (2015.5)

黒川洵子^{*1}, 芦原貴司^{*2}, 諫田泰成, 古川哲史^{*1}: ペーシング可能なヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いたQT延長薬剤の作用解析.

第10回トランスポーター研究会年会 (2015.6)

^{*1} 東京医科歯科大学

^{*2} 滋賀医科大学

諫田泰成: エストロゲンによる NO シグナルを介した乳癌幹細胞の増殖機構.

生命科学研究会 (2015.6)

山田茂, 古武弥一郎*, 中野瑞穂, 関野祐子, 諫田泰成: ミトコンドリア品質管理に対するトリブチルスズの影響.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.7)

* 広島大学

石田慶士^{*1}, 古武弥一郎^{*1}, 青木香織^{*1}, 瀧下智子^{*1}, 木村朋紀^{*2}, 諫田泰成, 太田茂^{*1}: 有機スズ神経毒性に關与する核呼吸因子-1(NRF-1)阻害機構の解明.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.7)

^{*1} 広島大学

^{*2} 摂南大学

平田尚也, 山田茂, 出水庸介, 栗原正明, 関野祐子, 諫田泰成: エストロゲンによるNOを介した乳癌幹細胞の増殖機構.

第132回日本薬理学会関東部会 (2015.7)

芦原貴司^{*1}, 黒川洵子^{*2}, 諫田泰成, 関野祐子, 原口亮^{*3}, 稲田慎^{*3}, 中沢一雄^{*3}, 堀江稔^{*1}: In SilicoヒトiPS細胞由来心筋細胞の構築と不整脈研究への応用可能性.

第51回日本小児循環器学会総会 (2015.7)

^{*1} 滋賀医科大学

^{*2} 東京医科歯科大学

^{*3} 国立循環器病研究センター

諫田泰成: 化学物質のin vitro 発達神経毒性評価に向けた取り組み.

第34回生体と金属・化学物質に関する研究会 (チョークトーク2015) (2015.8)

黒川洵子*, 諫田泰成, 古川哲史*: ヒトが創った心臓: iPS細胞から大人の心筋細胞を創る秘蔵のレシピ公開. 生体機能と創薬シンポジウム2015 (2015.8)

* 東京医科歯科大学

児玉昌美^{*1}, 李敏^{*1}, 芦原貴司^{*2}, 諫田泰成, 関野祐子, 古川哲史^{*1}, 黒川洵子^{*1}: ヒトカリウムチャンネル遺伝子導入によるヒトiPS細胞由来心筋細胞の成熟化のメカニズム-発現レベルからの考察-

生体機能と創薬シンポジウム2015 (2015.8)

^{*1} 東京医科歯科大学

^{*2} 滋賀医科大学

石田慶士^{*1}, 古武弥一郎^{*1}, 青木香織^{*1}, 瀧下智子^{*1}, 木村朋紀^{*2}, 諫田泰成, 太田茂^{*1}: 低濃度トリブチルスズ

ズによるニューロン脆弱化機構の解明.

第10回メタルバイオサイエンス研究会 (2015.8)

*¹ 広島大学

*² 摂南大学

山田茂, 古武弥一郎*, 関野祐子, 諫田泰成: ミトコンドリア品質管理に対するトリプチルスズの新たな毒性作用.

第58回日本神経化学会 (2015.9)

* 広島大学

麻薙美紀, 山田茂, 古武弥一郎, 板垣宏, 関野祐子, 諫田泰成: ヒト未分化細胞を用いた化学物質の毒性評価. フォーラム2015衛生薬学・環境トキシコロジー (2015.9)

諫田泰成: ヒトiPS細胞を利用した医薬品の心臓安全性評価系の開発と国際標準化.

安全性評価研究会・夏のフォーラム2015 (2015.9)

平田尚也, 諫田泰成: 前立腺癌幹細胞に対するスフィンゴシン1リン酸の機能.

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

平田尚也, 関野祐子, 諫田泰成: スフィンゴシン1リン酸によるNotch3を介したグリオーマ幹細胞の増殖.

第133回日本薬理学会関東部会 (2015.10)

山田茂, 関野祐子, 諫田泰成: ミトコンドリア品質低下を介した有機スズの新規毒性メカニズム.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会 BMB2015 (2015.12)

諫田泰成: ヒト未分化細胞のエネルギー代謝に基づく環境ホルモンの毒性評価.

第18回環境ホルモン学会シンポジウム (2015.12)

諫田泰成: GPCRによるリガンド非依存的なNotchシグナルの活性化機構.

第38回分子生物学会年会・第88回生化学会大会合同大会 BMB2015 (2015.12)

山崎大樹, 安藤博之^{*1}, 吉永貴史^{*2}, 山本渉^{*3}, 朝倉圭一^{*4}, 谷口智彦^{*2}, 宇田宗晃^{*1}, 諫田泰成, 長田智治^{*5}, 林誠治^{*4}, 宮本憲優^{*2}, 葛西智恵子^{*6}, 田洪弘行^{*7}, 犬塚隆志^{*8}, 杉山篤^{*9}, 澤田光平^{*2}, 関野祐子: ヒト

iPS細胞由来分化心筋細胞を用いたTdPリスク評価 - JiCSA60化合物を用いて - .

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

*¹ JiCSA, 小野薬品工業 (株)

*² JiCSA, エーザイ (株)

*³ JiCSA, 帝人ファーマ

*⁴ JiCSA, 日本新薬 (株)

*⁵ JiCSA, LSIメディエンス

*⁶ JiCSA, アステラス製薬

*⁷ JiCSA, イナリサーチ

*⁸ (一社) 日本薬理評価機構

*⁹ 東邦大学

山田茂, 麻薙美紀*, 平田尚也, 板垣宏*, 関野祐子, 諫田泰成: ヒトiPS細胞のミトコンドリアダイナミクスを用いた細胞毒性評価.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

* 横浜国立大学

麻薙美紀*, 山田茂, 平田尚也, 板垣宏*, 関野祐子, 諫田泰成: ヒト未分化細胞を用いた発達神経毒性評価の試み.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

* 横浜国立大学

木村麗子^{*1}, 児玉昌美^{*1}, 古谷和春^{*2}, 諫田泰成, 倉智嘉久^{*2}, 関野祐子, 古川哲史^{*1}, 黒川洵子^{*1}: ヒトiPS細胞由来心筋の活動電位形成に関連する遺伝子の定量的発現解析におけるリファレンス遺伝子の選定.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

*¹ 東京医科歯科大学

*² 大阪大学

林英里奈^{*1}, 木村麗子^{*1}, 李敏^{*1}, 安藤朋子^{*1}, 芦原貴司^{*2}, 関野祐子, 古川哲史^{*1}, 諫田泰成, 黒川洵子^{*1}: 内向き整流性カリウムチャンネルを過剰発現させたヒト iPS 由来心筋細胞を用いた薬理作用解析.

第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

*¹ 東京医科歯科大学

*² 滋賀医科大学

井出吉紀, 小林真里子, 山崎大樹, 諫田泰成, 関野祐子:

ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた新しい安全性薬理試験法：膜電位感受性色素イメージング (VSO) と多点電極 (MEA) の同時計測による検証実験。
第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

平田尚也, 関野祐子, 諫田泰成：リゾフォスファチジン酸はトリプルネガティブ乳癌幹細胞の増殖を誘導する。
第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

久保祐亮, 山田茂, 犬塚隆志*, 諫田泰成, 関野祐子：創薬応用を目指したヒトiPS細胞からGABA作動性神経細胞への効率的な分化誘導法の確立。
第15回日本再生医療学会総会 (2016.3)

* (一社) 日本薬理評価機構

諫田泰成：リゾリン脂質による乳癌幹細胞の増殖制御と創薬応用。
第136回日本薬学会シンポジウム (2016.3)

諫田泰成：ヒトiPS細胞技術を用いた次世代心臓安全性評価: JiCSAの取り組み。
第89回日本薬理学会年会 (2016.3)

井出吉紀, 市川道教*, 小林真里子, 坪倉健司*, 山崎大樹, 諫田泰成, 関野祐子：ヒトiPS細胞由来心筋細胞を用いた安全性評価のための無染色イメージング技術の開発。
第93回日本生理学会大会 (2016.3)

* ブレインビジョン (株)

Ashihara T^{*1}, Kurokawa J^{*2}, Kanda Y, Haraguchi R^{*3}, Nakazawa K^{*3}, Horie M^{*1}: Spiral wave behaviors and antiarrhythmic drug efficacy in human induced pluripotent stem cell-derived myocardial sheet are different from those in original heart: A simulation study.
Heart Rhythm 2015 Scientific Sessions (2015.5)

*1 滋賀医科大学

*2 東京医科歯科大学

*3 国立循環器病研究センター

Kanda Y: S1P induces proliferation of cancer stem cells via a ligand-independent Notch activation.
FASEB Summer research conference (2015.8)

Kanda Y, Li M^{*1}, Ashihara T^{*2}, Sekino Y, Furukawa T^{*1}, Kurokawa J^{*1}: Assessment of drug-induced QT prolongation using human iPS cell-derived mature cardiomyocytes.

15th Annual Meeting of the Safety Pharmacology Society (2015.9)

*1 東京医科歯科大学

*2 滋賀医科大学

Kanda Y, Yamada Y, Sekino Y: Toxicity Assessment by Mitochondrial Dynamics in Human iPS Cells.
55th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2016.3)

山崎大樹：血管平滑筋の小胞体カウンターイオンチャンネルを介した血圧調節機構。
第57回日本平滑筋学会総会 (2015.8)

山崎大樹, 張願書^{*1}, 駒崎伸二^{*2}, 竹内綾子^{*3}, 王朝弘^{*1}, 趙成珠^{*1}, Ki Ho Park^{*4}, 西美幸^{*1}, 松岡達^{*3}, Jianjie Ma^{*4}, 竹島浩^{*1}: TRIC-A欠損によるイソプロテレノール誘発性心臓線維化。
生理学研究所研究会2015心臓・血管系の包括的な機能統合研究 (2015.10)

*1 京都大学

*2 埼玉医科大学

*3 福井大学

*4 Ohio State University

Yamazaki D, Takeuchi A^{*1}, Zhao C^{*2}, Nishi M^{*2}, Matsuoka S^{*1}, Takeshima H^{*2}: Beta-adrenergic stimulation induced cardiac fibrosis in Tric-a-knockout mice.
第93回日本生理学会大会 (2016.3)

*1 Fukui University

*2 Kyoto University

Lin P^{*1}, Cai C^{*1}, Zhu H^{*1}, Ko JK^{*1}, Hwang M^{*1}, Pan Z^{*1}, Tan T^{*1}, Yamazaki D, Takeshima H^{*2}, Korichneva I^{*1}, Ma J^{*1}: Zinc binding to MG53 facilitates repair of injury to cell membrane.
60th Biophysical Society Annual Meeting (2016.2)

*1 Ohio State University

*² Kyoto University

Zhao C^{*1}, Qian N^{*1}, Ichimura A^{*1}, Yamazaki D, Asagiri M^{*1}, Yamamoto K^{*1}, Komazaki S^{*2}, Nishi M^{*1}, Takeshima H^{*1}: Compromised collagen production in Tric-b-knockout osteoblast.

60th Biophysical Society Annual Meeting (2016.2)

*¹ Kyoto University

*² Saitama Medical University

石田誠一：肝細胞を用いたin vitro毒性試験法開発の取り組み.

日本化学会第96春季年会 (2016.3)

Ishida S, Horiuchi S, Kuroda Y, Ishida R, Uchida S, Kim SR, Sekino Y: Evaluation of applicability of human iPS cell-derived hepatocyte to the safety test of chemical compound or drug.

CiRA / ISSCR International Symposium 2016 (2016.3)

石田誠一：肝実質細胞前駆細胞HepaRGと星細胞の共培養による生体を模倣したin vitro培養系構築.

日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

Ishida S, Horiuchi S, Kuroda Y, Ishida R, Uchida S, Kim SR, Sekino Y: Evaluation of drug metabolism activities in human iPS cell-derived hepatocytes.

第30回日本薬物動態学会年会 (2015.11)

石田誠一, 堀内新一郎, 原詳子^{*1}, 黒田幸恵, 内田翔子, 石田里穂, 金秀良, 松浦知和^{*2}, 小嶋聡一^{*1}, 関野祐子: VECELL培養器による培養の星細胞への脱活性化効果.

第29回肝臓洞壁細胞研究会学術集会 (2015.10)

*¹ 理化学研究所

*² 東京慈恵医科大学

Ishida S, Horiuchi S, Kubo T^{*}, Kuroda Y, Ishida R, Uchida S, Kim SR, Sekino Y: Evaluation of applicability of Human iPS cell-derived Hepatocyte to Pharmacokinetic Studies.

CBI学会2015年大会 (2015.10)

* 国立がんセンター

石田誠一：細胞を用いた薬物安全性評価.

細胞アッセイ研究会第3回討論会 (2015.9)

Ishida S: Contribution of Human iPS Cell-derived Hepatocytes to Drug Safety.

iForum 2015 (2015.9)

石田誠一：iPS細胞由来の肝細胞などを用いた医薬品の安全性に関わるスクリーニングとデータの扱い.

JASIS2015 (2015.9)

石田誠一：iPS細胞由来肝細胞の現状とその薬物安全性評価への応用の可能性.

TaKaRa Gene & Cell Academy Symposium (2015.7)

石田誠一, 堀内新一郎, 黒田幸恵, 石田里穂, 内田翔子, 関野祐子：市販ヒトiPSC細胞由来肝細胞の薬物代謝能と毒性応答の評価報告.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

石田誠一, 黒田幸恵, 石田里穂, 内田翔子, 児玉亮^{*}, 金秀良, 堀内新一郎, 関野祐子：酸素透過性VECELL 96 wellプレートをを用いた薬物性肝障害評価系の検討.

第22回HAB研究機構学術年会 (2015.6)

* ベセル (株)

石田誠一：ヒトiPS細胞の創薬応用への期待と動き.

第22回HAB研究機構学術年会 (2015.6)

宇佐見誠, 高松美奈^{*1}, 風間崇吾^{*1}, 満長克祥^{*2}, 入江智彦, 宮島敦子, 土井守^{*3}：化学物質が培養ラット神経堤細胞の増殖に及ぼす影響に関する研究.

第55回日本先天異常学会学術集会・第38回日本小児遺伝学会学術集会 (2015.7)

*¹ 麻布大学

*² 東邦大学

*³ 岐阜大学

Toyoda T, Cho YM, Akagi J, Mizuta Y, Ogawa K: Expression of γ H2AX as a biomarker of genotoxic carcinogen in the urinary bladder of rats.

American Association for Cancer Research Annual Meeting 2015 (2015.4)

曹永晩, 水田保子, 豊田武士, 赤木純一, 平田直, 鈴木勇, 小川久美子：F344ラットにおける硫酸アルミニウ

ムカリウムの90日間反復投与毒性試験及びクエン酸共投与の影響.

日本食品化学学会第21回総会・学術大会 (2015.5)

Ogawa K: Pathology and molecular carcinogenesis: Histopathological analysis of molecular mechanism in the urinary bladder carcinogenesis for toxicological evaluation.

ASIATOX 2015 (2015.6)

Cho YM, Mizuta Y, Toyoda T, Akagi J, Hirata T, Suzuki I, Ogawa K: A 13-week subchronic toxicity study of aluminum potassium sulfate and co-administration of sodium citrate in F344 rats.

ASIATOX 2015 (2015.6)

桑田和倫, 井上薫, 高橋美和, 市村亮平, 森川朋美, 児玉幸夫, 吉田緑: Acifluorfen誘発肝障害へのCARの関与. 第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

曹永晩, 水田保子, 豊田武士, 赤木純一, 平田直, 安達玲子, 木村美恵, 最上(西巻)知子, 小川久美子: ナノ銀の経皮曝露によるアジュバント作用のマウスモデル実験系を用いた検討.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

高橋美和, 市村亮平, 井上薫, 森川朋美, 渡辺元*, 吉田緑: 17 α -ethynylestradiol (EE) 新生児期曝露による発達期視床下部のkiss1発現低下.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

* 東京農工大学

豊田武士, 曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 平田直, 西川秋佳, 小川久美子: DNA二重鎖切断マーカー (γ H2AX) を指標とした遺伝毒性膀胱発がん物質の早期検出.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

平田直, 曹永晩, 豊田武士, 赤木純一, 鈴木勇, 西川秋佳, 小川久美子: p53^{-/-} *gpt* deltaマウスにおける1,2-dichloropropane及びdichloromethaneの強制経口投与による*in vivo*変異原性試験.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

土屋卓磨, 石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 横尾諭, 小川久美子, 梅村隆志: 酸化ストレス産生物質の複合投与による酸化的DNA損傷並びに遺伝子突然変異への加算

効果.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

田崎雅子, 黒岩有一, 井上知紀, 日比大介, 松下幸平, 石井雄二, 能美健彦, 西川秋佳, 梅村隆志: 異なる経路で酸化ストレスを発生する非遺伝毒性肝発がん物質によるp53遺伝子欠損*gpt* deltaマウス肝DNA中の酸化的DNA損傷と*in vivo*変異原性.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 横尾諭, 土屋卓磨, 児玉幸夫, 小川久美子, 梅村隆志: 腎発がん剤ニトロフランチインの遺伝毒性発現機序における酸化ストレスの関与.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

代田真理子*, 吉田緑: 幼若動物を用いた毒性評価において認識すべき発達期の繁殖生物学の特徴.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

* 麻布大学

梅村隆志: *gpt* deltaラットを用いた中期発がん評価系の開発.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

野村幸世*, 豊田武士, 長田梨比人*, 市田晃彦*, 大津洋*, 石橋祐子*, 愛甲丞*, 菅原寧彦*, 國土典弘*, 瀬戸泰之*: 胃癌, 膵癌, 乳がん早期発見バイオマーカーとしての血清TFF3の起源とその上昇機序の解明.

第70回日本消化器外科学会総会 (2015.7)

* 東京大学

吉田緑, 小川久美子, 西川秋佳: エストロゲン類臨界期曝露による生殖内分泌機能の遅発影響の主原因としての視床下部キスペプチンニューロンの部位特異的变化.

第30回発癌病理研究会 (2015.8)

小川久美子, 高須伸二: 未規制難燃剤の毒性評価. 環境科学会2015年会 (2015.9)

Takasu S, Ishii Y, Kijima A, Yokoo Y, Tsuchiya T, Nohmi T, Nishikawa A, Umemura T: The effects of a high-fat diet on *in vivo* mutagenicity induced by heterocyclic amines in the colon of *gpt* delta rats.

51st Congress of the European Societies of Toxicology

(2015.9)

Ishii Y, Kuroda K, Takasu S, Yokoo Y, Tsuchiya T, Kijima A, Nohmi T, Ogawa K, Umemura T: Contribution of cell proliferation possibly due to inactivation of protein phosphatase 2A to gene mutations induced by estragole.

51st Congress of the European Societies of Toxicology (2015.9)

豊田武士, 曹永晩, 赤木純一, 平田直, 西川秋佳, 小川久美子: γ H2AX免疫染色による遺伝毒性膀胱発がん物質の早期検出.

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

赤木純一, 横井雅幸*, 曹永晩, 豊田武士, 花岡文雄*, 小川久美子: Pol η , ι , κ 三重欠損細胞の変異原に対する高感受性は遺伝毒性の指標として有用である.

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

* 学習院大学

石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 横尾諭, 土屋卓磨, 小川久美子, 梅村隆志: 遺伝毒性肝発がん物質エストラゴールの突然変異誘発性におけるフルメキン併用投与の影響.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

高須伸二, 石井雄二, 木島綾希, 横尾諭, 土屋卓磨, 小川久美子, 梅村隆志: *gpt delta*マウスを用いた decabromodiphenyl etherの*in vivo*遺伝毒性の検討.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

松下幸平, 木島綾希, 高須伸二, 石井雄二, 黒田顕, 能美健彦*, 梅村隆志: F344系*gpt delta*ラットの自然発生腫瘍スペクトラム.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

* (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所

赤木純一, 横井雅幸*, 曹永晩, 豊田武士, 大森治夫*, 花岡文雄*, 小川久美子: 損傷乗り越え型DNAポリメラーゼ η ・ ι ・ κ 三重欠損細胞は様々な機序の遺伝毒性物質に感受性を示し, 遺伝毒性物質のスクリーニングに有用である.

第38回日本分子生物学会年会 (2015.12)

* 学習院大学

桑田和倫, 井上薫, 高橋美和, 市村亮平, 森川朋美, 児玉幸夫, 吉田緑*: Acifluorfen誘発肝腫瘍へのCARの関与.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

* 食品安全委員会

田崎雅子, 黒岩有一, 井上知紀, 日比大介, 松下幸平, 木島綾希, 西川秋佳, 梅村隆志: ピペロニルブトキシドの Maus 肝発がん過程における酸化ストレスの関与.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

松下幸平, 高須伸二, 黒田顕, 石井雄二, 木島綾希, 北浦敬介*, 佐藤亮*, 松本智志*, 梅村隆志: 腎障害に伴う浸透圧性腎症の病態増悪機序の解明-2.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

* (株) 大塚製薬

横尾諭, 木島綾希, 石井雄二, 高須伸二, 土屋卓磨, 小川久美子, 梅村隆志: ヒト大腸発がん動物モデルを用いた Nrf2 遺伝子多型がもたらす大腸発がんリスク.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

曹永晩, 水田保子, 豊田武士, 赤木純一, 平田直, 曾根瑞季, 安達玲子, 木村美恵, 最上(西巻)知子, 小川久美子: 経皮曝露したナノ銀のアジュバント効果解析.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

平田直, 曹永晩, 豊田武士, 赤木純一, 曾根瑞季, 中村孝志^{*1}, 沼澤聡^{*2}, 小川久美子: ラット肝臓における DEN 誘発遺伝毒性に対する MTBITC による抑制効果とその作用メカニズムの解析.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

*¹ 京都府立大学

*² 昭和大学

石井雄二, 高須伸二, 横尾諭, 土屋卓磨, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: 肝発がん物質エストラゴールの突然変異誘発過程における細胞増殖発現機序の検討.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

土屋卓磨, 石井雄二, 高須伸二, 木島綾希, 横尾諭, 小川久美子, 梅村隆志: 酸化的DNA 損傷を引き起こす腎

発がん物質による遺伝子突然変異.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

曾根瑞季, 豊田武士, 曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 平田直, 西川秋佳, 小川久美子: γ H2AX を用いた遺伝毒性膀胱発がん物質の早期検出系構築- マウスでの検討.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

豊田武士, 曹永晩, 赤木純一, 水田保子, 西川秋佳, 小川久美子: 高脂血症ラットを用いた不確実係数の妥当性の検証.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

高須伸二, 石井雄二, 横尾諭, 土屋卓磨, 木島綾希, 小川久美子, 梅村隆志: Tris(2,3-dibromopropyl) isocyanurate の28日間反復投与毒性試験.

第32回日本毒性病理学会総会及び学術集会 (2016.1)

Suzuki I, Cho YM, Hirata T, Toyoda T, Akagi J, Nishikawa A, Nakamura Y*, Ogawa K: Chemomodulatory action of 4-methylthio-3-butenyl isothiocyanate on carcinogenesis in rats.

55th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2016.3)

* Kyoto Prefectural University

Kuwata K, Inoue K, Takahashi M, Ichimura R, Morikawa T, Kodama Y, Yoshida M: Mouse CAR is mainly involved in liver injury and tumor development induced by the protoporphyrinogen oxidase inhibitor herbicide acifluorfen.

55th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2016.3)

Hibi D, Yokoo Y, Tsuchiya T, Ishii Y, Takasu S, Kijima A, Ogawa K, Umemura T: Lack of involvement of mutagenicity in the modes of action underlying furan-induced hepatocarcinogenesis.

55th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2016.3)

Hirata T, Cho YM, Suzuki I, Toyoda T, Akagi J, Nakamura Y^{*1}, Numazawa S^{*2}, Ogawa K: The possible mechanism of chemopreventive action of 4-methylthio-3-butenyl isothiocyanate in human esophageal epithelial cells.

55th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2016.3)

^{*1} Kyoto Prefectural University

^{*2} Showa University

Cho YM, Mizuta Y, Toyoda T, Akagi J, Hirata T, Adachi R, Kimura Y, Nishimaki-Mogami T, Ogawa K: Evaluation of the adjuvant effects of transcutaneously exposed silver nanoparticles with different size in mouse model.

55th Annual Meeting of the Society of Toxicology (2016.3)

Honma M: Trend and Progress of OECD Genotoxicity Testing Guidelines.

39th Annual Meeting of Environmental Mutagen Society of India (2015.5)

Honma M, Ukai A, Hamasaki K*, Kodama Y*, Noda A*, Kusunoki Y*: Genome mapping of chromosome regions damaged by ionizing irradiation of human blood T-cells, using CGH-microarray analysis.

15th International Congress of Radiation Research (2015.5)

* (公財) 放射線影響研究所

Grúz P, Shimizu M*, Hosoda A*, Kojo A*, Usui Y*, Sugiyama K, Honma, M: Mutagenicity of polyunsaturated fatty acid peroxidation products in the standard Ames assay.

12th Asian Congress of Nutrition (2015.5)

* Tokyo Healthcare University

清水雅富*, グルーズ ピーター, 細田明美*, 碓井之雄*, 杉山圭一, 本間正充: ω -3系多価不飽和脂肪酸の過酸化反応によって産生されるアルデヒド類による変異原性試験.

第57回 日本脂質生化学会 (2015.5)

* 東京医療保健大学

本間正充: OECDテストガイドラインの変更点.

JEMS・MMS研究会第66回定例会 (2015.6)

堀端克良：共同研究報告 I：Pig-a アッセイ。
JEMS・MMS研究会第66回定例会（2015.6）

Honma M: Ames QSAR Collaborative Study.
ICCA-LRI workshop (2015.6)

Takeiri A^{*1}, Wada NA^{*1}, Motoyama S^{*1}, Matsuzaki K^{*1}, Tateishi H^{*2}, Matsumoto K^{*2}, Niimi N, Sassa A, Grúz P, Masumura K, Yamada M, Mishima M^{*1}, Jishage K^{*1}, Nohmi T: Sensitivity of inactivated DNA polymerase kappa knock-in mice to mitomycin C.
The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (2015.6)

^{*1} Chugai Pharmaceutical Co., Ltd.

^{*2} Chugai Research Institute for Medical Science, Inc.

Yamada M, Takamune M, Matsuda T*: Application of a next generation sequencer to a novel mutation test.

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (2015.6)

* Kyoto University

萩尾宗一郎^{*1}, 小川いづみ^{*1}, 阿部正義^{*1}, 林清吾^{*1}, 辻菜穂^{*1}, 黒田雄介^{*1}, 古川賢^{*1}, 八木孝司^{*2}, 本間正充, 増村健一：gpt deltaマウスを用いたアクリルアミドの生殖細胞遺伝子突然変異の解析。
第42回日本毒性学会学術年会（2015.6）

^{*1} 日産化学工業（株）

^{*2} 大阪府立大学

安井学, 佐々彰, 鴨下渚, 本間正充：DNA損傷1分子の部位特異的なゲノム導入とその遺伝的影響の解析。
第29回宇宙生物科学会（2015.9）

Honma M, Suzuki T: DNA Double Strand Break Repair in BLM Deficient Human Cells.
46th Annual Meeting of Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2015.9)

Horibata K, Yamada M, Ukai A, Kimoto T^{*1}, Chikura S^{*1}, Miura D^{*1}, Itoh S^{*2}, Muto S^{*3}, Uno Y^{*3}, Sanada H^{*4}, Takashima R^{*5}, Shigano M^{*5}, Takasawa H^{*5}, Hamada S^{*5}, Yamamoto M^{*6}, Hori H^{*7}, Tsutsumi E^{*7},

Wada K^{*8}, Maeda A^{*9}, Kikuzuki R^{*10}, Ogiwara Y^{*10}, Kyoya T^{*11}, Adachi H^{*12}, Uematsu Y^{*12}, Yoshida I^{*13}, Narumi K^{*14}, Fujiishi Y^{*14}, Fukuda T^{*15}, Suzuki Y^{*15}, Goto K^{*15}, Morita T, Honma M: Interlaboratory Trial of the PIGRET Assay As a Short-term Genotoxicity Test: Collaborative Study by Mammalian Mutagenicity Study (MMS) Group of Japanese Environmental Mutagen Society (JEMS).

46th Annual Meeting of Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2015.9)

^{*1} Teijin Pharma

^{*2} Daiichi Sankyo

^{*3} Mitsubishi Tanabe Pharma

^{*4} Kaken Pharmaceutical

^{*5} LSI Medience

^{*6} Astellas Pharma

^{*7} Suntory Business Expert

^{*8} The Institute of Environmental Toxicology

^{*9} Toray Industries

^{*10} Taisho Pharmaceutical

^{*11} Kumiai Chemical Industry

^{*12} Sumitomo Dainippon Pharma

^{*13} Takeda Pharmaceutical

^{*14} Yakult Honsha

^{*15} BoZo Research Center

Sugiyama K, Furusawa H, Honma M: Molecular breeding of yeasts for detection of DNA methyltransferase inhibitor.

46th Annual Meeting of Environmental Mutagenesis and Genomics Society (2015.9)

増村健一, 森田健, 本間正充：トランスジェニック動物遺伝子突然変異試験における*in vivo*変異原性と発がん性の相関に関する研究。

第74回日本癌学会学術総会（2015.10）

本間正充：部位特異的損傷をゲノム中に導入したヒト細胞における突然変異誘発機構の研究（日本環境変異原学会学会賞受賞講演）。

日本環境変異原学会第44回大会（2015.11）

本間正充：遺伝毒性試験ガイドライン策定への貢献（望月喜多司記念賞受賞講演）。

日本環境変異原学会第44回大会（2015.11）

本間正充：我々はこれまでどれだけ危険な食品を食べてきたのだろうか？ -食品中に含まれる発がん物質の評価-

日本環境変異原学会第44回大会市民公開講座 食の安全 -リスクをどう考えたら良いのか- (2015.11)

森田健, 濱田修一*, 増村健一, 本間正充：*In vitro*および*in vivo*遺伝毒性試験の組合せによる齧歯類発がん物質の検出力。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

* LSIメディエンス (株)

増村健一：アクリルアミドの生殖細胞における変異原性の検討。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

増村健一, 鶴飼明子, 豊田尚美, 榎藤洋一*, 能美健彦, 本間正充：マウス全エキソーム解析によるENU誘発生殖細胞変異スペクトルの解析。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

* 理化学研究所バイオリソースセンター

青木康展^{*1}, 中島大介^{*1}, 松本みちよ^{*1}, 松本理^{*1}, 柳澤利枝^{*2}, 後藤純雄^{*3}, 増村健一, 能美健彦：都市大気浮粒子抽出物が*gpt delta*マウス肺で示す変異原性と突然変異スペクトル。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

^{*1} 国立環境研究所環境リスク研究センター

^{*2} 国立環境研究所環境健康研究センター

^{*3} 麻布大学生命・環境科学部

本山茂記^{*1}, 竹入章^{*1}, 松尾沙織里^{*1}, 和田直子^{*2}, 寺社下浩一^{*2}, 三島雅之^{*1}, 新見直子, Petr Grúz, 増村健一, 山田雅巳, 能美健彦：DNA polymerase kappaは*in vivo*において, cisplatinに対する損傷乗越えDNA複製に関与する。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

^{*1} 中外製薬 (株) 研究本部

^{*2} (株) 中外医科学研究所

萩尾宗一郎^{*1}, 阿部正義^{*1}, 林清吾^{*1}, 辻菜穂^{*1}, 黒田雄介^{*1}, 古川賢^{*1}, 八木孝司^{*2}, 本間正充, 増村健一：*gpt delta*マウスの生殖細胞におけるアクリルアミド誘発

突然変異の解析。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

^{*1} 日産化学工業 (株) 安全性研究部

^{*2} 大阪府立大学大学院理学系研究科

松田知成*, 松田俊*, 山田雅巳：SMRT DNAシーケンサーを用いた突然変異検出法の開発。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

* 京都大学

佐々彰, 鴨下渚, 兼丸祐紀, 本間正充, 安井学：ヌクレオチド除去修復は酸化的クラスター DNA損傷によって誘発される突然変異を抑制する。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

佐々彰, 鴨下渚, 兼丸祐紀, 本間正充, 安井学：ヒトリンパ球細胞のゲノムに導入したシトシン修飾体の潜在的な突然変異誘発能。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

杉山圭一, 古沢博子, 本間正充：酵母をプラットフォームとしたエピジェネティック変異原検出系構築の試み。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

堀端克良, 山田雅巳, 鶴飼明子, 木本崇文^{*1}, 千蔵さつき^{*1}, 三浦大志郎^{*1}, 伊東悟^{*2}, 武藤重治^{*3}, 宇野芳文^{*3}, 真田尚和^{*4}, 高島理恵^{*5}, 志賀野美幸^{*5}, 高沢博修^{*5}, 濱田修一^{*5}, 山本美佳^{*6}, 堀妃佐子^{*7}, 堤絵梨^{*7}, 和田邦生^{*8}, 前田晃央^{*9}, 菊月隆太^{*10}, 荻原庸介^{*10}, 京谷恭弘^{*11}, 足立秀樹^{*13}, 上松泰明^{*12}, 吉田唯真^{*13}, 成見香瑞範^{*14}, 藤石洋平^{*14}, 福田隆之^{*15}, 鈴木裕太^{*15}, 後藤玄^{*15}, 森田健, 本間正充：*Pig-a*/PIGRETアッセイの短期試験としての有用性：MMS共同研究報告。

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

^{*1} 帝人ファーマ

^{*2} 第一三共

^{*3} 田辺三菱製薬

^{*4} 科研製薬

^{*5} LSIメディエンス

^{*6} アステラス製薬

^{*7} サントリー

^{*8} 残農研

^{*9} 東レ

^{*10} 大正製薬

*¹¹ クミアイ化学

*¹² 大日本住友製薬

*¹³ 武田薬品工業

*¹⁴ ヤクルト本社

*¹⁵ ボゾリサーチセンター

山田雅巳, 大杉直弘^{*1}, 高木久宜^{*1}, 和田邦生^{*2}, 松元郷六^{*2}, 大隅友香^{*3}, 真田尚和^{*3}, 百南綾華^{*4}, 堤絵梨^{*4}, 堀妃佐子^{*4}, 赤沼三恵^{*5}, 増村健一, 本間正充: ICHガイドラインS2 (R1) における*in vivo*試験組合せの検討. 日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

*¹ 日本エスエルシー (株)

*² (一財) 残留農薬研究所

*³ 科研製薬 (株)

*⁴ サントリービジネスエキスパート (株)

*⁵ (株) クレハ

須井哉*, 川上久美子*, 根岸沙記*, 増淵恵美*, 園原啓太*, 山田雅巳: ハイ・スループット微生物遺伝毒性試験法の検討10.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

* 一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所

本間正充: ICH-M7ガイドラインとExpert Review. 微生物変異試験研究会第53回定例会 (2015.11)

堀端克良: *Pig-a*アッセイ.

JEMS・MMS研究会第67回定例会 (2015.11)

杉山圭一, 古沢博子, 本間正充: *In vivo* DNAメチル化酵素阻害可視化システムの開発.

第88回日本生化学会大会 (2015.12)

Sugiyama K, Furusawa H, Honma M: Epigenetic modifiers are visibly detectable by human DNMTs transgenic yeast.

International Symposium for RIKEN Epigenetics Program, (2016.2)

杉山圭一, 古沢博子, 清水雅富*, 本間正充: 酵母凝集反応を利用した新規なエピ変異原可視化検出系の開発.

日本農芸化学会2016年度大会 (2016.3)

* 東京医療保健大学

Masumura K, Toyoda-Hokaiwado N, Ukai A, Gondo Y*, Honma M, Nohmi T: Analysis of inherited germline mutations of ENU-treated mice by whole exome sequencing.

Society of Toxicology 55th Annual meeting (2016.3)

* RIKEN BioResource Center

Honma M, Kanemaru Y, Kamoshita N, Suzuki T, Arakawa T*, Yasui M: Tracing the fate of site-specifically introduced oxidative DNA damage in the human genome.

14th International Workshop on Radiation Damage to DNA (2016.3)

* 北海道医療保健大学

Morita T: GHS classification of CMR substances in EU and Japan.

AsiaTox 2015 (2015.6)

森田健: CMR物質のGHS分類比較: EUと日本.

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

森田健: LD50値による毒性評価と行政利用.

第37回日本中毒学会 (2015.7)

Morita T, Hamada S*, Masumura K, Honma M: Detection of rodent carcinogens and non-carcinogens by *in vivo* erythrocyte micronucleus and transgenic rodent mutation tests.

2015 European Environmental Mutagen and Genomics Society (2015.8)

* LSI Medience Corporation

Hamada S^{*1}, Morita T, Narumi K^{*2}, Wako Y^{*1}, Kawasaki K^{*1}, Ohyama W^{*2}, Honma M, Hayashi M^{*3}: Detection of hepatocarcinogens by combination of liver micronucleus assay and histopathological examination in 2-week or 4-week repeated dose studies.

46th Environmental Mutagen and Genomics Society (2015.9)

*¹ LSI Medience Corporation

*² Yakult Honsha

*³ Biosafety Research Center

Horibata K, Yamada M, Ukai A, Kimoto T^{*1}, Chikura S^{*1}, Miura D^{*1}, Itoh S^{*2}, Muto S^{*3}, Uno Y^{*3}, Sanada H^{*4}, Takashima R^{*5}, Shigano M^{*5}, Takasawa H^{*5}, Hamada S^{*5}, Yamamoto M^{*6}, Hori H^{*7}, Tsutsumi E^{*7}, Wada K^{*8}, Maeda A^{*9}, Kikuzuki R^{*10}, Ogiwara Y^{*10}, Kyoya T^{*11}, Adachi H^{*12}, Uematsu Y^{*12}, Yoshida I^{*13}, Narumi K^{*14}, Fujiishi Y^{*14}, Fukuda T^{*15}, Suzuki Y^{*15}, Goto K^{*15}, Morita T, Honma M: Interlaboratory Trial of the PIGRET Assay As a Short-term Genotoxicity Test: Collaborative Study by Mammalian Mutagenicity Study (MMS) Group of Japanese Environmental Mutagen Society (JEMS).

46th Environmental Mutagen and Genomics Society (2015.9)

*¹ Teijin Pharma

*² Daiichi Sankyo

*³ Mitsubishi Tanabe Pharma

*⁴ Kaken Pharma

*⁵ LSI Medience

*⁶ Astellas Pharma

*⁷ Suntory Business Expert

*⁸ The Inst. Env. Tox.

*⁹ Toray Industries

*¹⁰ Taisho Pharma

*¹¹ Kumiai Chemical Ind.

*¹² Dainippon Sumitomo Pharma

*¹³ Takeda

*¹⁴ Yakult Honsha

*¹⁵ Boso Research Center

濱田修一^{*1}, 森田健, 成見香瑞範^{*2}, 涌生ゆみ^{*1}, 川迫一史^{*1}, 大山ワカ子^{*2}, 本間正充, 林真^{*3}: 4週間の反復投与毒性試験結果 (肝臓小核試験および病理組織学的検査) から肝発がん性を予測する.

関西実験動物研究会第128回研究会 (2015.12)

*¹ LSIメディエンス

*² ヤクルト本社

*³ 安評センター

増村健一, 森田健, 本間正充: トランスジェニック動物遺伝子突然変異試験における*in vivo*変異原性と発がん性の相関に関する研究.

第74回日本癌学会学術総会 (2015.10)

森田健, 濱田修一^{*}, 増村健一, 本間正充: *In vivo*赤血

球小核試験とトランスジェニック齧歯類突然変異試験による齧歯類発がん物質の検出.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

* LSIメディエンス

森田健, 畝山智香子: カラメル色素中の4-メチルイミダゾールのリスク評価.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

堀端克良, 山田雅巳, 鶴飼明子, 木本崇文^{*1}, 千蔵さつき^{*1}, 三浦大志郎^{*1}, 伊東悟^{*2}, 武藤重治^{*3}, 宇野芳文^{*3}, 真田尚和^{*4}, 高島理恵^{*5}, 志賀野美幸^{*5}, 高沢博修^{*5}, 濱田修一^{*5}, 山本美佳^{*6}, 堀妃佐子^{*7}, 堤絵梨^{*7}, 和田邦生^{*8}, 前田晃央^{*9}, 菊月隆太^{*10}, 荻原庸介^{*10}, 京谷恭弘^{*11}, 足立秀樹^{*12}, 上松泰明^{*12}, 吉田唯真^{*13}, 成見香瑞範^{*14}, 藤石洋平^{*14}, 福田隆之^{*15}, 鈴木裕太^{*15}, 後藤玄^{*15}, 森田健, 本間正充: PIGRETアッセイの短期試験としての有用性: MMS共同研究報告.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

*¹ 帝人ファーマ

*² 第一三共

*³ 田辺三菱製薬

*⁴ 科研製薬

*⁵ LSIメディエンス

*⁶ アステラス製薬

*⁷ サントリー

*⁸ 残農研

*⁹ 東レ

*¹⁰ 大正製薬

*¹¹ クミアイ化学

*¹² 大日本住友製薬

*¹³ 武田薬品工業

*¹⁴ ヤクルト本社

*¹⁵ ボゾリサーチセンター

本田大士^{*}, 藤田侑里香^{*}, 松村奨士^{*}, 川本泰輔^{*}, 伊藤勇一^{*}, 森田健, 西山直宏^{*}: 染色体異常試験の陽性物質リストから有用な偽陽性原料を救えII-数学的手法を用いた大規模選及評価.

日本環境変異原学会第44回大会 (2015.11)

* 花王

Nishimura T^{*1}, Hirata-Koizumi M, Yamada T^{*2}, Kawamura T, Ono A, Hirose A, Ema M^{*3}: Derivation

of the health advisory guidance values for sub-acute exposure of drinking water.

第55回米国トキシコロジー学会 (2016.3)

*¹ Teikyo Heisei University

*² National Institute of Technology and Evaluation

*³ National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

Hirose A, Hirata-Koizumi M, Kawamura T, Matsumoto M, Takahashi M, Nishimaki-Mogami T, Nishimura T^{*1}, Ema M^{*2}, Ono A: Derivation of subacute reference doses for drinking water quality management.

The 51st EUROTOX2015 (2015.9)

*¹ Teikyo Heisei University

*² National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

Ono A, Matsumoto M, Takahashi M, Kawamura T, Hirata-Koizumi M, Hirose A: Is a 14-day dose setting study able to predict its 28-day repeated dose toxicity?.

The 51st EUROTOX 2015 (2015.9)

Hirose A: Metal contaminants in drugs: ICH point of view. The 9th Congress of Toxicology in Developing Countries. (2015.10)

Hirose A, Taquahashi Y, Takagi A, Ogawa Y, Kanno J: Characterization of mesothelioma induction by i.p injection of the MWCNT dispersed with the Taquann method. International Congress on Safety of Engineered Nanoparticles and Nanotechnologies (SENN 2015). (2015.4)

Hirose A, Sakamoto Y^{*1}, Ogata A^{*1}, Yuzawa K^{*1}, Kubo Y^{*1}, Ando H^{*1}, Nagasawa A^{*1}, Nishimura T^{*2}, Inomata A^{*1}, Nakae D^{*3}: Chronic toxicity by repeated intratracheal administration of MWCNT in rat. The 7th International Symposium on Nanotechnology, Occupational and Environmental Health. (2015.10)

*¹ Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

*² Teikyo Heisei University

*³ Tokyo University of Agriculture

Hirose A: Japanese Current Chemical Regulation and

Contribution to the OECD Cooperative Chemicals Assessment Programme (CoCAP).

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (2015.7)

山口宏之^{*1,2}, 小島肇, 竹澤俊明^{*1}: Vitrigel-Eye Irritancy Test (EIT) method: Assessment of predictive performance using 118 test chemicals.

日本組織培養学会第88回大会 (2015.5)

*¹ 農業生物資源研究所

*² 関東化学 (株)

Kojima H, Kleinstreuer N^{*1}, Schaeffer MW^{*2}, Kim TS^{*3}, Chen W^{*4}, Sozu T^{*5}, Watanabe M^{*6}, Niitsma T^{*6}, Yamashita K^{*7}, Miyazaki H^{*7}, Fukuda T^{*8}, Yamaguchi N^{*8}, Fujiwara S^{*8}, Yamaguchi H^{*9,10}, Takezawa T^{*10}: Validation study of Vitrigel-EIT (Eye Irritancy Test) method.

II International Conference of Alternatives to Animal Experimentation (2015.5)

*¹ ILS/NICEATM/ICCVAM

*² EURL ECVAM IHCP/JRC/European Commission

*³ KOCVAM/MFDS

*⁴ Taiwan Industrial Technology Research Institute

*⁵ Kyoto University

*⁶ Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center

*⁷ Daicel Corporation

*⁸ BoZo Research Center Inc.

*⁹ Kanto Chemical Co. Inc.

*¹⁰ National Institute of Agrobiological Sciences

小島肇：日本で開発または評価されたOECDテストガイドライン。

生物化学的測定研究会第20回学術集会 (2015.6)

細井一弘^{*}, 小島肇：シンポジウム6 トランスレーションに有用な試験系構築の基本的考え方：ROSアッセイを例にして。

第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

* 参天製薬 (株)

Kojima H, Kleinstreuer N^{*1}, Schaeffer MW^{*2}, Kim TS^{*3}, Chen W^{*4}, Sozu T^{*5}, Watanabe M^{*6}, Niitsma T^{*6},

Yamashita K^{*7}, Miyazaki H^{*7}, Fukuda T^{*8}, Yamaguchi N^{*8}, Fujiwara S^{*8}, Yamaguchi H^{*9,10}, Takezawa T^{*10}: 眼刺激性試験代替法Vitrigel-EITのバリデーション研究. 第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

^{*1} ILS/NICEATM/ICCVAM

^{*2} EURL ECVAM IHCP/JRC/European Commission

^{*3} KOCVAM/MFDS

^{*4} Taiwan Industrial Technology Research Institute

^{*5} Kyoto University

^{*6} Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center

^{*7} Daicel Corporation

^{*8} BoZo Research Center Inc.

^{*9} Kanto Chemical Co. Inc.

^{*10} National Institute of Agrobiological Sciences

山口宏之^{*12}, 小島肇, 竹澤俊明^{*1}: 高感度なin vitro眼刺激性試験法 Vitrigel-EITの予測性評価. 第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

^{*1} 農業生物資源研究所

^{*2} 関東化学 (株)

伊藤浩太^{*1}, 榊原隆史^{*1}, 越田美^{*1}, 奥村宗平^{*1}, 中山拓生^{*1}, 平賀武夫^{*2}, 小島肇, 松浦正男^{*1}: 牛角膜を用いた混濁度および透過性試験法 (BCOP法) によるGHS分類2B物質の測定結果. 第42回日本毒性学会学術年会 (2015.6)

^{*1} (株) 化合物安全性研究所

^{*2} 酪農学園大学 獣医学

小島肇: JaCVAM activities update (日本動物実験代替法評価センター) 活動報告.

The 7th International Congress of Asian Society of Toxicology (2015.6)

Kojima H: New SPSF for OECD Test guideline on the in vitro skin sensitization assay.

12th Annual meeting of Korean Society for Alternative to Animal Experiments (2015.8)

Kojima H: The JaCVAM/OECD activities on the comet assay.

11th International Workshop of Comet assay Workshop (2015.9)

Kojima H: The Asian Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences 2016.

16th Annual Congress of European Society of Alternatives to Animal Testing (2015.9)

Kojima H, Oshimura M^{*1}, Imatanaka N^{*2}: Update for Japanese Project "ARCH-Tox" for the Future Chemicals Management Policy: Research and Development of in vitro and in vivo Assays for Internationally Leading Hazard Assessment and Test Methods.

4th annual meeting of the American Society for Cellular and Computational Toxicology (2015.10)

^{*1} Chromosome Engineering Research Center, Tottori University

^{*2} Chemical Evaluation and Research Institute (CERI)

小島肇: シンポジウム7: 経済産業省プロジェクト「石油精製物質等の新たな化学物質規制に必要な国際先導的有害性試験法の開発: ARCH-Tox」の計画概要. 日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

中山拓人^{*12}, 寒水孝司^{*1}, 山口宏之^{*23}, 竹澤俊明^{*2}, 小島肇: Vitrigel-EIT (Eye Irritancy Test) 法による眼刺激性の判定法の提案.

日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

^{*1} 東京理科大学工学部経営工学科

^{*2} 農業生物資源研究所

^{*3} 関東化学 (株)

古川正敏^{*}, 榊原隆史^{*}, 伊藤浩太^{*}, 佐々木啓^{*}, 越田美^{*}, 奥村宗平^{*}, 河村公太郎^{*}, 松浦正男^{*}, 小島肇: 牛摘出角膜を用いた混濁度及び透過性試験法 (BCOP法: 眼刺激性代替法試験) における角膜の病理所見による弱刺激性物質の評価について.

日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

^{*} (株) 化合物安全性研究所

加藤義直^{*1}, 山本直樹^{*2}, 佐藤淳^{*1}, 中田悟^{*1}, 小島肇: 不死化ヒト角膜細胞株 (iHCE-NY) を用いた三次元角膜再構築モデルにおける眼刺激性評価方法の検討 ~ 後培養による回復性の評価 ~.

日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

*¹ 日本メナー化粧品（株）総合研究所

*² Pola Chemical Industries, INC.

*² 藤田保健衛生大学共同利用研究施設

成田和人*, Vo P.T*, 中川史子*, 小島肇, 板垣宏*:
皮膚感作性試験の偽陰性評価解消に向けた検討：無水フ
タル酸に対する LP溶媒暴露法.

日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

* 横浜国立大学

九十九英恵*, 松成夏美*, 小島肇, 板垣宏*: タンパク
質のアレルギー性を評価するin vitro試験法の開発.

日本動物実験代替法学会第28回大会 (2015.12)

* 横浜国立大学

小島肇: OECDで検討されてきたin vitroスクリーニン
グ法.

環境ホルモン学会第18回研究発表会 (2015.12)

Furukawa M*, Sakakibara T*, Ito K*, Sasaki S*,
Koshita M*¹, Okumura S*, Kawamura K*, Matsuura
M*, Kojima H: Histopathological Findings on the
Cornea in the Bovine Corneal Opacity and Permeability
Test (BCOP Test) for Alternative to Eye Irritation
Test.

55th annual meeting of the Society of Toxicology
(2016.3)

* Safety Research Institute for Chemical Compounds
Co., Ltd.

Narita K*, Vo P.T*, Nakagawa F*, Kojima H, Itagakai
H*: Reducing False Negatives of Chemicals in the in
vitro Skin Sensitization Test.

55th annual meeting of the Society of Toxicology
(2016.3)

* Yokohama National University, Japan

Tsukumo H*¹, Matsunari N*¹, Sugiyama M*², Toyoda
A*^{1,2}, Kojima H, Itagakai H*¹: Development of an in
vitro test for Allergenic Potency of Proteins.

55th annual meeting of the Society of Toxicology
(2016.3)

*¹ Yokohama National University